授業科目名		担当教員		
生物学		江村正一		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

すべての生物の基本構造である「細胞」についての理解をもとに、遺伝、発生、生命の進化と多様性などについて学び「生命」とは何かを考える。生物学で得た知識と理解が、将来、医療に携わるために修めなければならない、他の多くの科目の基礎となる。特に解剖学と生理学の学習にとって直接関係のある事象が多く出て来ますので、その部分については特に理解を深めてください。

学 修 の 到 達 目 標

① 細胞・組織・器官について説明できる。
② 遺伝・発生について説明できる。
③ 進化・多様性について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	細胞とその構造について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
2	細菌・ウイルスについて	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
3	染色体異常について	②	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
4	血液型について	②	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
5	ヒトの遺伝と先天性異常について	②	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
6	生殖について	②	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
7	発生について	②	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
8	免疫について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
9	知覚について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	記憶について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
11	脳神経について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
12	生命の誕生について	③	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
13	生命の進化について	③	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
14	ヒトの起源と進化について	③	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
15	生物多様性について	③	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（120分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（120分）
	定期試験（レポート）					

評価基準・評価方法

課題に対するレポート提出（100%）

使用教科書

系統看護学講座　生物学 / 高畑ほか.--第10版--医学書院，2022年，978-4-260-03189-9

参考図書

適宜、参考資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題に対する質問をメールでも受け付ける。 E-mail:s.emura@heisei-iryou.ac.jp
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
物理学		中村　琢		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC103
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

この授業は物理学の様々な分野について短期間で概括的に学習するものである。特に看護やリハビリテーションなど医療・看護の職に就く際には物理学の知識は必須であり，本授業では現場で働く際に役に立つ物理学の法則，原則についても扱う。後半では放射線の性質を扱い，実習を含める。授業の形態は情報伝達でなく，簡単なグループワークなど，学習者の主体的な学び（アクティブラーニング）を取り入れる。高等学校で物理を履修していない学習者も本科目を履修できる。

学 修 の 到 達 目 標

①物理学の学習内容について理解し，自分の言葉で説明できる。
②学習した内容を活用して計算し，思考し，探究に活かすことができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物理学の基礎知識 第1回と第2回はパワーポイントで説明します。	①	中村	講義	シラバスと教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
2	自然界の階層性 第1回と第2回はパワーポイントで説明します。	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
3	力学の基礎 第3回以降は黒板に板書します。	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
4	速さと速度，加速度，等速直線運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
5	等加速度運動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
6	力と等加速度運動・ニュートンの三法則	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
7	波動	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
8	波の表し方	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
9	光と音	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	電気と磁気	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
11	電流と電圧	①	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
12	原子と原子核	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
13	放射線の特徴と性質	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
14	放射性崩壊	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
15	放射線被ばく防護	① ②	中村	講義	次の授業の内容と予習の方法について指示します。教科書に目を通してください。（60分）	授業でわからなかったことを次の授業で質問できるようにノートと教科書で復習してください。(180分)
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

知識・理解、思考・判断・表現、技能，関心・意欲・態度の観点を総合的に判断する。
定期試験（５０％），時間内レポート・課題（３０％），授業参加態度（２０％）

使用教科書

ここからスタート物理学 / 為近和彦.--裳華房，2018年，978-4-785322649
必ずしも教科書に沿って扱うわけではありません。学習者の実態に応じ授業中で使い方を説明します。

参考図書

自然科学の基礎としての物理学，原康夫，学術図書出版社，2014年，体系看護学　基礎科目　物理学，平田雅子，メヂカルフレンド社，2006年

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験についての内容や勉強法については授業中に詳しく説明します。レポート課題を出す前に，評価指標について詳しく説明します。
実務経験をいかした教育内容	
備考	１．オフィスアワー：講義終了後20分程度。電子メールでの質問に随時対応します。 ２．質問等：講義時間中や授業終了後に受け付けます。Zoomのチャット機能での質問にもできるだけ対応しますが，受講者数が多い場合は電子メールで問い合わせてください。 ３．電子メールアドレス：nakamura.taku.a5@f.gifu-u.ac.jp

授業科目名		担当教員		
化学		武藤吉徳		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC104
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

化学は「物質」を理解することを目的とする。医療技術に関わる多くの装置や薬品、そして人体など全てのものが様々な物質で構成されているので、化学の知識は医療分野の基礎としても非常に重要である。この講義では、化学の基礎的な内容を無機化学、有機化学の全般に亘ってなるべくわかり易く解説するように努める。また、医療に関連する事項をできる限り多く取り上げて、専門科目への橋渡しとなるようにしたい。

学 修 の 到 達 目 標

①生体物質や医薬品を構成する元素や化学結合の特徴が理解できる。
②主要な有機化合物について、その構造や性質を説明できる。
③医療の場で出会う様々な物質、薬品について科学的特性を把握できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	物質の特性	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
2	原子と分子	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
3	化学結合	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
4	物質の三態・溶液とコロイド	①③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
5	塩化物	①③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
6	酸・アルカリ	①③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
7	無機化合物	①③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
8	放射性元素	①③	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
9	有機化合物概要	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脂肪族炭化水素	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
11	酸素、窒素を含む有機化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
12	カルボン酸、その他	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
13	芳香族化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
14	脂環・複素環化合物	②	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
15	生体物質	①	武藤	講義	教科書の該当ページに目を通し、用語の意味を調べておく（120分）	教科書とノートを再読し、教科書の設問を解く（120分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

評価基準：化学物質に関する知識・理解を重要視する。
評価方法：定期試験（100%）

使用教科書

系統看護学講座基礎分野「化学」 / 奈良雅之.--第7版--医学書院，2018年，978-4-260-03181-3

参考図書

舟橋弥益男・渡辺昭次　著　「炭素化合物の世界」東京教学社

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出されたレポートにコメントをつけて返却する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	授業中に質問の時間を取るほか、質問紙による質問には、次回の授業時に回答する。

授業科目名		担当教員		
情報科学		福岡大輔		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LHC205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

情報科学において基礎となるディジタル化とネットワークによる情報の蓄積・交換を中心として，情報社会のすがたを描きつつ情報システムやビックデータを活用した業務や生活の変革について検討する。さらに，医療分野をはじめとした情報通信技術や人工知能の活用について調査し，レポートやプレゼンテーションを作成する過程をとおして，問題解決に情報手段を活用するための情報活用能力を身につける。このために，本学が整備しているgoogleのclassroomをはじめとした各種サービスを利用する。

学 修 の 到 達 目 標

① 情報社会の特徴を理解し，将来の社会像や働き方，生活等を具体的に描いて論述できる。
② 情報手段を効果的に活用して協働学習を行い，課題解決を効果的に推進することができる。
③ 本学の提供するgoogle classroomをはじめとした各種サービスを活用する基礎技能を習得する。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	情報とコンピュータおよび通信ネットワーク，google classroomの利用	①③	福岡	講義	配布資料を読み情報科学への理解を深める(120分)	配布資料を読みまとめる(120分)
2	Society 5.0が描く情報社会の現在と未来を知る	①	福岡	講義	Society5.0について事前調査(120分)	Society5.0を説明できるようにまとめる(120分)
3	データ駆動型社会の到来	①	福岡	講義	データ駆動型社会について事前調査(120分)	データ駆動型社会についてまとめる(120分)
4	社会インフラとデータ活用	①	福岡	講義	社会インフラと情報技術について事前調査(120分)	社会インフラと情報技術についてまとめる(120分)
5	医療分野における情報化とセキュリティ	①	福岡	講義	医療現場における情報システムについて事前調査(120分)	医療現場における情報システムについてまとめる(120分)
6	医療分野における無線通信の利用	②③	福岡	講義	医療現場における無線通信技術の活用について事前調査(120分)	専門用語の意味を説明できるようにまとめる(120分)
7	文書処理と共有管理	②③	福岡	講義	レポートのアウトライン作成(120分)	レポートの修正・加筆(120分)
8	プレゼンテーションと資料作成(プレゼンテーションソフトの利用)	②③	福岡	講義	プレゼンテーションのアウトライン作成(120分)	プレゼンテーションの修正(120分)
9	データ分析（相関・検定・回帰）	②③	福岡	講義	データ解析手法の事前調査(120分)	専門用語を説明できるようにまとめる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	データ収集・仮説を立てる （フォーム作成ツールの活用）	② ③	福岡	講義	調査のアウトライン検討(120分)	データの収集を行い資料をまとめる(120分)
11	データ処理とグラフ (表計算・集計ソフトの利用)	② ③	福岡	講義	データ処理手法について調べておく(120分)	講義で学んだ内容を実用できるようにまとめる(120分)
12	シミュレーション (数値解析の利用)	② ③	福岡	講義	各種シミュレーション手法を調べておく(120分)	講義で学んだ内容を実用できるようにまとめる(120分)
13	データ分析とプログラミング	② ③	福岡	講義	プログラミングについて調べておく(120分)	プログラミング課題とその理解(120分)
14	データマイニング （テキストマイニングソフトの利用）	② ③	福岡	講義	データマイニングについて調べておく(120分)	講義で学んだ内容を実用できるようにまとめる(120分)
15	人工知能に関する技術・医療への応用	①	福岡	講義	人工知能の仕組みについて調べておく(120分)	専門用語の意味を説明できるようにまとめる(120分)
	レポート試験					

評価基準・評価方法

① 知識・理解は，授業中の対話状況，質疑応答等での評価と数回の小レポートで評価する。(30%)
② 情報手段の活用及び態度は，classroom利用状況，課題提出，成果物で評価する。(20%)
③ 思考・判断は，授業中の対話，レポートにおける論述における批判的思考に基づく論理展開の深さで評価する。(50%)

使用教科書

なし

参考図書

情報科学基礎-コンピュータとネットワークの基本，伊東俊彦，ムイスリ出版，2015，ISBN978-4-89641-235-2

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業では資料配布，課題提出・評価等はGoogle classroomを用いて実施し，教師と学生，学生相互のコミュニケーションに活用する。その内容はclassroom内で公開して共有する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	授業時間以外にもコミュニケーションのためにclassroomへのアクセスが必要となる。 また，演習を行えるパソコン環境を準備することが望ましい。

授業科目名		担当教員		
人間工学		山田宏尚		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LHC106
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

人間が普段無意識に行っている身体運動や生命維持活動は、筋肉・骨格・内臓・血管など身体の各部位に働く力やモーメントをはじめとした物理学的メカニズムによって成立している。本講義では、医療行為の具体例に基づいて、身体活動の物理学的なメカニズムを学習する。

学 修 の 到 達 目 標

①人間の身体活動に関わる物理学の基礎を身につけることができる。
②物理的根拠に基づく治療行為を実践するための基礎を説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス・モーメントの定義と働き	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
2	重いものを持つにはどうしたらよいか	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
3	てこの原理と計算	①②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
4	看護ボディメカニクスの物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
5	看護の物理的重点事項	①②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
6	身近な圧力（１）	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
7	身近な圧力（２）	①②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
8	呼吸器と吸引の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
9	チェストドレーンバックの原理	①②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	点滴静脈内注射の物理（１）	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
11	点滴静脈内注射の物理（２）	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
12	循環器の物理	①	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
13	血圧測定の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
14	感覚器の物理	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
15	体温制御の物理，総復習	① ②	山田	講義	指定教科書該当ページに目を通す（120分）	講義で学んだ内容を説明できるようにまとめる（120分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

・評価基準： 知識の修得度と計算能力（目標①）、応用的思考能力（目標②）
・評価方法： 定期試験（70%）、小テスト・宿題・授業態度（30%）で評価する。

使用教科書

看護学生のための物理学 / 佐藤和良.--第6版--医学書院，2022年，978-4-260-04685-5

参考図書

適宜紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題について全体の総評コメントを口頭にて公開する
実務経験をいかした教育内容	
備考	・毎回の授業で小テストを実施し、随時課題を課す。 ・オフィスアワー： 講義前後の時間に非常勤講師室で待機する。 ・質問： 講義中やオフィスアワーに直接、それ以外にメール（yamada.hironao.a5@f.gifu-u.ac.jp）で随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
環境と人間		大藪千穂		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LHC207
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

資源・環境問題を解決し、持続可能な社会を構築することが、２１世紀最大の課題である。しかし、そのためのアプローチの方法は、まだ、見出されていない。この講義では、環境問題は人間の問題であるとの観点に立ち、環境と人間の関係を、生活と情報によってむすびつけ、環境問題を根本的にとらえなおし、環境問題の解決法を考え、持続可能な社会を展望する。また、人間の成長・発達や脳疾患のリハビリ等に対して、環境が果たす重要な役割を考察する。

学 修 の 到 達 目 標

①受講者ひとりひとりが、自分で問題解決の手がかりを、考え、見出すことができる。
②既存の考え方や方法にとらわれることなく、自分自身の考え方をもち、発展させることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	環境問題とは何か？	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
2	環境問題の原点、水俣病の問題を、生産、消費、環境から考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
3	家庭生活から環境問題の本質を探る。	①②①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
4	衣生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
5	食生活から環境を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
6	簡易生ゴミ分解器を製作し、その活用法を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
7	河川環境と人間の関係を考える。	①	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
8	情報から環境と人間を考える。	①②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
9	人間形成に対する情報と環境の意味を考える。	①②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳障害者の発達、脳疾患のリハビリを、環境と情報の観点から捉えなおす。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
11	環境教育のあり方を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
12	アーミッシュと現代社会を比較する。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
13	近代のライフスタイルを再考する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
14	生態学の意味を考える。	① ②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
15	環境と情報から、持続可能な社会を展望する。	②	大藪	講義	授業で扱う教科書の各章を事前に読む。(120分)	授業時に配布されたプリントを読む。(120分)
	定期試験（レポート）					

評価基準・評価方法

評価基準は、知識・理解、思考・判断、授業態度の総合であるが、特に、各自のオリジナルな思考を重視する。
評価方法は、レポート（50%）、小レポート・小テスト（30%）、授業態度等（20%）による。

使用教科書

２１世紀の情報とライフスタイル / 杉原利治.--論創社，2001年，978-4-8460-0261-9
教科書はこちらで準備します。１回目に2000円をおつりがないように持参してください。

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編をプリント配布し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	毎回の授業では、開始時に、先回の授業で提出された小レポート数編をプリント配布し、それぞれの論点を評価し、それらを生かして授業を展開する。

授業科目名		担当教員		
社会学		伊原亮司		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

この講義は、現代社会のあり方について学ぶ。なかでも、ほとんどの人にとって切実なテーマである＜働くこと＞に焦点をあてて、現代社会のあり方を理解する。わたしたちは、人生の早い段階から＜働くこと＞を意識させられ、その準備をするように煽られている。しかし、働く場の実態については無知なまま、耳に優しい言葉ばかりを聞かされている。本講義は、現代社会における労働を取り巻く環境と労働の特徴を理解し、それを踏まえたうえで、自分たちの働き方を構想することを目的とする。医療関連の仕事に就く予定である受講者は、「就活」にはさほど困らないかもしれない。しかし、働き出してから、「いじめ」、「うつ病」、「過労死」といった様々な問題に直面する可能性がある。医療従事者は「感情労働者」ともいわれ、専門知識のみならず、コミュニケーションの仕方や感情の表出の仕方など、人格に関わる側面が重視される。本講義は、それらの能力の向上に注力するだけでなく、感情労働に付随する問題点を理解し、「うつ病」や「過労死」から自分の身を守る術（すべ）を習得して欲しい。

学 修 の 到 達 目 標

①現代社会における労働を取り巻く環境と労働現場の実態を理解できる
②その際に、いかなる視点から「現実」を切り取ればいいか、分析枠組みを理解することができる
③自分自身で職場の実態を捉えられるようになる
④＜働くこと＞に対する自分のスタンスを考えることができる
⑤その際、狭義の「能力」の形成に励むだけでなく、自分の「身の守り方」にも留意することができる

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクション－＜働くこと＞とは	②	伊原	講義	テキストの「はじめに」と「おわりに」を読み、概要を理解する（120分）	講義を踏まえた上で、テキストの全体像をイメージする（120分）
2	従来の社会と働き方－「日本的経営」と「企業社会」	①②	伊原	講義	テキストの第一章を読み、概要を理解する（120分）	第一章を読み直し、ドラッカーの経営思想を復習する（120分）
3	労働社会の変容－学校、会社、家庭の関係	①③	伊原	講義	テキストの第一章から、現代社会の変容の概要を理解する（120分）	戦後日本の労働社会の変容を自らたどる（120分）
4	働く場の実態Ⅰ－過労死・過労自殺	①③	伊原	講義	テキストの第四章を読み、概要を理解する（120分）	テキストの第四章から、過労死と過労自殺の違いを復習する（120分）
5	組織や役割への過剰適応	④	伊原	講義	テキストの第四章から、組織への「過剰適応」について頭に入れる（120分）	逸脱と過剰適応との違いを復習する（120分）
6	働く場の実態Ⅱ－「うつ病」	①③	伊原	講義	テキストの第三章を読み、概要を理解する（120分）	第三章を読み直し、精神疾患と労働との関係を復習する（120分）
7	感情労働の特質	④	伊原	講義	テキストの第三章から、「感情労働」の特徴をつかむ（120分）	肉体労働、知的労働との違いを理解する（120分）
8	働く場の実態Ⅲ－「ハラスメント」	①③	伊原	講義	テキストの第二章を読み、概要を理解する（120分）	日産の事例を追いながら、いじめとハラスメントとの違いを理解する（120分）
9	経営合理化と過度のプレッシャー	④	伊原	講義	テキストの第二章から、相互扶助と相互監視のメカニズムを理解する（120分）	職場における過度のプレッシャーが生じる理由を考える（120分）。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	働く場の実態Ⅳ－職場秩序の悪化	① ③	伊原	講義	職場秩序の悪化のメカニズムについて、概要を理解する（120分）	現在の職場における「秩序」の崩壊理由を整理する（120分）
11	非正規雇用の増大	① ③	伊原	講義	雇用規制の緩和と非正規雇用の増大の実態について理解する（120分）	非正規雇用が増大した契機・時期・理由を整理する（120分）
12	新しい働き方とは	① ④	伊原	講義	テキストの第六章を読み、概要を理解する（120分）	「日本的経営」から新自由主義に基づく経営への推移を整理する（120分）
13	社会貢献という働き方	① ④	伊原	講義	テキストの第七章を読み、概要を理解する（120分）	「社会貢献」の問題点について整理する（120分）
14	働くということを考え直す	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第七章を読み、＜働く＞ということを考え直す（120分）	賃労働とは何かを考え直す（120分）
15	労働を規制する、勤勉さを相対化する	④ ⑤	伊原	講義	テキストの第八章を読み、概要を理解する（120分）	講義を踏まえた上で、自らの働き方を構想する（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

授業への参加態度（20%）、レポート（20%）、テスト（60%）などから総合的に評価。

使用教科書

私たちはどのように働かされるのか / 伊原亮司.--こぶし書房, 978-4-87559-299-0

参考図書

講義中に適宜紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	次回の講義までに読んでおく「章」を事前に伝える。講義までに目を通しておくこと。講義はじめに、予習時にわからなかったことをうかがう。そして講義の最後に、理解が不十分な点を質問してもらい、補足的な説明を行う。
実務経験をいかした教育内容	わたし自身、サラリーマン経験があり、また、調査手法として「参与観察」を取り入れているため、「現場の視点」から労働の実態を語る。もちろん、「現場」を捉える理論的なフレームは不可欠であるが、「現場感覚」も重要視し、受講者には「追体験」してもらいたい。
備考	理解を補強する教材として、映像も活用する。

授業科目名		担当教員		
人間関係論		益川優子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0102
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

この講義では、日常生活や職場、家族、医療の現場などで起こる様々な人間関係について理解し、より良い人間関係を築くために学びます。まず人間関係の基本的な意義・視点から、職場での人間関係論、生涯にわたる人間発達と人間関係、更に人間関係を構成する自己と他者、人間関係の成立と維持、対立について学びます。次いで人間関係を円滑に進めるために、コミュニケーションの基礎・基本、マスコミ、インターネットとその諸問題なども学びます。

学 修 の 到 達 目 標

①人間関係の意義・視点について考えることができる。
②職場の人間関係と対処法について理解できる。
③生涯の人間発達と人間関係について知り、応用できる。
④人間関係の一方である自己が理解できる。
⑤人間関係の他方である他者が理解できる
⑥人間関係が成立し、維持するルール、葛藤・対立への対処法を学び、実践できる。
⑦コミュニケーションの基礎、基本が理解できる。
⑧コミュニケーションの種類、その長短が理解できる。
⑨マスコミの基本、影響について理解できる。
⑩インターネットと人間関係の問題について知る。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション （学習対策、成績評価の基準など） 人間関係論とは	①	益川	講義	シラバス、①関係的存在としての人間、生理的早産について（120分）	身近な人間関係では何があるか、生理的早産の意味とは何か（120分）
2	野生児について	①	益川	講義	フランスやインドの野生児と社会、人間関係（120分）	野生児の定義、特殊な「実験」の意味とその結果は（120分）
3	メーヨーのホーソン実験	②	益川	講義	②人間関係論のはじまりで、ホーソン実験の概要とインフォーマルグループ論について（120分）	ホーソン実験のポイント、その結論とインフォームドコンセントとの関係（120分）
4	人間関係の発達 －エリクソンの理論－	③	神戸	講義	③人間関係の発達で、その段階と課題、人間関係を理解する（120分）	特に、乳児期、青年期、老年期について、子どもの虐待をデータからみる（120分）
5	自己認知 －自己概念－	④	益川	講義	①自己概念で、文化による相違 ②関係的自己とは（120分）	鏡に映った自己とは西欧的自己と日本的自己との対比・比較（120分）
6	自己認知 －自己開示と自己呈示－	④	益川	講義	③自己評価で、他者との比較の仕方 ④自己呈示の意味や目的、内面化（120分）	下方比較、上方比較の相違について（120分）
7	対人認知 －印象形成・バイアス・ステレオタイプ－	⑤	益川	講義	①印象形成で、断片の情報と全体像との関係 ②バイアス、偏見について（120分）	ステレオタイプの具体例を挙げる　予言の自己成就とは（120分）
8	対人関係の成立	⑥	益川	講義	他者との関係が成立する魅力や好意の条件は６つあり、その内容を理解する（120分）	カメレオン効果、単純接触効果、錯誤帰属とは（120分）
9	対人関係の維持	⑥	益川	講義	①社会的交換で、対人関係を維持する条件の４つ　②私的利益と公的利益のジレンマ（120分）	社会的交換の４つのモデルにうち、どれが良いと考えるか　囚人のジレンマ（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	対人関係の葛藤と対処	⑥	益川	講義	①葛藤の分類で、その３つの水準　②認知のバイアス　③不合理な思考　④対処の方法（120分）	原因帰属のバイアスとＨＲ，葛藤への対処法と有効性、燃え尽き症候群（120分）
11	コミュニケーションとは	⑦	益川	講義	①コミュニケーションの定義　②コミュニケーションの目標（120分）	コミュニケーションのモデルとは（120分）
12	対人コミュニケーション	⑦	益川	講義	①コミュニケーションの機能　②コミュニケーションのチャネル（120分）	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションの特徴と種類（120分）
13	コミュニケーションの種類 －メリット・デメリット－	⑧	益川	講義	③口頭と書面の相違　④コンテクストと文化（120分）	高コンテクストと低コンテクストの比較、医療のコンテクスト（120分）
14	マスコミュニケーション －影響・効果－	⑨	益川	講義	①映像メディアと活字メディア　②マスメディアの効果（120分）	マスメディアの効果についての研究の変化（120分）
15	ＩＣＴの発達とコミュニケーション	⑩	益川	講義	①インターネットや②ＳＮＳの利用状況、注意点　③人間関係への影響（120分）	ＳＮＳを利用するさいの注意点、最近の社会問題について（120分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

筆記試験（70%）、平常点（30%）

使用教科書

なし

参考図書

適宜紹介いたします。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	※授業時間内で取り組んで頂いた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
ボランティア論		後藤誠一		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0103
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。		後藤誠一（ぎふ地域学校協働活動センター(岐阜県・岐阜大学共同設置)センター員(学生ボランティアマッチング・現場での指導助言担当)）		

授 業 概 要

本講義では、ボランティアについて、その言葉が持つイメージから検討をはじめ、ボランティアの歴史、普及・定着の社会的背景、ボランティア活動の個人、組織、地域、社会にとっての意味・意義、そしてボランティア活動によって切り拓かれる可能性について基本的な知識を得るとともに、そうした知識を活用して現代社会の諸問題・課題の解決に主体的・能動的に参画しようとする、ボランティアとしての態度・心構えを形成することを目標とする。ディスカッション、グループワーク等の学び合いの機会も設ける。

学 修 の 到 達 目 標

①ボランティア活動の定義について歴史的背景を踏まえながら説明できる。
②ボランティア活動の意義と社会的役割について説明できる。
③ボランティア活動を支援する意味とボランティア活動支援機関の役割について理解し、説明することができる。
④ボランティア活動を通じて社会に参画しようとする主体的・能動的な態度・心構えが形成されている。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ボランティアとは何か①(イメージを共有する)	①②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
2	ボランティアとは何か②(イメージを分析する)	①②	後藤	講義	自身の持つ「ボランティア」という言葉に関するイメージを分析した結果をまとめる。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
3	ボランティアの本質・特徴	①②	後藤	講義	ボランティアにおいて大切なこと、特徴などをノートに書きだす。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
4	ボランティアにおける学び	①②	後藤	講義	ボランティアにおける成長や学びにはどのようなものがあるかをノートに書きだす。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
5	ボランティアにかかわる思想と歴史	①②	後藤	講義	ボランティアの歴史や福祉との関係について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
6	ボランティアの組織とマネジメント	①②	後藤	講義	NPO・ボランティア団体の法制度、組織運営について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
7	ボランティアの情報提供や支援方策、コーディネーター	①②④	後藤	講義	自治体等のボランティア情報提供、中間支援について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
8	青少年教育とボランティア	①②③	後藤	講義	子ども・若者のためのボランティアについて調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
9	体験活動におけるボランティア	②③④	後藤	講義	自然体験活動等の体験活動に関する事例や課題を調べる。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	学校と地域の連携・協働とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	学校と地域の連携協働、地域学校協働活動について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
11	地域学校協働におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	地域学校協働活動の事例について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
12	社会教育・生涯学習とボランティア	② ③ ④	後藤	講義	社会教育・生涯学習におけるボランティアや学習成果の還元について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
13	地域社会におけるボランティア	② ③ ④	後藤	講義	地域の課題、子ども食堂、学習支援の事例等について調べておく。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
14	ボランティアの可能性と展望	④	後藤	講義	これからの社会におけるボランティア活動の意義や可能性について考察してくる。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
15	ボランティア活動と自分	④	後藤	講義	これまでの学習を踏まえ、自身にとってのボランティアの意義と社会的役割、自分でできることや挑戦したいことについて考察してくる。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
	定期試験					

評価基準・評価方法

受講態度（グループワーク・発表含む）40%、授業時に書く振り返りシート20%、試験40%

使用教科書

なし

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	振り返りシートに書かれた内容や質問に対しては、次回授業時の冒頭にコメントや説明をする。
実務経験をいかした教育内容	ボランティア活動そのものに加えて、ボランティア活動を支えるための人や組織、支援方法についても解説したい。
備考	質問等ございましたら授業終了後、気軽に声をかけてください。

授業科目名		担当教員		
哲学		竹内章郎		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0204
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

自由・平等・友愛（共同性）は、近代社会全般の基礎とされるが、この講義では、自由と共同性との関連も重視しながら、平等とはいかなることかの解明を中心に、格差や不平等が広まる現実を根本から（ラディカルに）理解することを目指したい。あわせて、平等ということが社会保障や社会福祉の実践において非常に大切であることが感得されるような講義としたいと考えている。近代思想史や哲学史の理解も、そうした本講義のための手段であるという位置づけで、講義をするつもりである。

学 修 の 到 達 目 標

①大きな問題を根本から考える姿勢を身に付けるために、抽象度の高い言葉を理解しこれをある程度使えるようにする。
②近代思想・近代哲学の基本を一定程度理解できる。
③現代社会の課題の基本を捉える姿勢を身に付ける。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス（全体の進行について、資料の使い方など）	①	竹内	講義	資料の前書きの熟読（120分）	講義内容の復習（120分）
2	現代において平等を問うことの意味＜教科書iii～vii頁＞	③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
3	平等はなぜ避難されることが多いのか？　平等の根本的定義(1)＜教科書1～14頁＞	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
4	平等はなぜ避難されることが多いのか？　平等の根本的定義(2)＜教科書14～31頁＞	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
5	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(1)＜教科書33～44頁＞	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
6	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(2)＜教科書44～54頁＞	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
7	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(3)＜教科書54～68頁＞	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
8	平等論の深化・拡大、不平等と一体の平等に関する歴史(4)＜教科書～68頁＞	②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
9	悪平等はなぜうまれたのか？　伝統的平等論の意義と問題(1)＜教科書69～93頁＞	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	悪平等はなぜうまれたのか？　伝統的平等論の意義と問題(2)＜教科書93～117頁＞	①	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
11	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(1)＜教科書119～143頁＞	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
12	新たな能力論的平等論と新たな機会平等論(2)＜教科書143～166頁＞	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
13	新たな平等論の体系の構築に向けて(1)＜教科書　167～185頁＞	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
14	新たな平等論の体系の構築に向けて(2)＜教科書185～200頁＞	① ③	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）
15	新たな平等論の体系の構築に向けて(3)＜教科書200～215頁＞	① ②	竹内	講義	左記該当箇所の熟読（120分）	左記該当箇所の再読を含む講義内容の復習（120分）

評価基準・評価方法

最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。

使用教科書

使用しない（講義に先立って、講義全体に関する資料を配布する。）

参考図書

必要に応じて講義中に紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義について、適宜配布する質問用紙に記入してもらう内容に、その都度応答する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
教育学		益川浩一		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

本講義は、人間が生き、成長・発達していく上で教育がどのような意義を持ち、社会においてどのような役割を果たすのかについて考察していきます。また、教育をとりまく現代の諸問題を多面的に捉えつつ、教育という営みの現代的意義についても考察していきます。

学 修 の 到 達 目 標

①教育の概念と機能、その役割について説明できる。
②人間の生涯発達理論について説明できる。
③他者とのかかわりを導く技法を使うことができる。
④現代の教育と教育を取り巻く諸問題について自分の考えを持つことができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	教育の概念	①	益川	講義	自身の持つ「教育」という言葉に関するイメージをノートに列挙してくる。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
2	学ぶということ・教えるということ	①	益川	講義	第１回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
3	生涯発達理論①乳児期～幼児期	②	益川	講義	第２回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
4	生涯発達理論②児童期～青年期	②	益川	講義	第３回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
5	生涯発達理論③成人期～老年期	②	益川	講義	第４回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
6	教育の営みと教育を取り巻く諸問題	①④	益川	講義	第５回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
7	他者とのかかわり	③	益川	講義	第６回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
8	他者とのかかわりを導く技法	③	益川	講義	第７回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
9	教育の目標と評価	①	益川	講義	第８回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	教育のデザイン	①	益川	講義	第９回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
11	キャリア教育	④	益川	講義	第１０回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
12	ジェンダーとセクシュアリティ	④	益川	講義	第１１回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
13	特別ニーズ教育・インクルーシヴ教育	④	益川	講義	第１２回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
14	生涯教育	④	益川	講義	第１３回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
15	シティズンシップ教育	④	益川	講義	第１４回の授業内で指示する。（120分）	授業内容を整理し、ノートにまとめる。（120分）
	定期試験					

評価基準・評価方法

受講態度30%、定期試験70%

使用教科書

なし

参考図書

適宜紹介いたします。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	※定期試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。
実務経験をいかした教育内容	
備考	質問等ございましたら授業終了後、気軽に声をかけてください。

授業科目名		担当教員		
心理学		益川優子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	LH0206
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

心理学は他者理解の学問である。しかし、心理学という言葉は知っていても、心理学を正しく理解している人は多くない。本授業では、相手の心を理解するということはどういうことか、一人一人違うということはどういうことか、相手に目的に向かって動いてもらうということはどういうことか、の３点を中心に、医療現場で他者との関係をより良くするために必要な基礎知識を学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①相手の「心」を直接把握することができないことを理解できる。
②相手の「心」は推測でしか扱えないことを理解できる。
③同じ状況でも人によって違う心が推測されうることを理解できる。
④自分の心を相手にわかってもらうためには推測し易い情報を提供しなければならないことを理解できる。
⑤上記の関する知識を実際の人間関係に活用することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	イントロダクション：「行動」を説明する「心」：授業の概要、評価の方法	①	益川	講義	心理学に抱くイメージを、レポート（1000字程度）にまとめてくる。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
2	「心」を知る方法：直接覗くことはできない「心」	①	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
3	「心」を知る方法：「行動」から「心」を推測する	②	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
4	「心」を知る方法：「心」の推測には行動と刺激の情報が必要	②	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
5	「相手の心」は私の中に出来上がる：相手の「心」は主観的解釈	②	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
6	我々の理解とは？：現象の主観的な理解	②	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
7	科学的学問としての心理学:主観性と客観性	②	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
8	心理学の中心テーマ：個人差	③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
9	個人差を規定する要因１：遺伝	③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	個人差を規定する要因２：環境	③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、テキストとPPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
11	個人差を規定する要因３：遺伝と環境の相互作用	③	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
12	要求・動因・行動とフロイト理論	④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
13	行動を出現させるもの：動因と誘因	④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
14	動機づけの機能	④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
15	要求の生得性と習得性	④	益川	講義	前回の学生コメントとそれに対する回答を勉強し、PPWの該当部分を予習する。（120分）	受講内容を理解し、日常生活、自分の将来の仕事環境を想定して、使える可能性を考える。（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

筆記試験70%、平常点（小テストを含む）30%

使用教科書

なし

参考図書

適宜紹介いたします。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	※授業時間内で取り組んで頂いた小テストやレポートは、コメントをつけて返却いたします。 ※学期末試験については、全体の総評コメントを掲示にて公開いたします。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
生命倫理学		谷口泰弘		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	講義	LH0707
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

バイオエシックス（生命倫理学）の基礎的な事項を学ぶ。現代の医療においては医師だけではなく、多くの医療に関係する職種が協力し、チーム医療を担っている。それぞれの職種に高い倫理観が求められている。
本講義では、バイオエシックスに係る歴史的背景から最新の医療に関する倫理的問題群にいたるまで、デジタル教材を活用しながら講義形式で分かり易く解説する。

学 修 の 到 達 目 標

医療専門職に不可欠な倫理観を身につけるため、バイオエシックスに係る問題群について、倫理的・法的・社会的問題として捉え、思考し行動に移せる能力を修得する。
①バイオエシックスの歴史的背景等から、人間の尊厳を理解する。
②講義の各論から、医療に係る倫理的問題の本質を見極め、立場の違いを理解したうえで、解決に向けた多角的な思考ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	バイオエシックス総論①（ガイダンス、基礎概念）	①	谷口	講義	予習（120分） 教科書第1章前半部分	復習（120分） 教科書第1章前半部分と配布資料
2	バイオエシックス総論②（歴史的背景WWⅡ以前）	①	谷口	講義	予習（120分） 教科書第1章後半部分	復習（120分） 教科書第1章後半部分と配布資料
3	バイオエシックス総論③（歴史的背景WWⅡ以後）	①	谷口	講義	予習（120分） 教科書第2章前半部分	復習（120分） 教科書第2章前半部分と配布資料
4	自己決定と人間の尊厳（インフォームド・コンセント）	①	谷口	講義	予習（120分） 教科書第3章部分	復習（120分） 教科書第3章部分と配布資料
5	倫理理論の考え方（応用倫理学からのアプローチ）	①	谷口	講義	予習（120分） 教科書第2章後半部分	復習（120分） 教科書第2章後半部分と配布資料
6	生殖補助医療の問題①（人工授精、体外受精、代理母）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第4章前半部分	復習（120分） 教科書第4章前半部分と配布資料
7	生殖補助医療の問題②（出生前診断、着床前診断、人工妊娠中絶）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第4章後半部分	復習（120分） 教科書第4章後半部分と配布資料
8	遺伝子をめぐる問題（ヒトゲノムの利用、遺伝子特許、個人情報、エンハンスメント）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第5章部分	復習（120分） 教科書第5章部分と配布資料
9	ライフサイエンス研究をめぐる問題（再生医療、ヒトES細胞研究、ヒトiPS細胞研究）	②	谷口	講義	予習（120分） 再生医療に関する倫理的問題を調べる	復習（120分） 配布資料を復習する

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳死・臓器移植をめぐる問題（脳死の定義、臓器移植法、移植システム）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第6章部分	復習（120分） 教科書第6章部分と配布資料
11	終末期をめぐる問題①（尊厳死、安楽死）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章前半部分	復習（120分） 教科書第7章前半部分と配布資料
12	終末期をめぐる問題②（治療中止、鎮静、緩和医療）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第7章後半部分	復習（120分） 教科書第7章後半部分と配布資料
13	医療と法律（医療事故関係、医療契約）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第14章部分	復習（120分） 教科書第14章部分と配布資料
14	広義のバイオエシックス（動物倫理、環境倫理）	②	谷口	講義	予習（120分） 教科書第10章部分	復習（120分） 教科書第10章部分と配布資料
15	研究をめぐる倫理（研究不正、倫理委員会、オーサーシップ、利益相反等）	②	谷口	講義	予習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を予め調べる	復習（120分） 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を復習する
	定期試験（筆記）	① ②	谷口	試験		

評価基準・評価方法

評価基準は、知識・理解および思考とする。その評価方法は、定期試験を実施して評価する（80%）
ミニレポート等の提出物の内容も評価に入れる（20%）

使用教科書

第3版　生命倫理・医事法 / 塚田敬義ほか.--改訂版--医療科学社，2022年，978-4-86003-133-6

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	実施する定期試験およびミニレポートについては、総評を掲示する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	適宜、補足資料を配布し、理解が深まるよう講義する。 特段、オフィスアワーは設けないが、講義終了後に教室に残り質問等について対応する（この時間を活用してください）。

授業科目名		担当教員		
基礎演習		樅山貴子・加藤清人・世良龍哉　(代表教員　樅山貴子)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	LCM101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。		樅山 貴子（作業療法士）・加藤 清人（作業療法士）・世良 龍哉（作業療法士）		

授 業 概 要

学内ルールや学習方法、レポートの書き方、プレゼンテーション、社会的ルール、マナーなどについて学ぶ。
特に、学習方法に関する演習では、医療従事者に求められる知識・技術を修得するための基盤づくりを行い、学習習慣の定着につなげる。 演習方法は、グループワークを基本とし、シェア学習を通してルールやマナー、コミュニケーションに関してその実践を経験する。
グループ討論、プレゼンテーションのスキルを向上させ、他者の意見を傾聴し自身の意見を発信できる。
グループワークを通して、必要な医療の基礎知識の学習方法を学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①学校生活を送る上でのルールやマナーを理解し実践できる。
②社会人・医療職として求められる常識、ルール、マナーなどを習得し、遂行できる。
③グループ討論、プレゼンテーションのスキルを向上させ、他者の意見を傾聴し自身の意見を発信できる。
④グループ学習や課題を通して重要な基礎知識である解剖学を中心に学び、知識を定着することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	① ②	加藤	講義	入学前に習得した一般常識・マナーについてまとめる（30分）	講義で説明した内容について整理しておく（30分）
2	学内及び臨床における接遇	① ②	加藤	講義	配布した資料を事前に目を通す（30分）	講義の要点についてまとめる（30分）
3	学内及び臨床における接遇の実践	② ③	加藤	演習	第2回でまとめた資料を事前に確認する（30分）	演習で学んだことを整理する（30分）
4	学内及び臨床におけるSNSリテラシー	②	世良	講義	配布した資料を事前に目を通す（30分）	講義で提示した課題（30分）
5	学内及び臨床におけるSNSリテラシーの活用	②	世良	演習	配布した資料を事前に目を通す（30分）	講義で提示した課題（30分）
6	レポートの書き方	② ③	加藤	講義	事前に配布した資料に目を通す（30分）	講義で提示した課題を取り組む（30分）
7	PCによる課題作成①	① ② ③	世良	講義	個人のノートPCでOfficeの動作を確認（15分）	講義で提示した課題（45分）
8	PCによる課題作成②	① ② ③	世良	演習	講義で提示した課題（45分）	講義で提示した課題（30分）
9	基礎知識の学習方法（骨）①	③ ④	樅山他	演習	解剖学で学んだ骨の名称を確認しておく（30分）	講義で提示した課題（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	基礎知識の学習方法（骨）②	③ ④	樅山 他	演習	講義で提示した課題（30分）	講義で提示した課題（30分）
11	基礎知識の学習方法（骨）③	③ ④	樅山 他	演習	講義で提示した課題（30分）	講義で提示した課題（30分）
12	基礎知識の学習方法（骨）④	③ ④	樅山 他	演習	講義で提示した課題（30分）	講義で提示した課題（30分）
13	基礎知識の学習方法（筋）①	③ ④	樅山 他	演習	講義で提示した課題（30分）	講義で提示した課題（30分）
14	基礎知識の学習方法（筋）②	③ ④	樅山 他	演習	講義で提示した課題（30分）	講義で提示した課題（30分）
15	基礎知識の学習方法（筋）③	③ ④	樅山 他	演習	講義で提示した課題（30分）	講義で提示した課題（30分）

評価基準・評価方法

各セクションごとに提示する課題ならびに小テストで評価・判定する。

使用教科書

PT・OT　基礎から学ぶ解剖学ノート / 中島雅美.--第3版--医歯薬出版，2017年，978-4-263-21675-0
PT・OT　基礎から学ぶ運動学ノート / 中島雅美/中島喜代美.--第3版--医歯薬出版，2023年，978-4-263-26676-2
PT・OT　基礎から学ぶ生理学ノート / 中島雅美.--第3版--医歯薬出版，2018年，978-4-263-26551-2
コメディカルのための筋・骨格・関節・靭帯ポケットアトラス / 飯島治之、飯島美樹.--技術評論社，2020年，978-4-297-11269-1

参考図書

Platzer Fritsch, Kühnel Kahle, Frotscher〔原著〕：解剖学アトラス［原著第10版］（文光堂）

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	演習内ないし演習終了後にフィードバックの時間を設ける
実務経験をいかした教育内容	作業療法における職務経験（10年）から医療職に求められる人物像に対して接遇やマナーなどの基本的態度、教育経験（16年）から医療職を目指すうえで学内で備えておきたい態度や知識・技術についての基礎をについて触れていく.さらに，演習を通して模擬経験を行うことで対応力がみにつけられるよう授業を展開していく。
備考	演習内で質問の時間を設ける。また演習外でも適宜メール等で質問を受け付ける。

授業科目名		担当教員		
文章表現法		長屋由喜子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LCM102
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

将来医療や介護等の現場で働く者にとっては、患者や患者の家族・同僚スタッフ・福祉関係者等とのコミュニケーション力や文章作成力が必要である。授業を通して自身の国語力を知り基礎力を高めると共に、授業以外の日常生活の様々な場面でも意識して適切な言葉を遣うことをめざす。テキストとトレーニングシートを活用し、説明する力・聴く力を養うと共に、手紙文や公用メールのマナー・レポート等の書き方の実践を通して文章表現力を身に付ける。回によって、ペアワークやグループワークの授業をしたり、トレーニングシートや適宜課題の提出を求めることがある。

学 修 の 到 達 目 標

①正しく適切な日本語について学び、正確に情報や意見交換を行う力を身に付け、現場で生かせるようになる。
②自分の感情がコントロールでき、相手に配慮した言葉で良好な人間関係を築くことによって問題解決ができる。
③日々の生活において、メモをとったり書いたりすることを習慣にする。
④専門科目で求められるレポートや、社会人・職業人に必要な様々なを文章を作成することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	授業の進め方やテキストとトレーニングシートの活用についての説明。	①	長屋	講義	シラバスとテキスト、トレーニングシートに目を通し、学習の目標を理解する。(60分)	授業で学んだ内容を現場で生かせることを意識し、言葉に対する関心知識を高める。（60分）
2	テキスト（スタディスキル編）第１章「正しい日本語を使う－正確で豊かに表現する」トレーニングシート１の解説と自己採点。	①	長屋	講義	テキストP4～7を読み、トレーニングシート1を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート1の内容を確かなものにする。（60分）
3	テキスト（スタディスキル編）第2章「敬語を使う－相手を尊重する気持ちを伝える」トレーニングシート2の解説と自己採点。	① ②	長屋	講義	テキストP8～12を読み、トレーニングシート2を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート2の内容を確かなものにする。（60分）
4	テキスト（スタディスキル編）第3章「メモをとる－要点をおさえて記録する、伝える」トレーニングシート3の解説と自己採点。	① ③	長屋	講義	テキストP14～17を読み、トレーニングシート3を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート3の内容を確かなものにする。（60分）
5	テキスト（スタディスキル編）第4章「説明する・発表する－相手がわかる説明をする」トレーニングシート4の解説と自己採点。	① ②	長屋	講義	テキストP18～21を読み、トレーニングシート4を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート4の内容を確かなものにする。（60分）
6	テキスト（スタディスキル編）第5章「電話をする－その場でのやり取りに対応する」トレーニングシート5の解説と自己採点。	① ②	長屋	講義	テキストP22～25を読み、トレーニングシート5を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート5の内容を確かなものにする。（60分）
7	テキスト（スタディスキル編）第6章「メールを書く－学生生活でメールを使う」トレーニングシート6の解説と自己採点。	① ② ③ ④	長屋	講義	テキストP26～29を読み、トレーニングシート6を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート6の内容を確かなものにする。（60分）
8	テキスト（スタディスキル編）第7章「手紙を書く－病院・施設に宛てて書く手紙のマナー」トレーニングシート7の解説と自己採点。時候の挨拶を知る。時候の挨拶を知る。	① ② ③ ④	長屋	講義	テキストP30～33を読み、トレーニングシート7を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート7の内容を確かなものにする。（60分）
9	テキスト（スタディスキル編）第8章「レポートを書く（1）：内容編－レポートに何を書くのか」トレーニングシート8（裏表2枚）の解説と自己採点。	① ③ ④	長屋	講義	テキストP34～37を読み、トレーニングシート8を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート8の内容を確かなものにする。（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	テキスト（スタディスキル編）第9章「レポートを書く（2）：表現編－レポートをどう書くのか」トレーニングシート9（裏表2枚）の解説と自己採点。文章の基本を知る。	① ③ ④	長屋	講義	テキストP38～42を読み、トレーニングシート9を解く。（60分）	授業を振り返り、トレーニングシート9の内容を確かなものにする。（60分）
11	テキスト（ソーシャルスキル編）「ソーシャルスキルの学び方」第1章「挨拶をする、自己紹介をする－さわやかな印象を」トレーニングシート1（P23,24）を実践する。	① ②	長屋	講義	テキストP44～49を読み、自分の特徴・長所・短所、会話のネタ等の準備。(60分)	授業を振り返り、場面に応じた自己紹介のスキルを身に付け、良好な人間関係に繋げる。(60分)
12	テキスト（ソーシャルスキル編）第2章「話すスキルと聞くスキル－互いにつながるために」トレーニングシート2（P25,26）を実践・発表する。	① ②	長屋	講義	テキストP51話すスキルとP53聴くスキルのモデリングで練習しておく。（60分）	実際の生活の場で試してみる。誤解や思い込みのないコミュニケーション力を身に付ける。（60分）
13	テキスト（ソーシャルスキル編）第3章「上手に断る－相手を傷つけないように」トレーニングシート3（P27,28）を実践・発表する。	① ② ③	長屋	講義	テキストP56～59を読み、トレーニングシートP27の課題1,2に意見を書く。（60分）	相手の期待に応えられず上手に断るポイントを学び、応用してみる。（60分）
14	テキスト（ソーシャルスキル編）第4章「感情をコントロールするスキル」トレーニングシート4（P29,30）を実践・発表する。	① ② ③	長屋	講義	テキストP60～63を読み、トレーニングシートP29,30に意見や考えを書く。（60分）	自分の苦手な場面で冷静に感情をコントロールする方法を学び、応用してみる。（60分）
15	テキスト（ソーシャルスキル編）第5章「うまく問題を解決するスキル」のモデル（例題）について、国語力・文章表現力を生かし論文を作成し、提出する。	① ② ③	長屋	講義	テキストP65のモデルについて、解決索を400字程度にまとめておく。（60分）	事前学習の下書きを参考に、自身の問題解決のスキルと文章表現力を自己評価する。（60分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

①テキストとトレーニングシートに基づき必ず事前学習を行い、授業に臨むこと【授業に対する意欲】
②トレーニングシートの他に適宜与えられた課題に取り組み、提出すること【課題提出の厳守】
③定期試験【日本語表現力、ソーシャルスキルの習得と定着】

使用教科書

看護系学生のための日本語表現トレーニング / 野呂幾久子/渡辺弥生/味木由佳〔編著〕.--三省堂 , 2013年, 978-4-385-36328-8

参考図書

必要に応じて授業中に紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	①トレーニングシートの提出→完成度（授業に対する意欲・知識の定着）の確認 ②課題文の提出→問題解決のスキルと文章力の確認
実務経験をいかした教育内容	
備考	質問は随時受け付けます。学習相談等があれば、授業時間の前後に対応したいと思いますが、時間を要する内容については口頭ではなく文章にして渡してください。次の授業で極力回答したいと思います。

授業科目名		担当教員		
コミュニケーション学		藤崎和彦・早川佳穂　(代表教員　藤崎和彦)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LCM203
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

・コミュニケーションの重要性を理解する。
・自分自身のコミュニケーションのスキルについて深く振り返り、医療現場において、患者さん・医療スタッフとの間でよりよい人間関係を構築するための具体的なコミュニケーション能力を身につける。
・グループディスカッション、ペアワークなど体験、実践を中心とした講義を行う。

学 修 の 到 達 目 標

①非言語コミュニケーションの重要性を理解し、実践できる
②年代が違う人への挨拶、返事など、日常的なコミュニケーションができる
③自分の気持ち・考えなどを明確に相手に伝えることができる
④相手の言葉の背景にある気持ちや考えを想像しコミュニケーションすることができる
⑤医療現場におけるコミュニケーションの重要性と求められているスキルを学ぶ

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	・この授業の目的・到達目標について知る ・コミュニケーションの重要性とトレーニング方法について学ぶ	①②③④⑤	藤崎	講義		授業で習得したスキルを日常生活で実践する(60分)
2	・医療コミュニケーションの特徴とポイントを学ぶ	①②③④⑤	藤崎	講義	医療コミュニケーションの特徴について考えてみる（30分）	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
3	・相手の本当に伝えたいことを受けとめるための聴き方について学ぶ	②④⑤	藤崎	講義	自分は普段どのような聴き方をしているか考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
4	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	①②③④⑤	藤崎	講義	初対面の人と会話するときに困っていることを考える(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
5	・ロールプレイを通して医療コミュニケーションのポイントについて学ぶ	②④⑤	藤崎	講義	クライアントとどんな話し方が相応しいかを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
6	・コミュニケーションの基本スキル① 挨拶や返事など日常生活においても必要なコミュニケーションを学ぶ	①② 早川	講義	日常生活において自身の挨拶などの実践を振り返る（30分）	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
7	・コミュニケーションの基本スキル② 相手との信頼関係をつくるコミュニケーションについて学ぶ	①② 早川	講義	信頼関係をつくるために自身が実践していることを考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
8	・コミュニケーションの基本スキル③ 相手の気持ちを引き出すコミュニケーションについて学ぶ	④ 早川	講義	相手の気持ちを理解するためにどうしたらよいか考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
9	・コミュニケーションの基本スキル④ 共感について学ぶ	①④ 早川	講義	共感について調べてくる（30分）	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	・オンラインコミュニケーションに関してワークを通して学ぶ	③ ④	早川	講義	オンラインコミュニケーションの特徴を考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
11	・患者を理解する① 患者の様々な背景に関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	患者さんの様々な背景に関して考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
12	・患者を理解する② 解釈モデルに関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	解釈モデルに関して調べてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
13	・医療コミュニケーションのスキル① 様々な背景の患者や患者家族に対してわかりやすく且つ正しく伝える説明をワークを通して学ぶ	③ ⑤	早川	講義	わかりやすく説明するために重要なことを考えてくる（30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
14	・医療コミュニケーションのスキル② 行動変容に関してワークを通して学ぶ	④ ⑤	早川	講義	行動変容とは何か調べてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
15	・医療場面での多職種とのコミュニケーションを学ぶ	③ ④ ⑤	早川	講義	医療現場でどのような職種とのコミュニケーションが必要か考えてくる(30分)	授業で習得したスキルを日常生活で実践する(30分)
	定期試験　無し					

評価基準・評価方法

・授業態度（授業への関わり方）　60%
・レポートの内容（複数回レポート提出）　40%

使用教科書

参考図書

・授業の進行に伴って、その都度紹介する。
・適宜、教材として使用するプリントなども配付する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	・コメント、口頭でフィードバック
実務経験をいかした教育内容	
備考	・自分のコミュニケーションの問題・悩みなどなんでもいいので課題をもって授業に臨んでください。 ・Eメールアドレスは、初回講義時間内にお知らせします。

授業科目名		担当教員		
英語Ⅰ（教養英語）		長尾裕子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	LFL101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

本講義では英語の読解能力を向上させることをねらいとする。身近なトピックスを題材を使ったテキストを使用し、英語の語彙、語法、表現等を学ぶことにより大学レベルの読解力を養うことを目指します。

学 修 の 到 達 目 標

辞書を引くことにより
①インターネットなどで英語検索をした文章が読める
②自分の分野の論文が読めるようになる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション		長尾	講義		
2	Weather	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
3	The Internet	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
4	Animals	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
5	Friends	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
6	Helping Others	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
7	Traveling	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
8	Collections and Gifts	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
9	Careers	①②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	European Cultures	① ②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
11	Gifted Children	① ②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
12	Restaurants	① ②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
13	Transportation	① ②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
14	Homes	① ②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（30分）
15	Space	① ②	長尾	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（30分）	今までに学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（60分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

授業参加度４０％、筆記試験６０％を総合的に判断する

使用教科書

Reading Links 2 / Andrew E. Bennett.--南雲堂, 978-4-523-17923-8

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。試験に関しても質問に応じる。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
英語Ⅱ（日常英会話）C		長尾裕子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL202
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

本講義は英語のコミュニケーション能力を高めるための授業で、英会話能力を養うことを目的とする。身近で起こることを英語で表現したり、ペアで会話練習をしたりすることにより、英語で話すことの楽しさを味わえるようにしたいと思います。

学 修 の 到 達 目 標

①友達と簡単な会話が英語でできる
②英語の質問に即答できるようになる

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	I'm a student.　Self Introduction	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
2	What' your phone number?	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
3	That's my wallet.	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
4	Review	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
5	Do you like K-pop?	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
6	What do you do for fun?	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
7	Can you speak Chinese?	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
8	Review	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	
9	What's she wearing?	①② 長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）	

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Are there any chairs?	① ②	長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）
11	The bank is on the corner.	① ②	長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）
12	Review	① ②	長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）
13	Do we have any coffee?	① ②	長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）
14	Where were you yesterday?	① ②	長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）
15	What did you do?　Review	① ②	長尾	講義	教科書を読んで　内容を理解し声に出してよんでくること（30分）	学習したことを復習し、会話練習をする（30分）
	定期試験（口頭試問）					

評価基準・評価方法
授業中の応答40%、口頭試問60%を総合的に判断する

使用教科書
Smart Choice fourth edition,Starter / Ken Wilson ほか.--Oxford Univ. Press, 978-0-19-406174-2

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題に関して、授業の中で教員と学生がディスカッションを行う。試験に関しても質問に応じる。
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
英語Ⅲ（専門英語）		ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ ｾｲｴﾄﾞ ﾓﾊﾏﾄﾞ		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL203
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

本講義では、ホスピタル・イングリッシュによるコミュニケーション能力を総合的に向上させることをねらいとする。発音や聞き取りの練習により、スピーキングやリスニングの能力を育成する。「読む」「聞く」「話す」という３つの技能を育て、英語の運用能力を総合的に養う。

学 修 の 到 達 目 標

毎回さまざまな医療に関する言語活動を行い，英語の持つ多様な機能や働きを考えることを目指す。
①正しい発音と適切なパターンで発話することができる。
②医療英語によるコミュニケーションに必要なリスニング力を身につけ、状況の聞き取りができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義		その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
2	Lesson 1: Reception Desk（救急外来受付）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
3	Lesson 2:Examination Room（診察室）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
4	Lesson 3: Giving Injection（注射をする）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
5	Lesson 4: Explanation to a Family Member（患者の家族への説明）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
6	Lesson 5:Self-Introduction and First Meal（自己紹介と初めての食事）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
7	Lesson 6: Orientation to the Ward（入院病棟を案内する）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
8	Lesson 7: Asking Height, Weight, and Temperature（身長、体重、体温を尋ねる）	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
9	Lesson 8: Obtaining the Patient's History（患者歴をとる）小テスト	①②②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Lesson 9: Checking the Patient's Condition（患者の状態をチェックする）	① ②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
11	Lesson 10: Blood Test Explanation（血液検査の説明）	① ②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
12	Lesson 11: Drawing a Blood Sample（採血）	① ②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
13	Lesson 12:Explaining about the Operation : Basic Procedures（手術についての説明：基本的手順）	① ②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
14	Lesson 13: Explaining about the Operation:Anesthesia （手術についての説明：麻酔）	① ②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
15	Lesson 14:Taking the Patient into Surgery（手術室への搬送）	① ②	ﾐﾙﾎﾞﾄﾞ	講義	前もって次に学ぶチャプターのわからない単語の意味を辞書で引いておく（45分）	その日に学んだことを復習し、単語やイディオムの意味を頭にいれておく（45分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

授業参加態度・小テスト・・・40%，理解度判定・・・60%

使用教科書

Essential English For Nurses　5th Edition(学生版) / Paul Zito & Masako Hayano.--日総研，978-4-7760-1861-2

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	
備考	皆さんの英語力とテキストの難易度をすり合わせ，無理のない進み方で行う。 学生がテキストの内容をよく理解するために各ユニットをスライドプレゼンテーションで説明する。

授業科目名		担当教員		
ドイツ語		安藤彰浩		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL204
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。		安藤彰浩（ドイツ語通訳）		

授 業 概 要

ドイツ語における初級の基礎知識の習得を目指す。インターネット（動画サイトYou Tube 等でニュース放送を見る）を活用して、ドイツ人の話す生のドイツ語に触れる機会を設ける。ドイツ社会における時事的、文化的話題を提供して、ドイツの歴史や文化に対する興味を喚起する。

学 修 の 到 達 目 標

①ドイツ語の基本的な表現に親しむ。
②ドイツ語学習を通じて言葉の感覚を磨き、自分をより正確に表現する力を身に付ける。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	発音。数字0～12。挨拶	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
2	自己紹介。　－　動詞の現在人称変化 ich/Sie	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
3	自己紹介。　－　動詞の現在人称変化　du	①	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
4	第三者の紹介。　－　動詞の現在人称変化　三人称単数　er/sie	①②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
5	身の回りのもの。　－　格変化：主格（1格）。複数形	①②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
6	買い物・家族。直接目的格（4格）。　－　所有冠詞	①②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
7	お土産。間接目的語（3格）。　－　人称代名詞	①②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
8	趣味。時間表現。曜日　－　不規則動詞の現在人称変化	①②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
9	道をたずねる。　－　前置詞の格支配１、命令形	①②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	Eメール。月と季節　－　前置詞の格支配２	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
11	手紙。時間表現２　－　イントネーションと文アクセント	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
12	料理・レストラン　－　会話表現	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
13	ドイツ鉄道　－　分離動詞・非分離動詞、zu不定詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
14	ベルリンへの旅　－　話法の助動詞	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
15	ドイツの歴史、文化について。　－　文法のおさらい	① ②	安藤	講義	次に扱うテキストの内容に目を通す。（30分）	授業内容の復習（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

理解度、積極参加を重視
定期試験（60%）、小試験（20%）、授業への取り組み（20%）

使用教科書

シュピッツェ１　コミュニケーションで学ぶドイツ語 / 朝日出版社, 978-4-255-25422-7

参考図書

必要に応じて紹介

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題の習得を総合的に評価してコメントする。
実務経験をいかした教育内容	
備考	毎回、動画サイトを使って、ドイツ人の生活や文化を紹介する。

授業科目名		担当教員		
中国語		橋本永貢子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	LFL205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)看護ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)視機能ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(1)(3)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

現代中国語の初歩を学ぶ。基礎的な中国語の習得を通じて、中国語が一言語としてどのような特徴を持っているのかを学び、また、中国人とコミュニケーションをとる場合に必要な知識や中国語の背景にある中国の文化や社会についても理解を深める。これにより、将来医療従事者になった場合にも役に立つ教養を身に付ける。

学 修 の 到 達 目 標

①発音記号が読め、中国語の発音を習得する
②簡単な挨拶言葉を習得する
③基礎的な文法を習得し、日常会話ができるようにする

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中国語の概要、声調	①	橋本	講義	テレビやラジオ、インターネット等で、中国語の音を聞いてみる。（30分）	声調練習を行い、マスターする（30分）
2	母音（1）	①	橋本	講義	声調の復習をする。（30分）	単母音の発音練習を行い、マスターする。（30分）
3	子音	①	橋本	講義	単母音の復習をする。（30分）	子音の発音練習を行い、マスターする。（30分）
4	母音（2）	①	橋本	講義	子音の復習をする。（30分）	複母音・鼻母音の発音練習を行い、マスターする。（30分）
5	発音のまとめ	①	橋本	講義	複母音・鼻母音の復習をする。（30分）	ピンインの書き方と発音の仕方を覚える。（30分）
6	挨拶のしかた	① ②	橋本	講義	ピンインの書き方と発音の仕方の復習をする。（30分）	中国語での挨拶の仕方を練習しマスターする。（30分）
7	動詞述語文（1）	① ②	橋本	講義	中国語での挨拶の仕方を復習する（30分）	教科書第2課本文の発音練習を行う。（30分）
8	動詞述語文（2）、連体修飾語と疑問文（1）	① ② ③	橋本	講義	教科書第2課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。（30分）	教科書第3課の本文の発音練習を行う。（30分）
9	連体修飾語と疑問文（2）	① ② ③	橋本	講義	教科書第3課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。（30分）	教科書第1課から第3課の復習をする。（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	存在を表す文（1）	① ② ③	橋本	講義	教科書第1課から第3課の復習をする。（30分）	教科書第4課の本文の発音練習を行う。（30分）
11	存在を表す文（2）、所在を表す文（1）	① ② ③	橋本	講義	教科書第4課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。（30分）	教科書第5課の本文の発音練習を行う。（30分）
12	所在を表す文（2）	① ② ③	橋本	講義	教科書第5課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。（30分）	教科書第4課と第5課の復習をする。（30分）
13	助動詞を用いた文（1）	① ② ③	橋本	講義	教科書第6課の本文の発音練習を行う。（30分）	教科書第6課の本文の発音練習を行う。（30分）
14	助動詞を用いた文（2）	① ② ③	橋本	講義	教科書第6課の本文の発音練習を行い、練習問題を解く。（30分）	会話練習に必要な表現を復習する。（30分）
15	実践的な中国語会話練習	① ②	橋本	講義	会話練習に必要な表現を発音練習する。（30分）	教科書第1課から第3課の復習をする。（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

発音とリスニングを重視する。毎回の授業における理解度や発音の状況（20%）と学期中数回行う小テスト（30%）、および期末テストの結果（50%）から総合的に評価する。

使用教科書

医療系学生のための初級中国語 / 山田眞一.--白帝社, 978-4-89174-979-8

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題に対しては、次の授業の際に点検あるいは採点したものを返却しまた解説する。
実務経験をいかした教育内容	
備考	連絡先メールアドレス：hashimoto.ekuko.k7@f.gifu-u.ac.jp

授業科目名		担当教員		
解剖学Ⅰ（骨・筋肉系）		千田隆夫		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBS101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

成人の骨は約200個あり、関節でつながって筋の収縮によって動く。骨と関節と筋をあわせて運動器と呼ぶ。快適な日常生活を営むには、骨と関節と筋の働きが非常に重要である。骨・関節・筋に障害が起こると、動作や運動が制約される。理学療法・作業療法の多くは、運動器の働きを正常に戻すために行われている。したがって、理学療法士・作業療法士をめざす諸君にとっては、運動器の知識は非常に重要である。この授業では、人体の骨・関節・筋の概略について学び、様々な人体の運動への骨・関節・筋の関わりについて理解を深める。

学 修 の 到 達 目 標

①全身の骨格を構成する個々の骨の名称、数、形状、構造上の特徴を列挙し、筋・血管・神経・内臓との関係を説明できる。
②骨と骨の連結様式を列挙し、それに基づく関節の運動を説明できる。
③全身の骨格筋の名称、起始・停止、形状、作用、支配神経を列挙し、様々な運動にどの筋がどのように関与するかを説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	骨の一般構造・骨化・機能	①	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
2	関節の一般構造・種類・運動	②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
3	脊柱を構成する骨と関節	① ②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
4	胸郭を構成する骨と関節	① ②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
5	上肢を構成する骨と関節	① ②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
6	下肢を構成する骨と関節	① ②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
7	頭蓋を構成する骨と関節①	① ②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
8	頭蓋を構成する骨と関節②	① ②	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
9	筋の構造・機能	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	頭部の筋	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
11	頸部の筋	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
12	胸腹部の筋	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
13	背部の筋	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
14	上肢の筋	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
15	下肢の筋	③	千田	講義	指定教科書の該当ページに出てくる太字の用語を書き出す（30分）	指定教科書の該当ページの図のカラ-リングを完成させる（30分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

定期試験（100%）で評価する。

使用教科書

人体解剖カラーリングブック【補訂版】 / Twietmeyer・McCracken著　天野修、千田隆夫、鳥橋茂子監訳.--丸善出版，2020年，978-4-621-30563-8
医療系学生のための解剖見学実習ノート / 千田隆夫、小村一也.--アドスリー，2020年，978-4-904419-96-0 C3047

参考図書

カラーイラストで学ぶ　集中講義　解剖学、坂井建雄編集、メディカルビュー社

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験の正解例の掲示
実務経験をいかした教育内容	
備考	

授業科目名		担当教員		
解剖学Ⅱ（内臓系）		江村正一		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBS102
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

心臓をはじめとした循環器系、気管支、肺などの呼吸器系、食道・胃・腸などの消化器系および内分泌腺と尿生殖器について学ぶ。いくつかの臓器が一体となって機能し、生命が維持されていることを理解する。

学 修 の 到 達 目 標

① 循環器・呼吸器・消化器・内分泌腺・泌尿器・生殖器の各器官について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	解剖学総論	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
2	循環器系Ⅰ ／ 心臓について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
3	循環器系Ⅱ ／ 動脈について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
4	循環器系Ⅲ ／ 門脈について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
5	循環器系Ⅳ ／ 静脈・リンパ管について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
6	呼吸器系Ⅰ ／ 鼻・喉頭・気管と気管支について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
7	呼吸器系Ⅱ ／ 肺について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
8	消化器系Ⅰ ／ 口腔・食道について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
9	消化器系Ⅱ ／ 胃・小腸・大腸について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	消化器系Ⅲ ／ 肝臓・胆嚢・膵臓について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
11	内分泌腺 ／ 視床下部・下垂体・甲状腺・上皮小体・副腎について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
12	泌尿器 ／ 腎臓・尿管・膀胱について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
13	発生	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
14	生殖器 ／ 男女生殖器について	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
15	各内臓が密接な関係にあることを理解する	①	江村	講義	授業計画に沿って教科書の範囲を予習する。（30分）	事前学習で疑問に思った事を納得できるようにする。（30分）
	筆記試験					

評価基準・評価方法

筆記試験結果（100%）

使用教科書

系統看護学講座専門基礎分野　人体の構造と機能（１）解剖生理学 / 坂井建雄ほか.--第11版--医学書院，2022年，978-4-260-04687-9

参考図書

適宜、参考資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験問題に対する質問をメールでも受け付ける。 E-mail s.emura@heisei-iryou.ac.jp
実務経験をいかした教育内容	医学部解剖学分野教員として14年間解剖学実習指導経験を生かした授業を実施する。
備考	

授業科目名		担当教員		
解剖学Ⅲ（神経系）		堀　信宏・竹中孝博・大場かおり・藤橋雄一郎　（代表教員　堀　信宏）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SBS203
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏（理学療法士）、竹中孝博（作業療法士）、大場かおり（理学療法士）、藤橋雄一郎（理学療法士）		

授 業 概 要

解剖学Ⅲ（神経系）では主に中枢，末梢，自律神経系と感覚器について学びます。理学療法士，作業療法士にとって神経解剖の知識は，将来対象となる脳血管障害やパーキンソン病，多発性硬化症，脊髄損傷といった身体機能障害を理解する基礎となるだけでなく，認知症や高次脳機能障害といった認知面の基礎にもなります。また，臨床（国家試験でも）中枢神経系の画像に触れる機会が増え，解剖を基に治療プランを作成している。以上より，構造と機能の理解は必要不可欠です。

学 修 の 到 達 目 標

①ニューロンの基本構造や脳，脊髄，脊髄神経，脳神経，自律神経の構造について理解する。
②上肢に分布する腕神経叢の枝や，下肢に分布する腰仙骨神経叢の枝の走行を説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経系総論：神経の区分，神経の構成，髄膜と脳室系	①	藤橋	講義	教科書P.229-237を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
2	中枢神経系：脊髄，脳幹	①	堀	講義	教科書P.241-251を読み、内容を確認しましょう（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
3	中枢神経系：小脳	①	堀	講義	教科書P.251-255を読み、内容を確認しましょう（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）
4	中枢神経系：大脳（間脳，大脳皮質の構造）	①	堀	講義	教科書P.256-263を読み、内容を確認しましょう（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）
5	中枢神経系：大脳皮質（大脳皮質の機能局在）	①	堀	講義	教科書P.263-267を読み、内容を確認しましょう（30分）	「まとめの絵」について，教科書を使用し再確認しましょう（30分）
6	中枢神経系：上行性神経路	①	藤橋	講義	教科書P268-271を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）
7	中枢神経系：下行性神経路	①	藤橋	講義	教科書P274-277を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
8	末梢神経系：自律神経系	①	藤橋	講義	教科書P311-314を読み、内容を確認しましょう（30分）。	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
9	末梢神経系：概論及び腕神経叢と関連する末梢神経	②	竹中	講義	教科書(1)p.278-291及び教科書(2)p.294-299を通読する（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経系：腰神経叢と関連する末梢神経	②	竹中	講義	教科書(1)p.291-293の通読及び配布資料（腕神経叢）の確認（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
11	末梢神経系：仙骨神経叢と関連する末梢神経	②	竹中	講義	教科書(1)p.293-300の通読及び配布資料（腰神経叢）の確認（30分）	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
12	脳神経：概要 Ⅰ-Ⅴ脳神経の機能	①	大場	講義	「病気がみえる７」のp242-p264を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
13	脳神経：Ⅵ-Ⅻ脳神経の機能	①	大場	講義	「病気がみえる７」のp264-279を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう（30分）。
14	感覚器：皮膚、体性感覚受容器、視聴覚、平衡感覚、味覚	①	大場	講義	解剖学（医学書院）の「感覚器系」の箇所を確認しておきましょう。(30分)	講義終了後に実施する確認テストにて、間違えた内容を教科書を使用し再確認しましょう(30分)。
15	神経解剖学の臨床的つながりを考えてみる	① ②	堀 大場 藤橋 竹中	講義	これまで各担当から配布された資料を再確認しましょう	神経解剖学が臨床とどの様につながっているのか考えてみましょう
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

期末試験95%（各担当者が行う小テストを基に出題する．参加度・態度を加味する）．小テスト5%．割合は若干変更する可能性がある

使用教科書

標準理学療法学・作業療法学　解剖学　第5版 / 野村嶬--医学書院，2020年，ISBN978-4-260-03922-2
病気がみえる７　脳・神経 / 医療情報科学研究所.--第2版--メディックメディア，2017年，ISBN978-4-89632-686-4

参考図書

プロメテウス解剖学アトラス頭頸部/神経解剖　第３版，坂井建雄ら監訳，医学書院，2019

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	小テスト後，授業内で実施（採点し返却する場合もある）．
実務経験をいかした教育内容	神経系解剖学の知識を用いて，様々な疾患，障害の原因を理解することができます．講義内では実際の臨床，理学療法/作業療法とどの様につながっているのか提示していきます．
備考	範囲が広いので，各担当が行う小テストをしっかり取り組み，覚えること。 解らない内容は後回しにせず，その都度整理につとめることが大切です。この神経系解剖は，2年生の神経系疾患の基礎になるので，ここをしっかり勉強しておくと，後の学修に有益になる。

授業科目名		担当教員		
解剖学演習（体表解剖　骨）		浅野莉沙		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	演習	SBS104
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士として必要な人体の構造を理解するために、骨の名称や形状、関節構造の知識を学び、併せて皮膚上からの触診を行う。授業は講義形式で知識を学び、その後ペア学習やグループワークにて演習を行う。教科書上で学ぶ二次元的な知識を三次元的に捉えることで理解を深める。また、作業療法士として対象者に接する際の基本的な配慮（態度や身なり等）を修得する。

学 修 の 到 達 目 標

①骨の名称や特徴について説明できる。
②体表面から骨の形状を正確に触診できる。
③他者の体に触れるため、相手への基本的配慮（身なり、態度、言葉遣い）ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	身体部位名称と肢位、運動（青本p.2～9）	③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	鎖骨（青本p.33～38）	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	肩甲骨（青本p.16～25）	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	肩甲骨、上腕骨（青本p.27～48）	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	上腕骨、尺骨、橈骨　（青本p.49～63）	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	尺骨、橈骨（青本p.64～78）、手根骨総論	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	手根骨（青本p.80～89）、指骨総論	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	手根骨、指骨（青本p.90～105）	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	肩甲帯、上肢帯の触診１	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	肩甲帯、上肢帯の触診２	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	胸骨、肋骨、頭蓋骨（赤本p.268～277、286～287）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	脊椎、骨盤(赤本p.290～294、2～12）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	骨盤、大腿骨、膝蓋骨、膝関節（赤本p.14～42）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	脛骨、腓骨（赤本p.43～60）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	足根骨、足趾骨（赤本p.61～85）	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	期末試験					

評価基準・評価方法

・授業2コマごとに小テスト（筆記）を行う（20%）
・中間試験（34%）と期末試験（46%）は筆記試験と実技試験の得点を合算して採点する

使用教科書

運動療法のための機能解剖学的触診技術　動画プラス（上肢）　/ 林典雄.--改訂第２版--メジカルビュー社，2022年12月1日刊行，978-4-7583-2093-1
運動療法のための機能解剖学的触診技術　動画プラス（下肢・体幹）　/ 林典雄.--改訂第２版--メジカルビュー社，2022年12月1日刊行，978-4-7583-2094-8
コメディカルのための筋・骨格・関節・靭帯ポケットアトラス / 飯島治之、飯島美樹.--株式会社技術評論社，2020年4月25日，978-4-297-11269-1

参考図書

・解剖学アトラス

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	小テストは採点し、返却する。
実務経験をいかした教育内容	身体障害・老年期障害領域での臨床経験から、相手が不安や不快感を感じにくい触れ方を指導する。また、筋肉のかたさや関節の動き等は個々人によって異なるため、個人差を体感しながら技術を習得できるよう授業を展開していく。
備考	＜メッセージ＞触診技術は練習を積み重ねれば必ず上達します。積極的に繰り返し練習しましょう。事前にアポイントメントを取り、授業外の自主練習時にアドバイスや触診の確認をすることも可能です。 ＜質問・相談＞質問や相談は適宜受け付けます。

授業科目名		担当教員		
解剖学演習（体表解剖　筋）		浅野莉沙		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	SBS205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士として必要な人体の構造を理解するために、筋の走行や形状、作用といった知識を学び、併せて皮膚上からの触診を行う。授業は講義形式で基本的な知識を学び、その後ペアやグループワークで演習を行う。教科書上で学ぶ二次元的な知識を被検者の体で三次元的に捉えることで理解を深める。また、作業療法士として対象者に接する際の基本的な配慮（態度や身なり等）を修得する。

学 修 の 到 達 目 標

①筋の走行や形状、作用について説明できる。
②体表面から筋を正確に触診できる。
③他者の体に触れるため、相手への基本的配慮（身なり、態度、言葉遣い）ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	三角筋、大胸筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	棘上筋、棘下筋、大円筋、小円筋、肩甲下筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	僧帽筋、前鋸筋、大小菱形筋、肩甲挙筋、広背筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	小胸筋、烏口腕筋、上腕二頭筋、上腕筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	腕橈骨筋、上腕三頭筋、肘筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	円回内筋、方形回内筋、長掌筋、橈側手根屈筋、尺側手根屈筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	長・短橈側手根伸筋、総指伸筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	長・短母指伸筋、長母指外転筋、浅指屈筋、深指屈筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	短母指屈筋、短母指外転筋、母指内転筋、母指対立筋	①②③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	小指外転筋、短小指屈筋、小指対立筋、虫様筋、掌側・背側骨間筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	腸腰筋、大腿直筋、内側・中間・外側広筋、縫工筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	薄筋、長・大内転筋、大殿筋、中殿筋、大腿筋膜張筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	半腱・半膜様筋、大腿二頭筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	腓腹筋、ヒラメ筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	前脛骨筋、後脛骨筋、長・短腓骨筋、第三腓骨筋	① ② ③	浅野	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	期末試験					

評価基準・評価方法

・授業２コマごとに小テスト（筆記）を行う（20%）
・中間試験（34%）、期末試験（46%）は筆記試験と実技試験の得点を合算して採点する

使用教科書

運動療法のための機能解剖学的触診技術　動画プラス（上肢）　/ 林典雄.--改訂第２版--メジカルビュー社，2022年12月1日刊行，ISBN978-4-7583-2093-1
運動療法のための機能解剖学的触診技術　動画プラス（下肢・体幹）　/ 林典雄.--改訂第２版--メジカルビュー社，2022年12月1日刊行，ISBN978-4-7583-2094-8
コメディカルのための筋・骨格・関節・靭帯ポケットアトラス / 飯島治之、飯島美樹.--株式会社技術評論社，2020年4月25日，ISBN978-4-297-11269-1

参考図書

・解剖学アトラス

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	小テストは採点後、返却する。
実務経験をいかした教育内容	身体障害・老年期障害領域での臨床経験から、相手が不安や不快感を感じにくい触れ方を指導する。また、筋肉のかたさや関節の動き等は個々人によって異なるため、個人差を体感しながら技術を習得できるよう授業を展開していく。
備考	＜メッセージ＞触診技術は練習を積み重ねれば必ず上達します。積極的に繰り返し練習しましょう。 事前に依頼があれば、授業外での自主練習時にアドバイスや触診の確認をすることも可能です。 ＜質問・相談＞質問や相談は適宜受け付けます。

授業科目名		担当教員		
生理学Ⅰ（動物的機能）		石田裕保		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBF101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		石田裕保		

授 業 概 要

生理学の外界に対して反応する機能（動物的機能）全般について講義する

学 修 の 到 達 目 標

①末梢神経系と中枢神経系の働きを学び、人の感覚情報をもとにいかに運動が起こされているかを理解する
②正常な生理機能の理解のもとに、神経障害などに伴う各種病態症状についての原因を理解する

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	生理学について／細胞機能の基礎 体液組成、細胞構造、細胞の物質移動	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
2	細胞の興奮発生／神経細胞 興奮移動、膜電位、興奮の伝導	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
3	筋の収縮／骨格筋の構造 筋の収縮、筋収縮力学、筋のエネルギー発生	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
4	シナプス伝達／神経筋伝達 平滑筋、中枢神経系の情報伝達、神経伝達物質、シナプスの可塑性	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
5	自律神経系／交感神経・副交感神経の内臓諸器官への作用	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
6	脊髄／脊髄反射 誘発筋電図	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
7	脳幹 小脳①／脳幹の姿勢反射 小脳の神経回路	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
8	小脳②基底核／小脳と大脳協調 小脳障害 基底核の神経経路　基底核障害	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
9	大脳／運動の起動と出力	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	体性感覚／皮膚受容器 神経伝導路　大脳感覚野	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
11	味覚、嗅覚、聴覚 前庭感覚／感覚受容器 神経伝導路、大脳中枢	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
12	視覚①／網膜　視物質　視覚の中枢	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
13	視覚②／感覚としての視覚　眼球運動	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
14	脳の高次機能①／大脳の神経回路と機能 連合野機能、言語機能	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
15	脳の高次機能②／大脳辺縁系　視床下部 記憶、睡眠、脳波	① ②	石田	講義	授業計画に該当する教科書のページに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
	期末試験					

評価基準・評価方法

学期末定期試験の成績による。中間試験を行う可能性があります。

使用教科書

生理学第5版 / 岡田隆夫ほか.--医学書院, 978-4-260-03644-3
生理学テキスト第9版 / 大地陸男.--文光堂, 978-4-8306-0231-3

参考図書

①リハビリテーションテキスト　生理学　編集；角田亘ほか　medical wiew
②カラーイラストで学ぶ　第3版　集中講義生理学　編集；岡田隆夫　medical wiew

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	期末試験発表をもって伝える
実務経験をいかした教育内容	総合病院、訪問リハ、デイサービスなどの施設での勤務経験があります。また、医学教育に長く携わっており、学習方法についても熟知しています。これまでの経験から、臨床経験を踏まえ学修の到達目標を達成できるよう教授していきます。
備考	

授業科目名		担当教員		
生理学Ⅱ（植物的機能）		川島　卓		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SBF202
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

生理学の生命維持に関する機能（植物的機能）全般について講義する。

学 修 の 到 達 目 標

①生命機能維持にはどうしても必要な人体の植物的機能の知識と理解を深める。
②病態症状の原因を正確に理解すること。　専門科目習得のための基礎知識となる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	血液①／血漿と血漿タンパク質　赤血球	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
2	血液②／白血球　免疫　血液型　血小板　血液凝固　線維素溶解	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
3	心臓①／心臓の構造　心臓内伝導系　自律神経による調節	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
4	心臓②／心筋の収縮　心電図　心臓の収縮	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
5	循環①／血管系の区分　血圧調節	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
6	循環②／静脈系の循環　動脈血圧　循環調節　特殊部位の循環	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
7	呼吸①／呼吸のメカニズム	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
8	呼吸②／肺のガス交換　呼吸運動の調節	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	
9	消化と吸収①／消化管の構造と神経支配　消化管運動	①② 川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）	

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	消化と吸収②／消化液の分泌　栄養素の分解吸収	① ②	川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
11	内分泌①／ホルモン　視床下部　下垂体	① ②	川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
12	内分泌②／甲状腺　副腎　膵臓　性ホルモン	① ②	川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
13	生殖／男性・女性生殖生理　妊娠	① ②	川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
14	腎機能／ネフロンの構造　糸球体ろ過　体液調節	① ②	川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
15	代謝と栄養／日常の生理学	① ②	川島	講義	教科書とプリントに目を通す（30分）	授業の要点をまとめる（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

期末定期試験成績による　（100 %）。

使用教科書

生理学テキスト / 大地睦男　著.--第9版--文光堂，2022年，978-4-8306-0231-3

参考図書

・標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学　　岡田隆夫、長岡正範　医学書院
・新版生理学（メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ）　桑名俊一　荒田晶子　編著／理工図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	
備考	教科書以外に、関連項目のプリントを適宜配布する。

授業科目名		担当教員		
生理学演習		永井貴士・竹中孝博・井上忠俊　(代表教員　永井貴士)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	演習	SBF203
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）、竹中孝博（作業療法士）、井上忠俊（作業療法士）		

授 業 概 要

生理学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を演習により確認する。動物的生理学では神経や筋の組織観察を基に、筋の活動や生化学反応の観察を行う。植物的生理学では、血圧、体温、心電図、呼吸機能の測定を行う。筋電図は筋電計を、心電図は心電計を用いて、実際に被験者の波形をとったり、グループワークでまとめる方法を用いて学習する。その他の項目は、地域在住高齢者に協力を得て、実際に測定、分析を行うことで、理解を深める学習を行う。これらのデータの収集・分析により、岐阜市洞末広町自治会の「健康長寿を基盤とする活力ある地域づくり」という課題の解決に学生を主体的に関与させることを目的としている。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法の治療・評価にはこれらの生理学的な原理が用いられているため、演習を通して生理学の知識の確認を目標とする。
②実際に測定する技術を身につけることを目標とする。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	心電図と筋電図の概要	①	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	心電図	① ②	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	心電図	① ②	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	心電図	① ②	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	筋電図	① ②	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	筋電図	① ②	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	筋電図	① ②	永井 竹中	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	高齢者と成人の比較（認知機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	高齢者と成人の比較（注意機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	高齢者と成人の比較（精神機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	高齢者と成人の比較（身体機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	高齢者と成人の比較（歩行機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	高齢者と成人の比較（基本的日常生活機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	高齢者と成人の比較（手段的日常生活機能）	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	高齢者の各機能の特徴の検討	②	井上	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法

複数のレポート課題の内容で判定する。

使用教科書

生理学テキスト / 大地睦男.--第９版--文光堂，2022年，978-4-8306-0229-0

参考図書

適宜配布資料を用いる。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポート課題提出後１週間以内に個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	行政が主催する認知症・介護予防教室での実務経験（10年）から，地域在住高齢者の心身機能の特徴の理解や高齢者との対応，また，行政の役割や地域の社会課題を理解し地域で活動できる作業療法士の知識と実践力を身に着けられるように授業を展開していく.
備考	準備するものは事前にオリエンテーションを行う。演習を通して、グループで考察をしていくため、能動的に学習することをすすめる。

授業科目名		担当教員		
運動学総論		堀　信宏		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SBF104
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		堀信宏（理学療法士）		

授 業 概 要

運動学は人の身体運動の仕組みに関する学問です．動作や活動の改善を求める理学療法士・作業療法士にとって基礎となります．講義では「骨・関節・筋・神経」の解剖と，運動を解釈するための「力学」，日常生活の基本となる「姿勢・歩行」を学習します．これらの複数の視点から人の動作や活動を捉え理解を進めることで，障害者が「何故動けなくなるのか」が見えてきます．

学 修 の 到 達 目 標

①人の運動・姿勢を捉えるための筋・骨・関節・神経の基礎を学ぶ．
②力学の基礎を理解する．例題を通じて解き方を理解し，国家試験問題を解けるようにする．
③バランス・姿勢・歩行の基礎知識を学び，異常姿勢・異常歩行を説明できるようにする．
④学習理論に基づき，運動学習を学ぶ．

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	身体運動の軸と面，および運動の名称（方向）	①	堀	講義	テキストp.14を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
2	運動器の構造と機能　（骨）	①	堀	講義	基礎運動学のp.60-66を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
3	運動器の構造と機能　（関節）	①	堀	講義	テキストp.12-14を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
4	運動器の構造と機能　（筋の構造）	①	堀	講義	テキストp.15-17を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
5	運動器の構造と機能　（筋の収縮）	①	堀	講義	テキストp.18-20を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
6	運動器の構造と機能　（神経）	①	堀	講義	基礎運動学のp.88-93を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
7	生体力学の基礎1　（運動の法則，仕事，速度など）	②	堀	講義	テキストp.2-6を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
8	生体力学の基礎2　（てこ，剛体など）	②	堀	講義	テキストp.7-10を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
9	生体力学を用いた計算	②	堀	講義	力学の配布資料を理解しておきましょう(30分)	計算問題の解き方を修得しておきましょう(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	姿勢（重心，支持基底面）	③	堀	講義	テキストp.112-114を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
11	姿勢（姿勢制御・バランス）	③	堀	講義	テキストp.114-119を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
12	正常歩行１　（歩行周期，歩幅，ケイデンスなど）	③	堀	講義	テキストp.122-126を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
13	正常歩行２　（歩行時の関節の動き，筋活動，重心移動など）	③	堀	講義	テキストp.127-129を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう（30分)
14	異常歩行	③	堀	講義	テキストp.130-131を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
15	運動学習	④	堀	講義	テキストp.134-142を読んでおきましょう（30分）	ワークシートと小テストの内容を理解しておきましょう(30分)
	中間試験を2回，期末試験1回，合計3回実施					

評価基準・評価方法

試験は中間試験2回と期末試験1回の，計3回実施する．試験範囲はシラバスの１～６（中間1），７～9（中間2），10～14（期末）．シラバス15はテスト範囲から除外する．中間試験と期末試験の総得点を100%として評定する．再試験は期末試験後に1回，全範囲を試験範囲として実施する．

使用教科書

基礎運動学 / 中村隆一ほか.--第6版補訂--医歯薬出版，2012年（補訂）発行，978-4-263-21153-3
１５レクチャーシリーズ　理学療法作業療法テキスト運動学　第2版 / 小島悟責任編集--中山書店，2024年，978-4-521-74905-1

参考図書

・PT/OT国家試験対策ワークブック計算問題，川島圭司著，医歯薬出版，2017
・PTOT基礎から学ぶ運動学ノート第2版，中島雅美，医歯薬出版，2016

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	小テストを講義後に実施します．中間，期末試験のまとめとして活用してください．
実務経験をいかした教育内容	医療機関での実務経験を基に実際の症例の病態に即した講義を実施し，基礎知識の定着を図る．
備考	本講義は理学療法/作業療法の基礎となる科目です．3部構成とし，それぞれの範囲で試験を行います（3回の試験の合計で評定）．再試験は全範囲が対象となりますので注意すること．毎回，ワークシート配布と小テストを実施します．講義のまとめや復習に活用してください．

授業科目名		担当教員		
運動学各論		曽田直樹		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SBF205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)理学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		曽田直樹（理学療法士）		

授 業 概 要

ヒトの関節の特徴をバイオメカニクス的な観点からその動きを理解することを目的とする。またその理論に基づき骨関節機能障害学や骨関節治療技術、病態運動学、動作分析への応用を学習できることを期待する。講義ではグループでのディスカッションやディベートを行い理解を深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①上肢の解剖学について理解できる。
②下肢の解剖学について理解できる。
③上肢の運動学について理解できる。
④下肢の運動学について理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	概論：筋の走行と軸と面の関係、筋肉の役割について	①②③④	曽田	講義		授業内容の復習をすること（60分）
2	肩関節：肩甲上腕関節の機能	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
3	肩関節：第2肩関節の役割について	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
4	肩関節：肩甲胸郭関節の役割について	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
5	肘関節：肘関節に付着する靭帯について	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
6	肘関節：回内・回外運動のメカニズム	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
7	手関節：掌屈・背屈のメカニズム	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
8	手関節：手関節の靭帯・筋肉	①③	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
9	股関節：下肢のアライメント、股関節に付着する靭帯	②④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	股関節：股関節周囲筋の役割	② ④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
11	膝関節：特徴的な動き・アライメント	② ④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
12	膝関節：筋肉、半月板の役割	② ④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
13	足関節：骨の構造、底屈・背屈のメカニズム	② ④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
14	足関節：靭帯・筋肉について	② ④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
15	上肢および下肢の解剖学と運動学について	① ② ③ ④	曽田	講義	授業内容の関節の解剖を勉強しておいてください（30分）	授業内容の復習をすること（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

評価基準：知識・理解、学修態度・意欲を重視
評価方法：期末試験（90%）、態度・意欲（小テスト、授業参加度など）にて総合的に判断する。

使用教科書

参考図書

・筋骨格系のキネシオロジー　原著：Donald A 監訳：島田智明ら　医歯薬出版株式会社

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義内で答えなどを解説
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での経験に基づいて、リハビリに必要な各関節の機能解剖や運動学を教授している。
備考	2024年度以降入学生対象

授業科目名		担当教員		
運動学演習		加藤清人・竹中孝博・井上忠俊・樅山貴子　(代表教員　加藤清人)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	SBF406
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）、竹中孝博（作業療法士）、井上忠俊（作業療法士）、樅山貴子（作業療法士）		

授 業 概 要

（筋電）日常生活には動作に伴って様々な筋活動が観察される。その筋活動を筋電図や観察を通して分析していく。
（歩行）歩行に関する基本事項を整理した上で、実際に歩行動作中のデータを収集し、それに対して複数の処理・解析を行なった上で、成人と高齢者の特性を理解するための考察を行う。なお、高齢者のデータ収集に関しては、岐阜市洞未広町自治会の地域在住高齢者の協力を得て実施する。これらのデータの収集・分析により、岐阜市洞未広町自治会の「健康長寿を基盤とする活力ある地域づくり」という課題の解決に学生を主体的に関与させることを目的としている。なお，歩行のデータ収集の練習に関しては運動広場(バスケットコート)にて行う.

学 修 の 到 達 目 標

（筋電）①日常生活動作に伴う筋活動を筋電計を通して正しく測定、観察にて分析ができるようになる。
（歩行）②歩行の基本的知識を修得し、実際の歩行動作の分析ができる。
③歩行に関連したデータを正確に収集でき、その解析についても妥当な内容で実践できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、歩行の基礎（解剖・生理・運動学）	①	樅山他	講義	オリエンテーション資料、歩行にかかわる基礎に目を通しておく（30分）	学習計画を立案すること、必要な知識を確認しておくこと（30分）
2	筋電測定（１）	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
3	筋電測定（２）	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
4	筋電測定（３）	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
5	筋電測定（４）	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
6	筋電測定（５）	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
7	筋電測定（６）	①	竹中他	演習	筋電図にかかわる基礎知識を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
8	データの整理と考察	①	竹中他	演習	演習課題について整理しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
9	高齢者に対する評価 机上評価：MMSE，HDS-R	②	井上他	演習	認知機能評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	アクティブ・ラーニング 歩行のデータ収集（末広町）（１） 机上評価：GDS	②	井上 他	演習	歩行評価にかかわる基礎知識，抑うつの評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
11	アクティブ・ラーニング 歩行のデータ収集（末広町）（２） 机上評価：TMT	②	井上 他	演習	歩行評価にかかわる基礎知識，注意機能評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
12	アクティブ・ラーニング 歩行のデータ収集（末広町）（３） 机上評価：老研式，Lowton	②	井上 他	演習	歩行評価にかかわる基礎知識，生活機能評価を確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
13	アクティブ・ラーニング 歩行の解析（末広町）（１） 机上評価：Fall Risk Index	② ③	井上 他	演習	分析分析の方法，転倒リスク評価について確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
14	アクティブ・ラーニング 歩行の解析（末広町）（２） 机上課題：基本チェックリスト	② ③	井上 他	演習	歩行分析の方法，生活全般の評価ににについて確認しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
15	アクティブ・ラーニング データの整理と考察（末広町） 机上評価：DASK-21	② ③	井上 他	演習	文献を収集しておく（30分）	演習内容の要点をまとめる（30分）
	レポート課題・データ分析課題					

評価基準・評価方法

課題100%として判定する。

使用教科書

基礎運動学 / 中村隆一ほか.--第６版補訂--医歯薬出版，2003年12月，ISBN978-4-263-21153-3

参考図書

適宜配布資料を用いる。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題提出後１週間以内に個別もしくはグループにてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	行政が主催する認知症・介護予防教室での実務経験（10年）から，地域在住高齢者の心身機能の特徴の理解や高齢者との対応，また，行政の役割や地域の社会課題を理解し地域で活動できる作業療法士の知識と実践力を身に着けられるように授業を展開していく.
備考	準備するものは事前にオリエンテーションを行う。演習を通して、グループで考察をしていくため、能動的に学習することをすすめる。 測定内容について屋外で実施するものもあるため，G館奥の運動広場(バスケットコート)で測定の練習を行う.

授業科目名		担当教員		
人間発達学		大森周太郎		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SDM101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

人間の胎生期から老年期までの身体的発達と心理的発達の主要な現象を取り上げ講義する。新生児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、中年期、老年期の基本的な特徴について、生物学的な面のみならず社会とのかかわりの中で複雑に発達していく過程に関する理解を深め、医療関係者として必要な知識、応用技術を学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①人間の発達段階の特徴を理解する
②小児期の重要性を広く理解する
③発達と環境、文化との関連を正しく認識する
④青年期の特徴と重要性について理解を深める
⑤中年期～老年期の変化の実態を把握する
⑥学んだ知識を実生活ならびに医療関連の仕事に生かす

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人間の発達の特徴	①⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
2	人間の本能と行動	①③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
3	胎生期から誕生へ	①②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
4	乳幼児の発育と発達	①②③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
5	子どもの身体発育発達に影響する因子	②③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
6	身体発育の指標	①②③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
7	子どもの心の発達	①②③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
8	幼児～学童の運動機能	①②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
9	小児栄養	①②⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	小児期の発達障害、疾病	① ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
11	青年期の身体的、心理的発達	① ④	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
12	中年期における心身の変化と人間としての成長、発達	① ⑤	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
13	中年期における心身の変化と人間としての成長、発達	⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
14	老化の進展と健康	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
15	超高齢社会の人間発達学	① ⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（30分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

評価基準：専門的な知識の修得と講義内容の理解を重視。専門用語を用いて現象を理解し、説明する能力を評価する。
従って、試験問題には、記述問題を半数出題する。
評価方法：筆記試験ならびに適時提出を求める課題（レポート）によって行う。評価割合はそれぞれ９０％、１０％

使用教科書

人間発達学　ヒトはどう育つのか / 竹下研三著.--中央法規出版，2009年，978-4-8058-3096-3

参考図書

その都度、講義時間に紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	
備考	修得すべき知識が多いので、個々の知識を体系化し、相互に関連づけて記憶するように努めること。課題や試験問題に対する解説はその都度行う。在学時の質問は随時、受け付ける。メール等による質問も歓迎するが、学務課経由でお願いしたい。

授業科目名		担当教員		
病理学概論		武内康雄・山本容正　(代表教員　武内康雄)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	SDS201
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄（医師）		

授 業 概 要

病気を引き起こす原因を、病気の捉え方の歴史的移り変わりとともに概論で解説する。次いで、病気の状態を大きく、代謝異常、循環障害、炎症と免疫、進行性病変、腫瘍、老化、先天異常と奇形に分類し、それぞれの病的状態に見られる変化を分かりやすく解説する。

学 修 の 到 達 目 標

①変性と化生、炎症と免疫、循環障害の病態病理の概要を説明できる。
②代謝障害、遺伝子異常、先天異常、老化の概要を説明できる。
③腫瘍の病理学的分類を説明でき、腫瘍発生のメカニズムや治療法を説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	病気と病理学	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
2	細胞の異常－変性、化生、再生、修復	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
3	先天異常	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
4	循環障害（１）循環系の働き、出血と凝固	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
5	循環障害（２）虚血と梗塞、血圧異常、疾患と病態	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
6	代謝異常	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
7	老化	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
8	感染と感染症（１）感染症と病原体	①	山本	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
9	感染と感染症（２）感染症の発症と防御機構	①	山本	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	免疫機構と免疫異常（１）免疫機構と疾患	①	山本	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
11	免疫機構と免疫異常（２）再生医療	①	山本	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
12	炎症	①	山本	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
13	腫瘍（１）腫瘍の分類	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
14	腫瘍（２）癌の特性	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
15	腫瘍（３）腫瘍マーカー診断、治療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読んでおくこと。（120分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認しておくこと。（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

期末試験（100%）で成績評価を行う。

使用教科書

なるほど　なっとく！　病理学病態形成の基本的なしくみ / 小林正伸.--2019年--南山堂，改訂2版，978-4-525-15162-1

参考図書

大橋健一、谷澤　徹、藤原正親、柴原純二箸　「系統看護学講座　専門基礎分野　病理学　疾病のなりたちと回復の促進①」　（医学書院）

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験解答の一部を公開する。
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、病気の成り立ちについて講義を展開する。
備考	

授業科目名		担当教員		
内科学		武内康雄・平野智久・山本眞由美・高田信幸・多田晃司・古田弥生　(代表教員　武内康雄)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SDS402
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄（医師）、平野智久（医師）、山本眞由美（医師）、高田信幸（医師）、多田晃司（医師）、古田弥生（看護師）		

授 業 概 要

内科系疾患などの病態・診察・診断・治療について、およびそのアプローチを学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①各論としては循環器系、代謝、内分泌系、消化器系、腎臓疾患、呼吸器系、血液疾患など、実際の理学療法に関連性の高い疾患を中心に学修し、概要を説明することができる。 近年重要性が増している予防医学についての基礎知識の概要説明することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	循環器分野①　心臓の解剖、生理や虚血性心疾患,不整脈などについて学習する	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
2	循環器分野②	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
3	循環器分野③	①	平野	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
4	代謝・内分泌分野①　糖尿病の病態・機序・合併症・治療について学ぶ	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
5	代謝・内分泌分野②　肥満・メタボリック症候群を中心に代謝疾患について学ぶ	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
6	代謝・内分泌分野③　内分泌疾患の種類と機序について学ぶ　（間脳・下垂体、甲状腺、副腎を中心に）	①	山本	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
7	消化器分野①　生体維持の基本となる消化器疾患について学ぶ	①	古田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
8	消化器分野②	①	古田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
9	腎臓器疾患①　腎臓機能障害について学習する	①	多田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	腎臓器疾患②	①	多田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
11	呼吸器分野①　呼吸器機能の基礎と呼吸器疾患全般について学ぶ	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
12	呼吸器分野②	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
13	呼吸器分野③	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
14	呼吸器分野④	①	高田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
15	血液疾患　血液疾患について学ぶ	①	武内	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（30分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（30分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

定期試験（100%）

使用教科書

標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野　内科学 / 鎌倉矩子ほか監修.--第4版--医学書院, 2020年, 978-4-260-04290-1

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題・レポートは実施しない。
実務経験をいかした教育内容	各分野の専門医や看護師より、実務経験を生かした具体的な症例提示などを交えて講義をおこなう。
備考	

授業科目名		担当教員		
整形外科学		西本　裕		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SDS403
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		西本裕（医師）		

授 業 概 要

運動器の外傷、疾患について、病因、経過、診断法、治療法を概説する。

学 修 の 到 達 目 標

①骨、関節、靭帯、筋肉、末梢血管、脊髄、末梢神経の損傷、障害について述べることができる。
②筋、骨格系の感染症、腫瘍、先天異常、発育障害、関節リウマチ、骨粗鬆症を含む代謝疾患、退行性疾患など整形外科的疾患について述べることができる。
③特に、脊椎固定術、人工関節置換術を中心に生体内人工材料にとって必要な条件、体内での経過について理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	運動器の外傷、障害　　総論	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
2	上肢の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
3	下肢の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
4	区画症候群、複合性局所疼痛症候群	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
5	体幹の外傷、障害	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
6	脊髄損傷	①	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
7	脊椎退行性疾患、絞扼性神経障害	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
8	関節退行性疾患	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
9	関節リウマチ	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	骨関節感染症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
11	骨・軟部腫瘍	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
12	先天異常、発育障害、神経筋疾患、側弯症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
13	循環障害、骨端症	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
14	骨粗鬆症を含む代謝疾患	②	西本	講義	解剖学、生理学、病理学概論の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
15	生体内人工材料	③	西本	講義	第1,7,8,9,11回の知識の確認（30分）	講義内容の整理と確認（30分）
	定期試験　（筆記）					

評価基準・評価方法

毎回のミニテスト(25%)、定期試験(75%)

使用教科書

標準整形外科学 / 井樋栄二ほか監修.--第15版--医学書院，2023年，978-4-260-04936-8

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	毎回、前回のミニテストへの全体的講評。 定期試験については、解答例を掲示する。
実務経験をいかした教育内容	あり 科目担当者は医療機関に勤務。その実務経験をもとに整形外科学について話をする。
備考	履修にあたり、解剖学、生理学、運動学、病理学概論の知識は必須である。

授業科目名		担当教員		
神経内科学		木村暁夫・下畑享良・山田　恵・吉倉延亮・竹腰　顕・國枝顕二郎・大野陽哉・森　泰子・山原直紀　(代表教員　木村暁夫)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	SDS404
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		下畑享良（医師）、木村暁夫（医師）、山田恵（医師）、吉倉延亮（医師）、竹腰顕（医師）、國枝顕二郎（医師）、大野陽哉（医師）、森泰子（医師）、山原直紀（医師）		

授 業 概 要

①神経内科で扱う神経疾患の病態・診断・治療法について学び、理解を深める。
②個々の神経疾患における障害部位・認められる神経学的異常所見・異常検査所見に関し理解を深める。
③個々の神経疾患の治療の現状およびリハビリテーションの意義・注意点を理解する。

学 修 の 到 達 目 標

①個々の神経疾患の疾患名と病態に関し理解し、診断・治療法に関して具体的に説明できる。
②個々の神経疾患におけるリハビリテーションの必要性と施行時の注意点を理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	神経変性疾患Ⅰ（パーキンソン病）	①② 下畑	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
2	神経変性疾患Ⅳ（運動ニューロン疾患）	①② 下畑	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
3	神経変性疾患Ⅱ（パーキンソン関連疾患）	①② 山田	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
4	神経変性疾患Ⅲ（脊髄小脳変性症）	①② 山田	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
5	認知症（アルツハイマー型認知症）	①② 吉倉	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
6	認知症（非アルツハイマー型認知症）	①② 吉倉	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
7	免疫性神経疾患（重症筋無力症など）	①② 木村	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
8	免疫性神経疾患（多発性硬化症など）	①② 木村	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	
9	末梢神経障害Ⅰ	①② 竹腰	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）	

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経障害Ⅱ	① ②	竹腰	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）
11	筋疾患Ⅰ	① ②	國枝	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）
12	筋疾患Ⅱ	① ②	國枝	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）
13	頭部外傷・脊髄損傷	① ②	大野	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）
14	脳腫瘍	① ②	山原	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）
15	脳炎・脳症	① ②	森	講義	使用教科書の該当箇所で事前学習する（30分）	講義配布資料と教科書で事後学習する。不明な点は参考図書で学習する（30分）
	定期試験　筆記		木村			

評価基準・評価方法

定期試験（80%）、授業への取り組み姿勢（20%）など総合的に判断

使用教科書

標準理学療法学・作業療法学　神経内科学 / 鎌倉矩子ほか編集.--第5版--医学書院，2019年，978-4-260-03817-1

参考図書

・臨床のための脳局所解剖学（中外医学社）
・神経内科ハンドブック　鑑別診断と治療第5版（医学書院）
・全ての内科医が知っておきたい神経疾患の診かた、考え方とその対応（羊土社）

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	
備考	理学療法士　作業療法士国家試験問題解答と解説（医師薬出版編）

授業科目名		担当教員		
精神医学		宮地幸雄		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	SDS205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		宮地幸雄（臨床心理士）		

授 業 概 要

精神疾患についての基本的知識並びに精神疾患を罹患した人との基本的な援助方法を学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①精神医学の基礎的な部分について理解を深める。
②精神疾患の症例をを理解することができる。
③臨床場面で援助方法の基本が活用できるようになる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	人が生きるということについてを考える。	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
2	自殺について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
3	精神医学の歴史について	①	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
4	こころの発達と防衛機制について	①③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
5	臨床心理検査について	①③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
6	よくみられる精神症状についてーその１	②③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
7	よくみられる精神症状についてーその２	②③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
8	統合失調症についてーその１	②③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
9	統合失調症についてーその２	②③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	感情障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
11	心因性精神障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
12	知的障害・発達障害について	② ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
13	心理療法について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
14	チームアプローチについて	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
15	医療従事者の姿勢について	① ③	宮地	講義	教科書の該当部分を確認する。(120分)	授業の最後に毎回講師がまとめをするので、それを復習する。（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

定期試験(100%)で評価する

使用教科書

精神医学テキスト－精神障害の理解と治療のために / 上島国利ほか.--改訂第５版--南江堂，2023年，978-4-524-22866-9

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	随時質問を受け付け回答及びコメントをする。
実務経験をいかした教育内容	講師は臨床心理士。非医師であるが、臨床現場の話として精神科病院での事例を提示し授業を展開する。
備考	

授業科目名		担当教員		
小児科学		松井永子・堀田　亮　(代表教員　松井永子)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	2単位(30時間)	講義	SDS406
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		松井永子（医師）、堀田亮（臨床心理士）		

授 業 概 要

小児はただ単に体の小さな成人ではなく、つねに成長発達をする存在である。罹患しやすい疾患についても年齢によって異なる。このような小児の特徴を理解することが重要である。

学 修 の 到 達 目 標

①胎児・新生児期および小児特有の生理・病態生理を理解し、説明することができる。
②胎児から子供の誕生、そして成長し次世代の子供を持つまでをひとつのLife cycle と捉え、この成長過程における生理と病態生理を理解し、説明することができる。
③子供のCommon Disease ,特有な疾患を理解し説明することができる。すなわち、子供がよく罹患する疾患、頻度は低いが子供特有な疾患について病態・診断・治療、予防法を学ぶ。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	小児科概論　成長と発達	①②③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
2	成長と発達	①②③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
3	新生児と疾患	①②③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
4	先天異常　遺伝病	①②③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
5	神経、筋疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
6	神経、筋疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
7	循環器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
8	消化器疾患、内分泌疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
9	血液疾患、腫瘍性疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	腎、泌尿器疾患、目、耳の疾患　等	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
11	呼吸器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
12	呼吸器疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
13	アレルギー免疫疾患	③	松井	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
14	こころの病気、障害	③	堀田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
15	発達、心理検査	③	堀田	講義	教科書などを読んで予習を行う。わからない点をピックアップしておく。（120分）	授業で習ったことをしっかり復習する。その際、教科書やノートを整理する。（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

定期試験（80%）
課題・レポート（20%）

使用教科書

標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野「小児科学」 / 鎌倉矩子ほか監修.--第6版--医学書院，2023年，978-4-260-05013-5

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題レポートは評価後返却
実務経験をいかした教育内容	小児科臨床経験30年の実務経験を生かし、具体的な症例提示などを交えて講義する。
備考	資料などにて補足説明を行う。

授業科目名		担当教員		
リハビリテーション医学		西本　裕		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	2単位(30時間)	講義	SDB201
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		西本裕（医師）		

授 業 概 要

① 疾病と障害の違い、障害のとらえ方を理解する(1，2，4)。
② 脳血管障害のリハビリテーションについて理解する(3， 5-8)。
③ 内部障害のリハビリテーションについて理解する(9，10)
④ 運動器リハビリテーションについて理解する(11，12)
⑤ 感覚器障害のリハビリテーションについて理解する(13)
⑥ リハビリテーションの根拠について考察し、創造的な思考を養う(14，15)。

学 修 の 到 達 目 標

医療、福祉の領域でリハビリテーション医学の立場を説明することができ、実践時にどのように応用されているかについて述べることができる。
①疾病と障害の違い、障害のとらえ方を説明できる。
②脳血管障害のリハビリテーションについて説明できる。
③内部障害のリハビリテーションについて説明できる。
④運動器リハビリテーションについて説明できる。
⑤感覚器障害のリハビリテーションについて説明できる。
⑥リハビリテーションの根拠について考察し創造的に考えることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションの実際	①	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
2	運動学・生理学	①	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
3	脳卒中のリハビリテーション（ADL障害、QOLについて）	②	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
4	障害分類、ＦＩＭ（Functional Independence Measure）	①	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
5	高次脳機能障害	②	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
6	運動療法	②	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
7	嚥下障害のリハビリテーション	②	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
8	排尿障害のリハビリテーション	②	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
9	心疾患のリハビリテーション	③	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器のリハビリテーション	③	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
11	切断と義足･義手	④	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
12	装具・杖と車椅子	④	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
13	平衡機能障害・聴力障害・視力障害	⑤	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
14	障害者スポーツ	⑥	西本	講義	教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
15	廃用症候群	⑥	西本	講義	第1-14回の講義内容、および教科書の該当部分を確認（120分）	講義内容の整理と確認（120分）
	定期試験　（筆記）					

評価基準・評価方法

毎回のミニテスト(25%)、定期試験(75%)

使用教科書

PT・OT・ST・ナースを目指すひとのためのリハビリテーション総論　要点整理と用語解説 / 椿原彰夫編著.--改訂第4版--診断と治療社，2023年，978-4-7878-2627-5

参考図書

義肢装具のチェックポイント　第9版　医学書院，2021年，日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会，ISBN978-4-260-04589-6

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	毎回、前回のミニテストへの全体的講評。 定期試験については、解答例を掲示する。
実務経験をいかした教育内容	あり 科目担当者は医療機関に勤務。その実務経験をもとにリハビリテーションの概要について話をする。
備考	

授業科目名		担当教員		
老年医学		武内康雄		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義	SDB202
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		武内康雄（医師）		

授 業 概 要

老化と疾病は密接な関係にあり、その両面から障害を捉えなければならない。この講義では老化についての生理学的変化や能力的変化を整理し、老年期症候群、認知症、廃用症候群など高齢者特有の疾患について解説する。さらに種々の疾患について高齢者の特徴を概説するとともに、容易に寝たきりに移行しうる危険性が高いことについて触れる。

学 修 の 到 達 目 標

①高齢者の生理的・病的変化を理解し、老年症候群の症状を10以上挙げて説明できる。
②高齢者に多い循環器･呼吸器･消化器･骨運動器･精神･神経・内分泌・血液免疫･腎泌尿器・皮膚口腔・耳鼻咽喉･眼疾患について、疾患を挙げて説明できる。
③高齢者の医療･看護･介護･福祉について理解し、リハビリテーション･終末期医療について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	老化と老年病の考え方、加齢に伴う生理機能の変化	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
2	加齢に伴う運動機能・精神心理面の変化、性差医療からのアプローチ	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
3	高齢者の定義および人口動態、高齢者との接し方、高齢者の機能評価	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
4	高齢者の薬物療法の考え方、高齢者に多い症候と老年症候群	①	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
5	老年症候群、循環器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
6	循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
7	呼吸器疾患、消化器疾患、骨・運動器疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
8	骨・運動器疾患、神経疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
9	精神疾患、内分泌代謝疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	内分泌代謝疾患、血液免疫疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
11	腎疾患、泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
12	感染症、耳鼻咽喉疾患、眼疾患	②	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
13	東洋医学・老年学からのアプローチ、社会学・経済学から見た高齢社会	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
14	高齢者の医療、看護、介護・福祉、保健、高齢者のリハビリテーション	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
15	高齢者の退院支援、高齢者の終末期医療	③	武内	講義	講義当日のテーマを知り，教科書の該当部分を読むことを期待する。（30分）	授業終了当日または次回までに、講義内容を振り返り、知識の習得を確認することを期待する。（30分）
	定期試験（筆記）	① ② ③	武内			

評価基準・評価方法

期末筆記試験100%

使用教科書

標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　老年学　第5版 / 大内慰義ら.--大内慰義--医学書院，2020年，978-4-260-03947-5

参考図書

適時紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験解答の一部を公開する。
実務経験をいかした教育内容	法医学での経験をもとに、老年期の病気の成り立ちについて講義を展開する。
備考	

授業科目名		担当教員		
公衆衛生学		大森正英		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	SAR201
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

公衆衛生学は社会や集団を対象とした医学であり、個人の心身の疾病予防、健康の保持増進に止まらず、高齢社会対策、社会福祉、環境保全ならびに環境汚染防止など、社会全体、時に全地球をも対象とした多岐にわたる内容から構成されている。個人の健康を対象とした臨床医学とは異なる面からも人間及び社会と健康との関わりについて考えるとともに、その実践に必要な知識と技術を学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①公衆衛生学とは何か、その内容と適応範囲について理解する。
②近代社会になぜ公衆衛生学が必須なのか理解する。
③日本の健康の現状を知り、公衆衛生学が時代とともに変化、発展していくことを学ぶ。
④疾病の予防について公衆衛生学の面から考える。
⑤環境問題について環境衛生学の立場から理解を深める。
⑥健康増進活動の実態と効果について公衆衛生学的な視野からの考え方を身に付ける。
⑦公衆衛生学で学んだことを実生活や実務に役立てる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	公衆衛生学概論　公衆衛生学とは何か	①	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
2	健康の現状　疾病構造の変化と健康の現状	① ②	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
3	人口と寿命　平均寿命、平均余命、高齢化	② ③	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
4	疫学(1)　疫学の手法、疾病予防と疫学	② ⑤	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
5	疫学(2)　感染症の特徴とその予防対策	① ② ③ ④	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
6	環境衛生学　大気、水、環境汚染、食環境など、環境と健康の関り	⑤ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
7	健康増進医学、公衆衛生活動の展開	④ ⑥	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
8	社会保障、社会福祉、医療制度　社会を支える各制度について	③ ④	大森	講義	素早い書写能力を鍛え、充実したノートを作成する。（120分）	授業内容を復習し、配布プリント類は最新のデータの意味を理解するようにする。（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
評価基準：公衆衛生学に関する基礎知識、理解度及び公衆衛生学的思考法の確立の度合いを評価する 評価方法：筆記試験ならびに課題(レポート)による。　割合はそれぞれ90%,10%	
使用教科書	
イラスト公衆衛生学 / 石川哲也.--第６版--東京教学社，2023年，978-4-808-26089-7	
参考図書	
適時、紹介する	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業中に提出を求める小テストやレポートに関しては、時間内に書かれた内容を検討し、こちらが求める水準に達するまで書き直していただく。
実務経験をいかした教育内容	大学医学部における研究、教育に加えて、地域の健康推進事業に参加し、地域の健康増進計画、健康寿命延長事業などに30年以上の実績がある。研究の中には高齢者の生活の実態と健康観、幸福観等を日本人と日系移民の各高齢者について調べた国際的な内容を含んでいる。
備考	課題や試験問題に関する解説はその都度行う。授業中の質問は随時、受け付ける。メール等による質問も歓迎するが、事務局経由でお願いしたい。

授業科目名		担当教員		
画像診断学		竹中孝博・加藤清人・永井貴士・樅山貴子　(代表教員　竹中孝博)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義	SAR802
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）・加藤清人（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・樅山貴子（作業療法士）		

授 業 概 要

神経疾患、運動器疾患及び内部疾患における主要な画像評価に関して、その概要及び方法を学習する。画像読影では実際の画像を活用し、そこから読み取ることができる病態や症状などについて学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①特にレントゲン、CT、MRI、心電図などについて臨床等で必要な情報を得ることができる。
②実際の画像から疾患、症状を予測し、それを評価・介入に繋げることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、医療画像の基礎	①	樅山	講義	教科書の序章部分を精読（120分）	講義で提示した課題（120分）
2	神経系疾患における画像読影の基礎	①	樅山	講義	教科書p.2-45をまとめる（120分）	講義で提示した課題（120分）
3	神経系疾患のおける画像読影演習	①② ②	樅山	演習	前回の講義で提示した課題（120分）	講義で提示した課題（120分）
4	運動器画像（上肢）	①② ②	竹中	講義	教科書の運動器画像の範囲を精読しておく(120分)	講義で提示した内容をまとめる（120分）
5	運動器画像（下肢）	①② ②	竹中	講義	教科書の運動器画像の範囲を精読しておく(120分)	講義で提示した内容をまとめる（120分）
6	運動器画像（脊柱）	①② ②	竹中	講義	教科書の運動器画像の範囲を精読しておく(120分)	講義で提示した内容をまとめる（120分）
7	嚥下造影検査の画像を理解する	①② ②	加藤	講義	嚥下機能に関わる解剖と嚥下のしくみについて事前に整理しておく（120分）	講義で提示した課題を取り組み、各期の嚥下状態を見極めることができる（120分）
8	心電図の波形を理解する。	①② ②	永井	講義	生理学の教科書など、心臓の機能に関連する指定教科書の復習（120分）	講義で提示した課題（120分）
	課題の整理					

評価基準・評価方法	
課題（80%）及び演習への貢献度（20%）で評価する。	
使用教科書	
基礎から学ぶ画像の読み方 / 中島雅美.--医歯薬出版，第３版，978-4-263-26590-1	
参考図書	
PT・OTのための画像評価に基づく疾患別ケーススタディ　第１版／奈良勲、淺井仁、柴田克之　編．第１版，三輪書店，2019年，ISBN978-4-89590-678-4	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義・演習中にフィードバックの時間を設ける
実務経験をいかした教育内容	病院・施設での職務経験をもとに、実際に病院・施設での勤務中に行う画像読影を知識に裏付けされた実践方法を教育する．
備考	

授業科目名		担当教員		
リハビリテーション栄養学		久保和弘		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	SAR103
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

栄養素は身体のエネルギー源であると同時に，身体の構成要素である。栄養状態は過剰でも不足でも心身機能に大きな影響を及ぼすため，リハビリテーションに求められる全人的な評価の一つの要素として患者の状態を正しく評価することが求められている。本科目では，各栄養素の基本的な性質や働き，基本的な栄養評価方法を理解するとともに，身体における栄養の役割を学習し，医療者に求められる栄養学の基礎を構築することを目標とする。

学 修 の 到 達 目 標

各栄養素の基本的な性質や働きについて学び，リハビリテーションにおける栄養学の必要性について説明できる。
①各栄養素の性質や働きを説明することができる
②基本的な栄養・代謝障害について説明できる
③基本的な栄養評価方法を説明できる
④栄養不良や過栄養の身体への影響を説明できる

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	リハビリテーションにおける栄養の重要性・概念	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
2	糖質・食物線維の栄養的意味を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
3	たんぱく質・アミノ酸の栄養的意味を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
4	脂質・脂肪酸の栄養的意味を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
5	ビタミンの栄養的意味を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
6	ミネラル・水分の栄養的意味を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
7	基本的な栄養評価方法を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
8	身体活動・エネルギーの栄養的意味を理解する	①②③④	久保	講義	資料及び教科書該当ページに目を通す。（120分）	各回授業後にその内容を説明できるようにまとめる。（120分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
定期試験（100%）により評価する。	
使用教科書	
リハベーシック　生化学・栄養学 / 内山靖、藤井浩美、立石雅子　編.--第2版--医歯薬出版，2024年，978-4-263-26756-1	
参考図書	
いずれも閲覧・ダウンロード可 ●日本人の食事摂取基準 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/eiyou/syokuji_kijyun.html ●国民健康・栄養調査 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkou_eiyou_chousa.html ●日本食品標準成分表 https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/index.htm	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題について，適宜，授業中に補足的な解説を行う。
実務経験をいかした教育内容	
備考	教科書，プリントを中心に授業をすすめる。

授業科目名		担当教員		
薬理学		大津　航		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(15時間)	講義	SAR404
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		大津　航（獣医師）		

授 業 概 要

薬物による人間の反応や作用機序の理解，投与方法，体内動態に関する基本的事項を理解した上で，対象疾患に関連した薬物療法の考え方について学ぶ。あわせて，薬物の副作用やその多剤服用（ポリファーマシー）症状についても学ぶ。これらを理解することにより，臨床講義や実習で必要とされる薬物治療の基礎を習得できることを目指す。各授業の最初には、前回の授業内容を復習する時間（質問形式）を設ける。各授業の最後には、その日の授業のまとめを行い、重要なポイントを確認する。

学 修 の 到 達 目 標

①薬物の使用目的や薬物の作用機序、体内動態について理解できる。
②薬物の取扱い、投与方法、副作用について理解できる。
③各種疾患に対する薬物療法について理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	薬理学総論	①	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（60分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（60分）
2	薬理学各論　抗感染症薬	① ②	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
3	薬理学各論　抗がん薬	① ② ③	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
4	薬理学各論　免疫治療薬・抗アレルギー薬・抗炎症薬	① ② ③	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
5	薬理学各論　末梢神経に作用する薬物	① ② ③	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
6	薬理学各論　中枢神経に作用する薬物	① ② ③	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
7	薬理学各論　心臓・血管系に作用する薬物1	① ② ③	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
8	薬理学各論　呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	① ② ③	大津	講義	指定教科書の該当ページに目を通す。（90分）	授業の内容について説明できるようにまとめる。教科書にある設問を解いてみる。（150分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
期末試験の成績（100%）及び授業態度等を総合的に判断して評価する。	
使用教科書	
系統看護学講座専門基礎分野　疾病のなりたちと回復の促進〔3〕薬理学 / 吉岡充弘ほか.--第15版--医学書院，2022年，978-4-260-04716-6	
参考図書	
はじめの一歩の薬理学 第２版／石井邦雄、坂本謙司編．羊土社，2021年，ISBN978-4-7581-2094-4 リハに役立つ治療薬の知識とリスク管理／宮越浩一編．羊土社，2019年，ISBN978-4-7581-0243-8	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	質問は授業中及び授業の終わりに常時受け付けている。また授業の最初に前回の復習を行っているので、その際に質問も受け付けている。
実務経験をいかした教育内容	薬理学研究の職務経験から、臨床分野で使用する化合物の薬理作用の分子基盤を理解する上で必要な知識と思考力が身につけられるよう授業を展開していく。
備考	

授業科目名		担当教員		
医療安全管理論		三品弘司・出口睦雄・林　宗典・三輪陽子　(代表教員　三品弘司)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義･演習	SAR205
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		三品弘司（看護師・保健師）、出口睦雄（看護師）、林宗典（看護師） 三輪陽子（看護師）		

授 業 概 要

医療の質と安全の確保は、患者、医療従事者をはじめとする多くの国民が願っていることである。近年、医療の安全確保に対する人々の関心が高くなり、医療安全は医療界の最優先課題となっている。作業療法の主要な業務である治療や指導及び援助は、障がいのある対象が主体的な生活の獲得の為に重要である一方、医療事故を起こすリスクを持ちながらの業務でもある。作業療法士にとって、医療安全や医療事故防止について修得することは必須である。まず医療安全管理を学ぶ意義を理解し、そのうえで人間がおこすエラーについての理解し、作業療法と医療事故との関連を学び、国、組織、個人における医療事故防止対策について学ぶ。医療事故やインシデントの分析手法を理解し、作業療法におけるKYTを行うことで、医療事故防止の感性を養う。また、多くの作業療法に関連した医療事故やインシデントを知ることで、臨場感のある医療事故防止について学ぶ。また、感染防止対策も医療事故防止の一つとして学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

知識：①医療安全の基本的考え方と医療事故防止について述べることができる。
技術：②医療事故の分析手法やKYTを活用し、安全について考察することができる。
態度：③医療安全に興味を持ち、積極的に演習に取り組むことが出来る。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	医療事故と医療安全の定義	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
2	日本の医療安全対策	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
3	組織的な安全管理体制	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
4	法的責任と賠償責任 実際に起こっている医療事故	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
5	リスクの種類による医療安全対策 （患者誤認・薬剤関連・転倒など）	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
6	ヒューマンエラーについて	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
7	多職種連携と安全管理 事故要因分析	① ②	三輪	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
8	医療現場におけるマネジメントの実践	① ②	林	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
9	医療安全とコミュニケーション	① ②	出口	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携	① ②	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
11	KYTについて	② ③	三品	講義		授業プリントを用いて、講義の内容を復習すること（60分）
12	医療安全-演習①	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる（60分）
13	医療安全-演習②	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる（60分）
14	医療安全-演習③	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる（60分）
15	医療安全-演習④	② ③	三品	講義 演習		KYTをまとめる（60分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

提出レポート（20%）、履修態度（10%）、筆記試験（70%）での総合評価

使用教科書

なし

参考図書

系統看護学講座　総合分野　医療安全（医学書院）
医療安全とリスクマネジメント（ヌーヴェルヒロカワ）

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポートは、次回講義にて返却します。 質問等は、講義中や講義後にするようにしてください。
実務経験をいかした教育内容	看護学科の教員がその実務経験を活かし、医療安全に必要な知識および技術を体験的に学修する授業を行うことで、受講学生は既知の危険要因とその対策に関する基礎的知識および未知の危険要因とそれが引き起こす事故を予測する力を身に付けることができる。
備考	教科書は特別使用しないが、必要時書籍紹介する。授業は毎回、パワーポイント使用して進める。関連する教科と結び付けて学習し、単に知識に止まらず実践的能力として身につけてほしい。よって、積極的に学び取る姿勢で臨んでほしい。グループワークなどの演習も取り入れ出来るだけ参加型授業形態をとる。

授業科目名		担当教員		
保健医療論		藪本　保		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(15時間)	講義	SCH101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

現在、健康や医療に関する情報が氾濫している。多くの情報の何が正しく、自分に本当に役にたつのか、また何を取り入れ、実践すれば健康を維持、増進させることができるのか戸惑うばかりである。健康に良いとされていることであっても方法を間違えて実践すれば健康を害することになる。また生活習慣により引き起こされる疾病も多く、日常生活の健康に対する取り組みの重要さを考えさせられる。学生時代に正しい健康観を学ぶこと、並びによりよいライフスタイルを身につけ、健康生活を実践できるようにすることと、医療に関するいろいろな問題に正しく理解が出来ることが医療従事者には必要と思われる。

学 修 の 到 達 目 標

①健康施策に興味を持ち、よりよい生活習慣へつながる健康観について学習する。
②健康的な生活を送る運動の効果について理解する。
③健康的な生活を送る運動実践について理解する。
④健康づくりに関する医療的関連事項（栄養・障害予防）について理解する。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	健康について（健康管理概論　ポジティブヘルス）	①	藪本	講義	健康観に関して考えておく（120分）	将来にわたる健康に取り組む姿勢を作る（120分）
2	生活習慣病（NCD）	①	藪本	講義	生活習慣病とはどの様な病気なのかを調べておく(120分)	生活習慣の見直しを考える(120分)
3	健康づくり運動の理論①	②	藪本	講義	健康づくりのための運動効果を調べておく(120分)	各種対象者への運動効果を考える(120分)
4	健康づくり運動の理論②	②	藪本	講義	健康づくりのための運動効果を調べておく(120分)	各種対象者への運動効果を考える(120分)
5	健康づくり運動の実際	③	藪本	講義	健康づくりのための運動を調べておく(120分)	アップ・ダウンストレッチ、有酸素運動について整理する(120分)
6	運動プログラムの実際	③	藪本	講義	運動プログラムに関して調べる(120分)	運動プログラム作成の基本の整理(120分)
7	栄養摂取と運動	④	藪本	講義	栄養に関する諸問題に関して調べる(120分)	栄養に関する問題点の整理(120分)
8	運動障害と予防	④	藪本	講義	運動障害に関する諸問題に関して調べる(120分)	内科的・外科的損傷の整理(120分)
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法	
定期試験（100%）により評価する。	
使用教科書	
教科書は使用しない。	
参考図書	
シラバスに掲げている関係事項についていろいろな書物や参考に記事などを調べること。	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	これまでに高齢者に対する体力測定の実施および障害児・者の体力評価に関する研究活動を行ってきた。さらに障害者スポーツ、特にパラ水泳に関わりトレーナーとして活動してきた。2020年からはメディカルフィットネス施設の管理者として障害児者のフィジカルトレーニングに関わっている。これらの経験から、健康関連施策の経緯や役割、健康づくりに対する課題等を具体的な事例を交えて、理学療法士に必要な思考力・実践力が身につけられるよう講義を展開していく。
備考	

授業科目名		担当教員		
社会福祉学		竹内章郎		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(15時間)	講義	SCH202
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。				

授 業 概 要

現在、社会福祉を含む社会保障全体が、大きな転換点にある。それは、社会保障を支える福祉国家体制それ自体の「危機」という大きな問題からくるものであるが、同時に、社会保障の基盤である社会権（法）の基本的理解の問題や資本主義市場と社会保障との関係などにも及ぶ問題から生じていることもある。この講義ではそうした大きな問題を、社会福祉の現場実践と関係づけて捉えることを通じて、社会福祉・社会保障の本質を解明したい。事前学習については、毎回、次回講義のための事前学習の範囲を指定する。

学 修 の 到 達 目 標

①社会福祉を含む社会保障の現実を、その基礎に立ち返って理解する。
②大きな制度的問題と社会福祉実践の現実とを結び付けて理解する。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ガイダンス（全体の進行について）、社会福祉と社会保障との関連について（善き生存としての福祉を中心に）、翻訳の問題など	①	竹内	講義	既配布の資料全体に目を通しておく（120分）	左記の講義内容とこれに関わる資料の再読（120分）
2	日本の社会保障・社会福祉の基礎：憲法25条（13条との関連）：プログラム規定・義務規定/行政裁量の理解、措置と契約、福祉の民営化・市場化など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
3	権利としての社会保障（１）：権利理解の初発、市民権と社会権との相違、私的所有と市民権、社会保障の権利としての社会権など	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
4	権利としての社会保障（２）：社会権の基礎、憲法14条との関連、社会権実現のための市民権の一定の制限など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
5	優生思想・優生学と社会保障・社会福祉との関連：社会保障制度の中に優生思想、社会福祉創始達の優生思想など	①	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
6	貧困問題の大きさと生活保護制度、社会保障・社会福祉の財源問題	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
7	障がい者福祉（障害者総合支援法を中心に、障害者差別解消法等との関連させて）、社会福祉事業法の「改正」としての社会福祉法	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）
8	高齢者「福祉」（公的介護保険法を中心に、老人福祉法及び高齢者雇用促進法などとも関連させて）	②	竹内	講義	予め指定する左記の内容に関わる範囲の資料の熟読（120分）	講義内容とこれに関わる左記の範囲資料の再読（120分）

評価基準・評価方法	
最終のレポートによって評価する。講義内容の正確な理解に加えて、内容を表現する文章力も評価の対象とする。	
使用教科書	
教科書は使用せず、竹内が作成したレジュメ及び資料にそって講義を行う。	
参考図書	
必要に応じて、講義中に紹介する。	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義中に、適宜、質疑応答を行う。
実務経験をいかした教育内容	
備考	資料及びレジュメは、すべて、最初の講義時に配布する。

授業科目名		担当教員		
多職種連携演習（IPE）		浅野莉沙・加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　浅野莉沙）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	2単位(30時間)	講義･演習	SCH503
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）・加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

地域包括ケアを実践する上で、医学的な視点のみならず、対象者の心理的・社会的な視点にも配慮した医療が求められる中でチーム医療は必須の手段であり、より良いサービスを実践するためには多職種との有機的な連携と協業は欠かせない。この授業では、専門職間の有機的な連携と協業についての基礎知識や理論、連携のためのマネジメントの実際についてそれぞれの専門的な立場から考察し、多職種連携が果たす役割や機能について学ぶ。
また、医療系多職種の学生間でのグループワーク演習を通じて、コミュニケーションやディスカッションの実践力を身につけるとともに、作業療法士の専門性について熟考する機会とする。
予習・復習の内容等、詳細については初回の授業で説明する。

学 修 の 到 達 目 標

①多職種連携の意義について説明できる。
②他の職種の役割を説明できる。
③保健・医療・福祉における多職種連携の在り方を具体的に説明できる。
④様々な人々との協同を通して、保健・医療・福祉の諸課題に対処できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	浅野	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
2	多職種連携の意義	①	加藤	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
3	他職種の役割を知る（１）	②	永井	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
4	他職種の役割を知る（２）	②	竹中	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
5	他職種の役割を知る（３）	②	浅野	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
6	保健領域における多職種連携	③	加藤	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
7	医療（身体障害）における多職種連携	③	古桧山	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
8	医療（精神障害）領域における多職種連携	③	世良	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
9	福祉領域における多職種連携	③	井上	講義	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	多職種連携演習（１）	③④	全教員	演習	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
11	多職種連携演習（２）	③④	全教員	演習	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
12	多職種連携演習（３）	③④	全教員	演習	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
13	多職種連携演習（４）	③④	全教員	演習	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
14	多職種連携演習（５）	③④	全教員	演習	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
15	多職種連携で必要とされる知識・技術の整理	③④	全教員	演習	予定している内容について予習する（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
	課題					

評価基準・評価方法

受講態度（20%）、レポート課題（80%）を総合的に判断する。

使用教科書

毎回、演習前または演習時に資料を配布する。

参考図書

適宜紹介する

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各担当教員の講義終了時に全体に向けてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	作業療法実践場面でのチーム医療を想定した他職種との対象者を見据えたカンファレンスを模擬的に構成して、通常の医療場面と同様の関わり方を学ぶ。 また、多職種連携の意義や方法、連携する上での課題と解決策等について、各担当教員の経験談を交えて授業を展開していく。
備考	

授業科目名		担当教員		
作業療法総論		加藤清人		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SB0101
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士を目指す学生が、作業療法の発展過程を理解することで作業療法の役割を学ぶ。また、作業療法の骨子を構成する各専門領域の概観を理解し、その領域における作業療法士に必要な知識と技術を系統的に学習する。講義では、教科書を中心とした調べ学習などを通して学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法の定義・歴史等について説明することができる。
②作業療法の領域や対象、時期について説明することができる。
③作業療法のプロセスについて説明することができる。
④作業療法士に必要な資質や作業療法教育について説明することができる。
⑤作業療法分野におけるその役割と内容の概略を説明することができる。
⑥社会保障制度を理解し作業療法部門の管理について説明することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法とは	①	加藤	講義	テキストpp3-13を読み作業療法の定義についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
2	作業療法の歴史	①	加藤	講義	テキストpp15-25を読み作業療法の原理が何かについてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
3	作業療法に関連する予備知識	①	加藤	講義	テキストpp27-38を読み対象者の理解に必要なことは何かについてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
4	作業療法の実践現場	②	加藤	講義	テキストpp40-47を読み作業療法の実践現場についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
5	作業分析	②	加藤	講義	テキストpp51-61を読み作業分析についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
6	作業の治療的適応	②	加藤	講義	テキストpp63-72を読み作業の適応範囲についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
7	作業療法の理論	③	加藤	講義	テキストpp74-83を読み作業療法の理論についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
8	作業療法士に求められる資質と倫理	④	加藤	講義	テキストpp87-95を読み作業療法士に必要な資質と倫理についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
9	作業療法の教育	④	加藤	講義	テキストpp97-108を読み作業療法の教育についてまとめておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	日本作業療法士協会や世界作業療法士連盟とは	④	加藤	講義	テキストpp120-141に目を通しておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
11	作業療法の実践過程（１）	③	加藤	講義	テキストpp145-165に目通しておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
12	作業療法の実践過程（２）	③	加藤	講義	テキストpp145-165に目通しておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
13	作業療法の実際	⑤	加藤	講義	テキストpp169-181に目通しておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
14	社会保障制度について	⑥	加藤	講義	テキストpp231-244を読み医療保険と介護保険の違いをまとめておく（30分	課題　講義内容についてまとめる（30分）
15	作業療法部門の管理・運営	⑥	加藤	講義	テキストpp246-269に目通しておく（30分）	課題　講義内容についてまとめる（30分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

小テスト（50%）、期末試験（50%）を総合的に評価する。

使用教科書

標準作業療法学　専門分野　作業療法学概論 / 能登 真一 編集.--第4版--医学書院, 2021年, 978-4-260-04785-2

参考図書

講義の際に適宜紹介する。ビデオと資料を使用する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各回において、全体に向けてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	作業療法における臨床経験，教育経験から作業療法の歴史、役割、各専門領域の役割や機能などに触れ、3年間で学ぶ作業療法の外観を整理できるよう授業を展開していく。
備考	次週の要点を説明するので、予習と復習を怠らないこと。 質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
基礎作業療法学		坂田崇好・建石光貴　(代表教員　坂田崇好)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義	SB0102
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		坂田崇好（作業療法士）、建石光貴（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士は「作業」を治療として扱うリハビリテーション専門職種である。故に、「作業」とは何なのかを理解し、それを対象者にどのように用いることが必要になるのかを、作業療法理論を用いて解釈する授業である。

学 修 の 到 達 目 標

①人間にとって「作業」は何なのかを知り、理解を深めることができる。
②評価・治療手段としての「作業」の意味を考え、理解を深めることができる。
③「作業」と健康について考え、対象者が「作業」を獲得する方法について理解を深めることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	「作業」とは？	①	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	人間作業モデルについて	①②②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	意志（興味）について	①②②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	意志（価値）について	①②②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	作業療法概論	①②②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	人間作業モデルの概要	①②②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	カナダ作業遂行モデルとの違いとCOPMの活用	①②②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	遂行能力（運動技能と処理技能）について	①②②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	遂行能力（コミュニケーションと交流技能）について	①②②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	環境と作業	① ②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	人間作業モデルの発展	① ②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	ナラティブ・アプローチについて	① ②	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	世界の作業療法理論と日本の現状について	① ②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	臨床場面での実践の紹介と方法について	① ②	坂田	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	作業療法におけるコミュニケーションについて	③	建石	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	定期試験					

評価基準・評価方法

課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。
具体的には、小テスト50%、定期試験50%の合計で算定する。

使用教科書

キールホフナーの人間作業モデル / 山田孝.--改訂第５版--協同医書，2019年5月31日発行，978-4763921444

参考図書

必要に応じて、資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義中及び講義終了後に質問及びフィードバックの時間を設ける。
実務経験をいかした教育内容	急性期総合病院における10年以上の職務経験から、幅広い疾患に対応した作業療法の基礎・応用技術を身につけるための講義を展開する。また、作業行動学に関連した学会発表、論文執筆、研究活動の経験等から、人々の健康と幸福を促進するために作業がどのように貢献しうるのかについて学生とともに学びを深める。
備考	グループワークの際、実際に対象者へ行うことができるようにすることが目的であることを念頭において、練習すること。

授業科目名		担当教員		
基礎作業療法学実習		世良龍哉・石田啓子・塩崎章嘉　(代表教員　世良龍哉)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	SB0103
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）、石田啓子（作業療法士）、塩崎章嘉（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法で用いられる手工芸などの「作業」について、治療的に活用できるために、様々な視点から分析し考察する。そのために、作業分析の実施、身体的効果・精神的効果、作業の段階付け等を考察する。講義では、グループワークを活かし多様な思考のもと学習しやすいように進める。

学 修 の 到 達 目 標

①作業分析が活用できる。
②レポート・発表資料が適切に作成できる。
③作業における治療的な活用を考えることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業分析とは（1）	①	世良	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	作業分析とは（2）	①	世良	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	作業分析とは（3）	①	世良	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	作業実施（1）	①②③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	作業実施（2）	①②③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	作業実施（3）	①②③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	作業実施（4）	①②③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	作業体験の振り返り	①②③	石田	演習	授業で行う内容の事前準備を行うこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	作業の治療的応用①	③	塩崎	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	作業の治療的応用②	③	塩崎	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	作業の治療的応用③	③	塩崎	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	作業の治療的応用④	③	塩崎	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	作業の治療的応用	③	塩崎	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	作業の治療的応用	③	塩崎	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	作業の治療的応用⑦	③	塩崎	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法

評価方法は、課題（100％）で評価し、総合的に判断する。

使用教科書

「作業」って何だろう / 吉川ひろみ.--第２版--医歯薬出版，2017年7月，978-4-263-21667-5
配布資料 /

参考図書

作業療法学全書　基礎作業学　協同医書出版

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題に対して、コメントをつけてフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	病院での作業療法において、対象者の意味ある作業に注目し、実践的に作業を活用した作業療法を実施してきた経験から、作業を治療的に活用できるために、様々な視点から分析し考察できるよう授業を展開していく。
備考	作業についての知識や理解を深めると共に、自分の作業体験を振り返り内省し考察できるようにすること。

授業科目名		担当教員		
作業療法研究方法論		井上忠俊・古桧山建吾　(代表教員　井上忠俊)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	SB0404
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		井上忠俊（作業療法士）、古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

研究を実践するためのテーマの設定、情報収集、研究計画の立案、データ収集、データ解析、統合と解釈の基礎を学ぶ。他に研究の倫理・管理面についても学ぶ。講義では、グループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。演習では、遠隔学習システムや動画教材を積極活用し、反復学習することで知識・技術の確実な定着を図る。

学 修 の 到 達 目 標

①文献検索が自律的にできる。
②主要な研究方法について概略を説明できる。
③データ処理が自律的にできる。
④研究デザイン・収集データに相応しい統計解析方法の選択・立案ができる。
⑤研究の倫理・管理の概要がわかる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、研究とは	⑤	井上	講義	研究について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
2	文献検索①	①	古桧山	講義	文献検索の方法について下調べ（30分）	文献検索の方法についてまとめる（30分）
3	文献検索②	①	古桧山	演習	文献検索エンジンの使い方の練習（30分）	文献検索エンジンの使い方についてまとめる（30分）
4	量的研究（観察研究・介入研究）	②	井上	講義	教科書p.34-41を通読する（60分）	講義の振り返り（60分）
5	統計処理の概要	③④	井上	演習	教科書p.76-78の通読（60分）	演習で提示した課題（60分）
6	統計処理法（基本統計量）	③④	井上	演習	前回の演習の整理（60分）	演習で提示した課題（60分）
7	統計処理法（パラメトリックとノンパラメトリック）	③④	井上	演習	教科書p.77の通読（60分）	演習で提示した課題（30分）
8	統計処理法（差の検定）	③④	井上	演習	教科書p.79-81の通読（60分）	演習で提示した課題（60分）
9	統計処理法（相関係数）	③④	井上	演習	教科書p.89-93の通読（60分）	演習で提示した課題（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	統計処理法（その他の検定など）	③ ④	井上	演習	教科書p.76-119の通読（60分）	演習で提示した課題（60分）
11	文献レビューの作成（１）	① ②	古桧山	講義	文献検索の方法についてまとめる（30分）	文献検索の方法についてまとめる（30分）
12	文献レビューの作成（２）	① ②	古桧山	演習	文献検索の方法についてまとめる（30分）	文献検索の方法についてまとめる（30分）
13	質的研究①	③ ④ ⑤	古桧山	講義	質的研究について下調べ（30分）	質的研究についてまとめる（30分）
14	質的研究②	③ ④ ⑤	古桧山	演習	質的研究について下調べ（30分）	質的研究についてまとめる（30分）
15	質的研究③	③ ④ ⑤	古桧山	講義	質的研究について下調べ（30分）	質的研究についてまとめる（30分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法

課題(100%）で評価・判定する。

使用教科書

参考図書

適宜紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題に対して、コメントをつけてフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	大学院修士課程（２年）と博士課程（３年），及びその後研究活動（5年）の実務経験から，研究活動に必要な知識と手段として，論文検索と講読，臨床疑問，思考を身につけられるような授業を展開していく．
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail : t.inoue@heisei-iryou.ac.jp（井上） k.kohiyama@heisei-iryou.ac.jp（古桧山） 課題は添削したものを返却する。

授業科目名		担当教員		
卒業研究		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・井上忠俊・古桧山建吾・浅野莉沙　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	2単位(30時間)	演習	SB0705
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）		

授 業 概 要

卒業研究では、2年次に修得した作業療法研究方法論ならびに専門科目を基礎とし、研究に関わる一連の過程（研究テーマ、研究仮説の設定、先行研究資料・文献からの情報収集、実験および調査の実施、データ解析、その結果の整理と解釈・考察）を通じて探究心と理論的思考を深める。学生にとって卒業後の臨床を含めた研究において出発点となる重要な科目である。卒業論文は、グループで取り組むこととし、1グループ1論文の作成を目指す。そのなかで、グループ内でのディスカッション場を通じて、研究題材の理解を深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①研究計画書を作成できる。
②実験および調査を実施し、結果を整理できる。
③論文作成を行い、研究成果をまとめることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	研究分野を考える	①	各指導担当教員	演習	教科書p. 10－33の通読（120分）	共有した文献の整理（120分）
2	文献の検索・収集	①	各指導担当教員	演習	関心のある論文の検索（120分）	文献収集（120分）
3	研究テーマの決定	①	各指導担当教員	演習	教科書p.18-22の精読（120分）	決定したテーマに沿う研究の収集（120分）
4	研究仮説の設定	①	各指導担当教員	演習	研究仮説案の作成（120分）	研究計画案の作成（120分）
5	研究計画書の作成	①	各指導担当教員	演習	教科書p.29-33の精読（120分）	研究計画書の修正（120分）
6	研究説明書・同意書作成	①	各指導担当教員	演習	教科書p.13-29の精読（120分）	研究説明書・同意書の修正（120分）
7	予備実験	②	各指導担当教員	演習	予備実験の準備（120分）	予備実験結果の精査（120分）
8	実験・調査の実施（１）	②	各指導担当教員	演習	本実験・調査計画の確定（120分）	実験・調査結果の整理（120分）
9	実験・調査の実施（２）	②	各指導担当教員	演習	実験・調査の準備（120分）	実験・調査結果の整理（120分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実験・調査の実施（３）	②	各指導担当教員	演習	実験・調査の準備（120分）	実験・調査結果の整理（120分）
11	結果の処理	②	各指導担当教員	演習	実験・調査結果の整理（120分）	実験・調査結果の整理（120分）
12	結果の整理	②	各指導担当教員	演習	実験・調査結果の整理（120分）	実験・調査結果の整理（120分）
13	論文執筆（１）	③	各指導担当教員	演習	教科書p.122-139の精読（120分）	論文執筆（120分）
14	論文執筆（２）	③	各指導担当教員	演習	論文執筆（120分）	論文執筆（120分）
15	論文執筆（３）	③	各指導担当教員	演習	論文執筆（120分）	論文執筆（120分）
	卒業論文提出					

評価基準・評価方法

卒業論文の完成。研究計画～論文執筆における取組状況など総合的に評価する。
卒業論文執筆に至るまでの取組状況（30%）、卒業論文（70%）

使用教科書

作業療法研究法 / 竹田徳則ほか.--第１版--医歯薬出版，2017年，978-4-263-21676-7

参考図書

必要に応じ資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	研究の進捗に応じてその都度フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	それぞれの教員の臨床経験を踏まえた専門性を研究テーマに反映しつつ，学生の意向を組み込み研究を通して指導する。
備考	担当教員の指導のもと、計画的に取り組むこと。 主体的に取り組むよう心がけること。

授業科目名		担当教員		
作業療法管理学Ⅰ		古桧山建吾		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義	SOM701
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山　建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士は、病院をはじめ児童施設、老人施設等の各種サービス機関で働いている。各機関は、様々な専門職が連携しあいながら組織目標の達成を目指している。専門職の人材育成が組織目標達成成果に影響する。作業療法管理学Ⅰでは、組織人としての役割を全うするための作業療法教育を中心に学習する。作業療法の養成課程、参加型臨床実習、社会人基礎力、卒後の職場内教育、生涯学習制度、クリニカルラダー、キャリア形成について理解し、自分の今後の指針となる様学習を進める。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法士として成長をしていくにあたっての３つのphase（社会人、組織人、専門職）とその今日行く過程を理解し、今後の自分の成長過程の指針とできる。
②作業療法養成教育の歴史や教育内容について学び、作業療法養成課程の変遷や作業療法士になるために課題について述べることができる。
③参加型臨床実習について概要を理解し、臨床実習に活かすことができる。
④職場内教育、OJTについて述べることができる。
⑤生涯教育制度について述べることができる。
⑥キャリア形成について述べることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法士養成教育の歴史について	① ②	古桧山	講義	教科書の該当箇所に目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
2	組織マネジメント	①	古桧山	講義	教科書の該当箇所に目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
3	社会人基礎力	①	古桧山	講義	配布資料に目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
4	職場内教育・OJT	④	古桧山	講義	配布資料に目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
5	診療参加型臨床実習①	② ③	古桧山	講義	目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
6	診療参加型臨床実習②	② ③	古桧山	講義	配布資料に目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
7	生涯教育制度	⑤	古桧山	講義	配布資料に目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
8	キャリア形成	⑥	古桧山	講義	目を通しておく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
レポート（100%）によって評価する	
使用教科書	
作業療法管理学入門　第2版 / 大庭潤平.--医歯薬出版株式会社，2021年，978-4-263-26642-7 作業療法学全書　改訂第3版　第1巻　作業療法概論 / 杉原素子--協同医書出版社，2010年，978-4-7639-2118-5	
参考図書	
必要に応じて資料を配布する	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	最終授業時に全体に向けてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	臨床現場でのマネジメントの問題のケーススタディーを通した学びを深める
備考	

授業科目名		担当教員		
作業療法管理学Ⅱ		古桧山建吾		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義	SOM802
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山　建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法管理学Ⅱでは、社会保障制度の中での診療報酬・介護報酬体系を理解し、経営管理視点の見識を広げると同時に作業療法サービスの質の向上についての知識と実践を学習する。さらに、作業量夫雄実戦における多職種連携について見識を広げる。その管理業務にとって必要なリーダーとしての資質を、わが国における企業リーダーの成功者から学び、自己の将来に役立たせることができるよう講義を展開する。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法の実施とその対価（診療報酬・介護報酬など）について学び、作業療法実施後の診療記録ならびに書類管理（電子カルテなど含む）について述べることができる。
②作業療法実施に関わる他職種との業務調整やカンファレンスについ述べることができる。
③リハビリテーション部門のリーダーの資質や役割を学び、組織を運営するための管理業務（人事考課や労務管理など）について述べることができる。
④作業療法機器の配置計画（職場環境デザイン含む）やそれに関わる保守点検・安全管理について述べることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	社会保障制度と医療費、介護費用、地域医療構想、DPC、経営分析、医療/介護監査、病院機能評価	①	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
2	作業療法が関連する診療報酬・介護報酬、施設基準	①	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
3	情報管理（診療録の記載、その他書類）	②	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
4	労働基準法、労務管理、人事管理とリーダーの資質	④	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
5	医療安全	③	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
6	感染管理、医療機器・備品	⑤	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
7	多職種連携、カンファレンス	③	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
8	作業療法業務のマネジメントアラカルト（信念対立、研究活動）	③④	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
レポート（100%）によって評価する	
使用教科書	
作業療法管理学入門　第2版 / 大庭潤平.--医歯薬出版株式会社，2021年，978-4-263-26642-7 作業療法学全書　改訂第3版　第1巻　作業療法概論 / 杉原素子--協同医書出版社，2010年，978-4-7639-2118-5	
参考図書	
必要に応じて資料を配布する	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	最終授業時に全体に向けてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	臨床現場でのマネジメント問題のケーススタディーによる学びを深める
備考	

授業科目名		担当教員		
作業療法管理学Ⅱ		古桧山建吾		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義	SOM802
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法管理学Ⅱでは、社会保障制度の中での診療報酬・介護報酬体系を理解し、経営管理視点の見識を広げると同時に作業療法サービスの質の向上についての知識と実践を学習する。さらに、作業量夫雄実戦における多職種連携について見識を広げる。その管理業務にとって必要なリーダーとしての資質を、わが国における企業リーダーの成功者から学び、自己の将来に役立たせることができるよう講義を展開する。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法の実施とその対価（診療報酬・介護報酬など）について学び、作業療法実施後の診療記録ならびに書類管理（電子カルテなど含む）について述べることができる。
②作業療法実施に関わる他職種との業務調整やカンファレンスについ述べることができる。
③リハビリテーション部門のリーダーの資質や役割を学び、組織を運営するための管理業務（人事考課や労務管理など）について述べることができる。
④作業療法機器の配置計画（職場環境デザイン含む）やそれに関わる保守点検・安全管理について述べることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	社会保障制度と医療費、介護費用、地域医療構想、DPC、経営分析、医療/介護監査、病院機能評価	①	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
2	作業療法が関連する診療報酬・介護報酬、施設基準	①	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
3	情報管理（診療録の記載、その他書類）	②	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
4	労働基準法、労務管理、人事管理とリーダーの資質	④	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
5	医療安全	③	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
6	感染管理、医療機器・備品	⑤	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
7	多職種連携、カンファレンス	③	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
8	作業療法業務のマネジメントアラカルト（信念対立、研究活動）	③④	古桧山	講義	配布資料の該当箇所を読み込んでおく（120分）	講義の重点箇所をまとめる（120分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
レポート課題（100%）によって評価する	
使用教科書	
作業療法管理学入門　第2版 / 大庭潤平.--医歯薬出版株式会社，2021年，978-4-263-26642-7 作業療法学全書　改訂第3版　第1巻　作業療法概論 / 杉原素子.--協同医書出版社，2010年，978-4-763-92118-5	
参考図書	
必要に応じて資料を配布する	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	最終授業時に全体に向けてフィードバックを行う
実務経験をいかした教育内容	臨床現場でのマネジメント問題のケーススタディーを通して学びを深める
備考	2023年度以降入学生対象

授業科目名		担当教員		
作業療法評価学概論		世良龍哉・古桧山建吾　(代表教員　世良龍哉)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0E201
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）、古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士に必要である種々の検査・測定の中でも、生理機能、バイタルサイン、形態測定、面接技法、観察、コミュニケーションなど基本的な知識、技術を習得することを目的とする。講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法を行う上での必要な評価を理解し実践できる知識と能力を獲得する。
②カルテの記載方法を理解し、正しく記入ができる。
③コミュニケーションに必要な視点が理解できる。
④面接技法が理解できる。
⑤観察技法が理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	評価学総論１	①	古桧山	講義	教科書P1~27を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
2	評価学総論２	①	古桧山	講義	教科書P1~27を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
3	生理機能１	①	古桧山	講義	教科書P50~67を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
4	生理機能２	①	古桧山	講義	教科書P50~67をまとめる（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
5	形態測定１	①	古桧山	講義	教科書P62~67を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
6	形態測定２	①	古桧山	講義	教科書P62~67をまとめる（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
7	記録・報告の意義と特徴	②	古桧山	講義	教科書P28~32を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
8	効果判定について	① ②	古桧山	講義	教科書P28~32をまとめる（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
9	コミュニケーション（１）	③	世良	講義	医療人に必要なコミュニケーションについて下調べ	コミュニケーションスキルについて整理、まとめ（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	コミュニケーション（２）	③	世良	演習	コミュニケーションスキルについてまとめる（30分）	ディスカッションした内容について整理、まとめ（30分）
11	面接（１）	④	世良	講義	面接技法の整理、まとめ（30分）	面接評価のまとめ（30分）
12	面接（２）	④	世良	演習	面接技法の整理、まとめ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
13	観察（１）	⑤	世良	講義	観察技法の整理、まとめ（30分）	観察評価のまとめ（30分）
14	観察（２）	⑤	世良	演習	観察技法の整理、まとめ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
15	観察（３）	⑤	世良	演習	観察技法の整理、まとめ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
	定期試験					

評価基準・評価方法

評価方法は、定期試験（７０％）、課題（３０％）をもって総合的に判断する。

使用教科書

標準作業療法学専門分野　作業療法評価学　第4版 / 能登真一.--医学書院，2024年1月，978-4-260-05249-8

参考図書

必要に応じ資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題のフィードバックはコメントをつけて適時返却する。
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域や精神障害領域で様々な対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、生理機能、バイタルサイン、形態測定、面接技法、観察、コミュニケーションなど基本的な知識、技術を習得することができるよう授業を展開をしていく。
備考	講義によって使用する教室が異なる。適時、資料を配布する。 授業内容が分からないときはいつでも質問を受け付ける。

授業科目名		担当教員		
作業療法評価学Ⅰ（身体機能）		竹中孝博・永井貴士・井上忠俊・樅山貴子・川本　徹　（代表教員　竹中孝博）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0E402
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）、井上忠俊（作業療法士）、永井貴士（作業療法士）、樅山貴子（作業療法士）、川本徹（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法の中でも主に身体機能に対する評価方法について、基礎知識と検査・測定方法を学ぶ。
それぞれの検査・測定をどのような場合に用いるのか、どのように行うのかを学び、評価の意義や目的について理解を深める。講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①それぞれの評価項目に対し意義や目的を説明できる。
②様々な疾患に対してどのような評価が必要なのか説明できる。
③評価結果を解釈できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ハンドセラピィの病態評価	①②③	竹中	講義	事前に配布する資料をまとめる（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
2	ハンドセラピィの機能障害評価	①②③	竹中	講義	事前に配布する資料をまとめる（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
3	関節可動域（ROM）：評価の概要と意義・目的、上肢	①②③	井上	講義演習	上肢のROMにおける基本軸，移動軸，参考角度を覚える（30分）	上肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる（30分）
4	関節可動域（ROM）：下肢	①②③	井上	講義演習	下肢のROMにおける基本軸，移動軸，参考角度を覚える（30分）	下肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる（30分）
5	関節可動域（ROM）：体幹、頸部	①②③	井上	講義演習	体幹のROMにおける基本軸，移動軸，参考角度を覚える（30分）	体幹測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる（30分）
6	筋緊張	①②③	樅山	講義	伸張反射について構造、神経の名称を覚える（30分）	筋緊張の種類と評価方法についてまとめる（30分）
7	反射（腱反射、病的反射）	①②③	樅山	講義	腱反射、病的反射のメカニズムを予習する（30分）	各反射の評価方法についてまとめる（30分）
8	徒手筋力検査法（MMT）：評価の概要と意義・目的、上肢の評価	①②③	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	徒手筋力検査法（MMT）：下肢・体幹	①②③	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	バランスの評価	① ② ③	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	協調性	① ② ③	樅山	講義	教科書を読み協調運動障害の８つの要素を予習する（30分）	協調性の評価方法についてまとめる（30分）
12	脳神経	① ② ③	川本	講義	使用教科書２のp105～126を精読する（30分）	授業で行った内容を復習しておく（30分）
13	感覚検査	① ② ③	川本	講義	使用教科書１のp114～129と使用教科書２のp93～103を精読する（30分）	授業で行った内容を復習しておく（30分）
14	上肢機能検査（STEF・MFT・ARATなど)①	① ② ③	川本	講義	使用教科書１のp204-212を精読する（30分）	授業で行った内容を復習しておく（30分）
15	上肢機能検査（STEF・MFT・ARATなど)②	① ② ③	川本	講義	使用教科書１のp204-212を精読する（30分）	授業で行った内容を復習しておく（30分）
	定期試験（筆記試験）					

評価基準・評価方法

評価方法：期末試験（100%）
評価基準：指定した範囲の筆記試験を行う。

使用教科書

（１）標準作業療法学専門分野　作業療法評価学 / 矢谷令子監修.--第４版--医学書院，2024年1月，ISBN978-4-260-05249-8
（２）ベットサイドの神経の診かた / 北里大学名誉教授　田崎義昭　著.--改訂１８版--南山堂，2016年2月発行，ISBN978-4-525-24798-0
（３）新・徒手筋力検査法 原著第10版 / Dale Avers・他.--協同医書出版社，978-4763900418

参考図書

『新・徒手筋力検査法』第9版，協同医書出版

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験結果に対する総評コメントを公開する
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域の病院での勤務経験を活かして，実践場面で行われている評価方法を取り入れながら授業を行う。
備考	動きやすい服装、髪を束ねる、爪を切る、装飾品を外す等、実技ができるように準備すること。 質問等は講義中に随時受け付ける。また、オフィスアワーなど講義以外でも対応する。

授業科目名		担当教員		
作業療法評価学Ⅱ（精神・認知・医用画像）		古桧山建吾・加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・井上忠俊・浅野莉沙・樅山貴子　(代表教員　古桧山建吾)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0E403
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山建吾（作業療法士）・加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・樅山貴子（作業療法士）		

授 業 概 要

主に中枢神経疾患の基本事項及びその評価方法を学ぶ。
双方向対話型教育支援システム（パトグラ）や遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。
動画教材を積極活用し反復学習することで評価に関する知識の確実な習得と定着を図る。

学 修 の 到 達 目 標

①中枢神経疾患の評価における基本的知識を理解し、検査の実施ができる。
②修得した評価を臨床を模した場面で実施できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	中枢神経疾患に関わる脳解剖（１）	①	古桧山	講義	教科書(1)p.31-42及び教科書(2)p.2-21を通読する（60分）	講義で提示した課題（60分）
2	中枢神経疾患に関わる脳解剖（２）	①	古桧山	講義	教科書(2)p.24-86の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
3	脳出血の脳画像	①	古桧山	講義	教科書(2)p.88－95,110-116の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
4	脳梗塞の脳画像	①	古桧山	講義	教科書(2)p.96-109の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
5	脳損傷による疾患	①	古桧山	講義	教科書(2)p.117－152の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
6	中枢神経疾患における作業療法評価（BRS）	①	樅山	講義	教科書(3)p.188-275の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
7	中枢神経疾患における作業療法評価（上田による片麻痺機能テスト）	①	樅山	講義	教科書(3)p.188-275の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
8	中枢神経疾患における作業療法評価（SIAS,NIHSS）	①	樅山	講義	教科書(3)p.188-275の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）
9	中枢神経疾患における作業療法評価（FMA,MAL）	①	樅山	講義	教科書(3)p.188-275の通読（60分）	講義で提示した課題（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	臨床場面における作業療法評価の実践（１）	① ②	全 OT教員	演習	事前配布したオリエンテーション資料の確認（30分）	演習で提示した課題（60分）
11	臨床場面における作業療法評価の実践（２）	① ②	全 OT教員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（60分）	演習で提示した課題（60分）
12	臨床場面における作業療法評価の実践（３）	① ②	全 OT教員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（60分）	演習で提示した課題（60分）
13	臨床場面における作業療法評価の実践（４）	① ②	全 OT教員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（60分）	演習で提示した課題（60分）
14	臨床場面における作業療法評価の実践（５）	① ②	全 OT教員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（60分）	演習で提示した課題（60分）
15	臨床場面における作業療法評価の実践（６）	① ②	全 OT教員	演習	教科書(3)p.247-415を確認し、習得が不十分な評価項目の整理（60分）	演習で提示した課題（60分）
	課題					

評価基準・評価方法

課題(80%)、小テスト(20%)により判定する。

使用教科書

高次脳機能障害作業療法学（作業療法学ゴールドマスター・テキスト）/ 鈴木孝治.--第3版--メジカルビュー，2022年，978-4-7583-2045-0
脳画像 第1版 / 前田眞治.--医学書院，2017年，978-4-260-03250-6
標準作業療法学（専門分野）作業療法評価学　第4版 / 能登真一.--医学書院，978-4-260-05249-8

参考図書

適宜配布資料を用いる。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義中及び講義終了後に質問及びフィードバックの時間を設ける。 授業外でもメール等により質問を受け付ける（古桧山：k.kohiyama@heisei-iryou.ac.jp）
実務経験をいかした教育内容	講義の中で臨床場面のケーススタディーを通して学びを深める。
備考	

授業科目名		担当教員		
作業療法評価学演習Ⅰ（身体機能）		竹中孝博・永井貴士・井上忠俊・樅山貴子・川本　徹　（代表教員　竹中孝博）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	S0E404
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）、永井貴士（作業療法士）、井上忠俊（作業療法士）、樅山貴子（作業療法士）、川本徹（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法の中でも主に身体機能に対する評価方法について、基礎知識と検査・測定方法を学ぶ。
評価の意義や目的を考慮しながら、各検査・測定の技術を修得する。この演習で扱う評価は、臨床実習で実際に対象者に実施するため、相手に配慮しながら正確かつ安全に評価ができることを目指す。この授業では演習形式でグループワークやディスカッションを含む演習形式で進める。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法における評価の意義・目的を説明できる。
②正確に検査・測定ができる。
③対象者に配慮した安全な検査・測定ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ハンドセラピィの病態評価	①②③	竹中	演習	事前に配布する資料をまとめる（30分）	演習で行った内容を振り返り、まとめる（30分）
2	ハンドセラピィの機能障害評価	①②③	竹中	演習	事前に配布する資料をまとめる（30分）	演習で行った内容を振り返り、まとめる（30分）
3	関節可動域（ROM）：評価の概要と意義・目的、上肢	①②③	井上	演習	上肢のROMにおける基本軸，移動軸，参考角度を覚える（30分）	上肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる（30分）
4	関節可動域（ROM）：下肢	①②③	井上	演習	下肢のROMにおける基本軸，移動軸，参考角度を覚える（30分）	下肢測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる（30分）
5	関節可動域（ROM）：体幹	①②③	井上	演習	体幹のROMにおける基本軸，移動軸，参考角度を覚える（30分）	体幹測定における角度計の当て方と代償運動についてまとめる（30分）
6	筋緊張	①②③	樅山	演習	伸張反射について構造、神経の名称を覚える（30分）	筋緊張の種類と評価方法についてまとめる（30分）
7	反射（腱反射、病的反射）	①②③	樅山	演習	腱反射、病的反射のメカニズムを予習する（30分）	各反射の評価方法についてまとめる（30分）
8	徒手筋力検査法（MMT）：評価の概要と意義・目的、上肢の評価	①②③	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	徒手筋力検査法（MMT）：下肢・体幹の評価	①②③	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	バランスの評価	① ② ③	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	協調性	① ② ③	樅山	演習	教科書を読み協調運動障害の８つの要素を予習する（30分）	協調性の評価方法についてまとめる（30分）
12	脳神経	① ② ③	川本	演習	使用教科書２のp105～126を精読する（30分）	演習で行った内容を振り返り、まとめる（30分）
13	感覚検査	① ② ③	川本	演習	使用教科書１のp114～129 使用教科書２のp93～103を精読する（30分）	演習で行った内容を振り返り、まとめる（30分）
14	上肢機能検査（STEF・MFT・ARATなど)①	① ② ③	川本	演習	使用教科書１のp204～212を精読する（30分）	演習で行った内容を振り返り、まとめる（30分）
15	上肢機能検査（STEF・MFT・ARATなど)②	① ② ③	川本	演習	使用教科書１のp204～212を精読する（30分）	演習で行った内容を振り返り、まとめる（30分）
	定期試験　　（実技試験）					

評価基準・評価方法

評価方法：期末試験（50%）、中間試験（50%）
評価基準：中間、期末ともに指定した範囲の実技試験を行う。

使用教科書

（１）標準作業療法学専門分野　作業療法評価学 / 矢谷令子監修.--第４版--医学書院，2017年12月，ISBN978-4-260-05249-8
（２）ベットサイドの神経の診かた / 北里大学名誉教授　田崎義昭　著.--改訂１８版--南山堂，2016年2月発行，ISBN978-4-525-24798-0
（３）新・徒手筋力検査法 原著第10版 / Dale Avers・他.--協同医書出版社，978-4763900418

参考図書

『新・徒手筋力検査法』第9版，協同医書出版
その他必要に応じて紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	試験結果に対する総評コメントを公開する
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域の病院での勤務経験を活かして，実践場面で行われている評価方法を取り入れながら授業を行う。
備考	動きやすい服装、髪を束ねる、爪を切る、装飾品を外す等、実技ができるように準備すること。 質問等は講義中に随時受け付ける。また、オフィスアワーなど講義以外でも対応する。

授業科目名		担当教員		
作業療法評価学演習Ⅱ(精神･認知･医用画像)		古桧山建吾・三重野高広・加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・井上忠俊・浅野莉沙・樅山貴子　(代表教員　古桧山建吾)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	S0E405
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山建吾（作業療法士）・三重野高広（作業療法士）加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・樅山貴子（作業療法士）		

授 業 概 要

中枢神経疾患における運動障害・認知障害をどのように評価するかを学ぶ。作業療法評価学Ⅱで学修した評価・検査を臨床を模した場面で実施することで知識に裏付けされた技術を修得する。双方向対話型教育システム（パトグラ）及び遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。動画資料も積極的に活用し、反復学習することで知識・技術の確実な定着を目指す。

学 修 の 到 達 目 標

①中枢神経疾患に対する作業療法評価を適切に実施できる。
②切断の評価を適切に実施できる。
③精神障害に対する作業療法評価を適切に実施できる。
④修得した評価を臨床を模した場面で実施できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	脳出血の脳画像読影	①	古桧山	演習	教科書(2)p.2－124の通読（60分）	演習で提示した課題（60分）
2	脳梗塞の脳画像読影	①	古桧山	演習	教科書(2)p.2－124の通読（60分）	演習で提示した課題（60分）
3	その他の中枢神経障害の脳画像読影	①	古桧山	演習	教科書(2)p.126-152の精読（30分）	演習で提示した課題（60分）
4	中枢神経疾患による運動障害の評価（BRS）	①	樅山	演習	教科書(3)p.188-275の精読とBRS評価の整理（30分）	BRSの習得練習（30分）
5	中枢神経疾患による運動障害の評価（上田による片麻痺機能テスト）	①	樅山	演習	教科書(3)p.188-275の精読（60分）	上田による片麻痺機能テストの習得練習（60分）
6	中枢神経疾患による運動障害の評価（SIAS・FMA・MAL）	①	樅山	演習	教科書(3)p.188-275の精読（30分）	SIAS/FMA/MALの習得練習（60分）
7	上肢切断と義手（１）	②	三重野	講義演習	教科書(3)p.335-359の通読（30分）	講義内容の整理（30分）
8	上肢切断と義手（２）	②	三重野	講義演習	前回講義の振り返り（30分）	講義内容の整理（30分）
9	上肢切断と義手（３）	②	三重野	講義演習	前回講義の振り返り（30分）	講義内容の整理（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神科領域における評価（１）	③	世良	演習	教科書(3)p.441-471の通読（60分）	講義内容の整理（30分）
11	精神科領域における評価（２）	③	世良	演習	教科書(3)p.441-471の通読（60分）	講義内容の整理（30分）
12	臨床場面における作業療法評価の実践（１）	④	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理（60分）	演習で課題となった個所の練習（60分）
13	臨床場面における作業療法評価の実践（２）	④	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理（60分）	演習で課題となった個所の練習（60分）
14	臨床場面における作業療法評価の実践（３）	④	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理（60分）	演習で課題となった個所の練習（60分）
15	臨床場面における作業療法評価の実践（４）	④	全OT教員	演習	教科書(3)p.247-415の精読と整理（60分）	演習で課題となった個所の練習（60分）
	課題					

評価基準・評価方法

課題(80%)及び小テスト(20%)により判定する。

使用教科書

高次脳機能障害作業療法学（作業療法学ゴールドマスター・テキスト)第2版 / 鈴木孝治.--メジカルビュー，978-4-7583-1674-3
脳画像 第1版 / 前田眞治.--医学書院，978-4-260-03250-6
標準作業療法学（専門分野）作業療法評価学　第4版 / 能登真一.--医学書院，978-4-260-05249-8

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	演習中及び演習終了後に時間を設ける。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での事例を提示し，作業療法評価のプロセスを実践的に学習できるようにする。
備考	

授業科目名		担当教員		
作業療法治療技術理論		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T201
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法に必要な理論・評価・介入について、各教員が専門的に取り組んでいる分野の紹介をする。本講義は２年前期の選択授業、３年前期の卒業研究につながる位置づけとなっているため、本講義で得た知識を基にして在学中に自身が追求するテーマを得る。また、OSCEを通して医療従事者に求められるコミュニケーション技法について理解を深める。取り組みとして、模擬患者における初回介入を想定する。そこで、必要となるコミュニケーション技法についてディスカッションの場にて理解を深め、体得することを目指す。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法のサブカテゴリー領域の理論、研究の概略を知ることができる
②在学中に自身が追求するテーマを発見できる
③医療従事者に求められるコミュニケーション技術について習得できる

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、作業療法の専門性	①②②	浅野	講義	なし	講義中に提示された課題（30分）
2	認知症予防に対する作業療法理論	①②	加藤	講義	事前に配布した資料に目を通す（30分）	講義で説明した重点箇所についてまとめる（30分）
3	信念対立と作業療法理論	①②	古桧山	講義	事前にクラスルームに上げた動画を視聴し概要をまとめる（60分）	講義中に提示した課題（60分）
4	作業療法と作業行動理論	①②	永井	講義	事前に提示した課題（30分）	講義内で提示した課題（30分）
5	精神障害に対する作業療法理論	①②	世良	講義	事前に配布した資料に目を通す（30分）	講義内で提示した課題のまとめ（30分）
6	整形外科疾患に対する作業療法理論	①②	竹中	講義	事前に配布した資料に目を通す（30分）	講義内で提示した課題をまとめる（30分）
7	環境から支援する作業療法理論	①②	浅野	講義	事前に提示した課題（30分）	講義内で提示した課題（30分）
8	認知症疾患に対する作業療法理論	①②	井上	講義	認知症の危険因子について調べる（30分）	認知症の行動・心理症状の発生機序についてまとめる（30分）
9	OSCEのオリエンテーション	③	井上・永井	講義	事前配布する接遇に関する資料を読み、十分に理解する（60分）	講義内で提示した課題（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	OSCEの演習（１）	③	全OT教員	演習	オリエンテーションで提示した課題（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
11	OSCEの演習（２）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
12	OSCEの演習（３）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
13	OSCEの実施（１）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
14	OSCEの実施（２）	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
15	OSCEのフィードバック	③	全OT教員	演習	演習で提示された技能練習（30分）	演習で提示された技能練習（30分）
	実技試験（OSCE）					

評価基準・評価方法

実技試験で評価する

使用教科書

必要に応じ資料を配布する。

参考図書

杉原素子編：作業療法学全書［改訂第３版］第１巻
作業療法概論（協同医書出版社）

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各回の講義では、終了時に全体にむけてフィードバックを行う。 演習では、グループごとに個々のフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	各担当教員がこれまでに臨床で経験した症例や各専門領域における研究内容について紹介し、作業療法の多様な専門性の理解につながるよう授業を展開する。
備考	質問は適宜受け付ける。また講義中も適宜質問の時間を取る。

授業科目名		担当教員		
認知症予防論		井上忠俊		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	S0T402
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		井上忠俊（作業療法士）		

授 業 概 要

認知症高齢者の増加が見込まれている高齢社会の現状を踏まえながら、認知症高齢者の健康増進に向けた介護予防支援について論じていく。一次予防（健康増進）、二次予防（早期発見・早期介入）、三次予防（要介護リスク低減）を中心に、健康の増進に好ましいとされる行動と環境、その変容を促すための介入、認知症発症リスクと心理社会的側面などの関連について理解することを目指す。それぞれのテーマについて、課題を提示しグループワークにて作業を進め、学びを深める。また、３年次科目の卒業研究にむけて、研究課題の抽出やデータ収集など研究方法についても理解を深める。

学 修 の 到 達 目 標

①一次予防や二次予防、三次予防について説明することができる。
②健康増進を図るための行動と環境について知ることができる。
③心理社会的側面を踏まえた作業療法の介入について理解を深めることができる。
④卒業研究で必要となるデータ収集方法や介入（実験）をすることで研究力を高めることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション（学習の進め方）		井上	講義	配布資料を読み込んでおく（30分）	学習計画の立案、今後必要な知識を整理しておく（30分）
2	わが国における高齢社会の現状	①	井上	講義	高齢社会に必要な情報を調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
3	認知症予防について考える	①	井上	講義	わが国の認知症予防について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
4	介護予防・日常生活支援総合事業の概要（１）	①②①	井上	講義	わが国の介護予防支援について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
5	介護予防・日常生活支援総合事業の概要（２）	①②①	井上	講義	第4講の内容の確認と必要な情報を整理しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
6	認知症発症に関わるリスク因子（１）	②	井上	講義	認知症のリスク要因について調べる（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
7	認知症発症に関わるリスク因子（２）	②	井上	講義	第6講の内容を確認しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
8	認知症高齢者に対する作業療法介入（１）	③	井上	講義	認知症高齢者の作業療法介入について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
9	認知症高齢者に対する作業療法介入（２）	③	井上	講義	第8講の内容を確認しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	認知症高齢者に対する作業療法介入（３）	③	井上	講義	第9講の内容を確認しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
11	健康を阻害する地域環境要因	② ③	井上	講義	地域環境の影響について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
12	作業療法研究にむけての調査	③ ④	井上	講義	作業療法研究について調べておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
13	作業療法介入を考える（１）	③ ④	井上	講義	種々の文献から作業療法の介入について整理しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
14	作業療法介入を考える（２）	③ ④	井上	講義	第13講の内容を確認しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
15	今後期待される（求められる）作業療法の取り組み	③ ④	井上	講義	これまでの講義内容を整理しておく（30分）	講義内容について要点をまとめる（30分）
	課題					

評価基準・評価方法

課題（80%）、授業の取り組み状況（20%）で評価する。

使用教科書

資料を配付する。

参考図書

認知症の作業療法（医歯薬出版）

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各回の終了時に全体に向けてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	特別養護老人ホームにおける職務経験（２年半），介護老人保健施設における職務経験（２年）グループホームにおける職務経験（３年），精神科認知症病棟における職務経験（１年），通所介護施設における職務経験（４年半）から認知症高齢者の特徴を理解し，認知症高齢者と適切に関われる知識と実践力を身に着けられるように授業を展開していく．
備考	オフィスアワー：講義中に随時質問を受け付ける。また、講義後でも対応する。

授業科目名		担当教員		
ニューロリハビリテーション論		古桧山建吾		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T403
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

脳科学をテーマとして、それに関連する文献を精読し、得られた知識を元にディスカッションを行う。
脳模型を使用した学習を通して脳の解剖を３次元的に理解し、能動的に調査した内容を元に討議することで理解を深める。
脳血流計測機器（fNIRS)を使用し、脳機能データの収集・解析を体験する。

学 修 の 到 達 目 標

①Science basedな思考を養い，それに基づいて文献の検索・読解ができる。
②自身の考えを論理的・科学的に展開し，卒業論文作成に向けたデータ収集・処理方法を構築できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ニューロリハビリテーションとはなにか	①	古桧山	講義	なし	講義内で紹介した文献の精読（60分）
2	脳解剖演習（１）大脳皮質	①	古桧山	演習	教科書(1)p.66-86の通読（60分）	演習内容の整理（30分）
3	脳解剖演習（２）大脳深部構造	①	古桧山	演習	教科書(1)p.24-49の通読（60分）	演習内容の整理（30分）
4	脳解剖演習（３）辺縁系・小脳	①	古桧山	演習	教科書(1)p.24-49の通読（60分）	演習内容の整理（30分）
5	脳科学文献の検索	①	古桧山	演習	「作業療法研究方法論」で学んだ文献検索方法の復習（60分）	指定した文献の検索（60分）
6	脳科学文献レビュー（１）	①	古桧山	演習	レビューする文献の選定と入手（30分）	グループでレビューした文献の整理（60分）
7	脳科学文献レビュー（２）	①	古桧山	演習	レビューする文献の選定と入手（30分）	グループでレビューした文献の整理（60分）
8	脳機能計測の概要(1)	②	古桧山	講義	教科書(1)p.8-21の通読（30分）	学んだ計測技術の整理（30分）
9	脳機能計測の概要(2)	②	古桧山	講義	教科書(1)p.8-21の通読（30分）	学んだ計測技術の整理（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	fNIRSの操作・データ収集	②	古桧山	演習	学んだ計測技術の整理（30分）	習得した計測技術の練習（60分）
11	fNIRSのデータ解析（１）	②	古桧山	演習	事前提示した資料の通読（60分）	データ整理（60分）
12	fNIRSのデータ解析（２）	②	古桧山	演習	データ整理（60分）	データ整理（60分）
13	脳科学実験データ・デザイン（１）	②	古桧山	演習	事前配布した資料の確認（60分）	模擬データによるデータ処理（60分）
14	脳科学実験データ・デザイン（２）	②	古桧山	演習	事前配布した資料の確認（60分）	模擬データによるデータ処理（60分）
15	統計処理ソフトRによるデータ解析	②	古桧山	演習	「作業療法研究方法論」で学んだ統計処理及びRの使用に関する復習（60分）	データ解析（60分）
	課題					

評価基準・評価方法

課題(70%)、ディスカッションへの貢献度(10%)、確認小テスト(20%)で評価・判定する。

使用教科書

脳画像 第1版 / 前田眞治.--医学書院, 978-4-260-03250-6
適宜指示する（主に図書館・インターネット上から入手できる論文）。

参考図書

適宜紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義中もしくは講義終了後に実施する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での実際の事例を提示し、ディスカッションの中で実践的な学びを深めるようにする。
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail : k.kohiyama@heisei-iryou.ac.jp

授業科目名		担当教員		
精神障害治療論		世良龍哉		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T404
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法の対象となる精神障害について、障害構造論や回復段階に応じたリハビリテーションを理解し、精神の病とそれに伴う生活障害およびそれらに対する援助方法を学ぶ。講義では、グループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①精神障害を抱えることでの生活上の困難さを理解できる
②精神障害領域で用いられる治療・リハビリを理解できる
③精神障害領域で用いられる、概念を理解できる
④自分の関心のある領域に気づき、研究計画が作成できる
⑤卒業研究で必要となるデータ収集方法や介入（実験）をすることで研究力の向上できる

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション	①	世良	講義	研究の流れについてまとめる（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
2	精神障害に対するリハビリテーション（１）	①	世良	講義	文献検索の方法について整理する（30分）	わからない用語を他者にする（30分）
3	精神障害に対するリハビリテーション（２）	①	世良	演習	精神障害に関連する文献検索の準備（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
4	精神障害と作業療法（１）	②	世良	講義	精神科作業療法に関連する文献検索の準備（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
5	精神障害と作業療法（２）	②	世良	演習	精神科作業療法に関連する文献検索の準備（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
6	精神障害と作業療法（３）	②	世良	演習	精神科作業療法に関連する文献検索（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
7	生きる力、SOC（１）	③	世良	講義	SOCに関連する文献検索の準備（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
8	生きる力、SOC（２）	③	世良	演習	SOCに関連する文献検索（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
9	生きる力、SOC（３）	③	世良	演習	SOCに関連する文献検索（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神障害領域で用いられる概念（１）	③	世良	講義	精神障害領域に関連する用語の下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
11	精神障害領域で用いられる概念（２）	③	世良	演習	精神障害領域に関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
12	精神障害領域で用いられる概念（３）	③	世良	演習	精神障害領域に関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
13	作業療法研究にむけての調査	⑤	世良	演習	関心のある領域、テーマに関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
14	作業療法介入を考える	⑤	世良	演習	関心のある領域、テーマに関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
15	精神障害領域で行われる研究	④	世良	演習	関心のある領域、テーマに関連する用語の下調べ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
	課題提出					

評価基準・評価方法

評価方法は、課題（100%）をもって判断する。

使用教科書

精神障害と作業療法 / 山根寛.--新版--三輪書店，2017年，978-4-89590-583-1

参考図書

作業療法学全書第５巻　精神障害 第３版 協同医書出版

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題にについて、全体の総評コメントをもちいて提示する
実務経験をいかした教育内容	様々な対象者に対して精神科作業療法を実践してきた経験から、精神の病とそれに伴う生活障害およびそれらに対する援助方法を学ぶことができるような授業展開をしていく。
備考	授業中に随時質問を受け付ける。また、講義前後に対応する。

授業科目名		担当教員		
作業行動理論		永井貴士		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義・演習	S0T405
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）		

授 業 概 要

基礎作業学で実施した「人間作業モデル」を基に、作業療法理論を学び、理解を深める。さらに、臨床実践につなげられる臨床力を高められるよう、グループワークや演習形式で学習を勧めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①人間作業モデルに基づいた評価が理解できる。
②作業に基づいた実践の考え方を主体的に活用できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業行動理論の歴史と人間作業モデルについて	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	作業に関する自己評価（OSA-Ⅱ）の概要	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	作業に関する自己評価（OSA-Ⅱ）の実施	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	作業に関する自己評価（OSA-Ⅱ）の解釈	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	人間作業モデルスクリーニングツール（MOHOST）の概要	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	人間作業モデルスクリーニングツール（MOHOST）の実施	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	人間作業モデルスクリーニングツール（MOHOST）の解釈	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	事例検討その①	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	事例検討その②	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	事例検討その③	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	事例検討その④	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	事例検討のグループワークその①	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	事例検討のグループワークその②	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	人間作業モデルの研究論文の紹介	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	人間作業モデルの実践の紹介	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法

課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。
課題レポート（100%）をもって履修の合否を決定する。

使用教科書

キールホフナーの人間作業モデル / 山田孝監訳・Renee R. Taylor 編著.--改訂第5版--協同医書出版社, 2019年6月1日発行, 978-4-7639-2144-4

参考図書

必要に応じて、資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポート課題提出後１週間以内に個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	実際に働いている臨床現場での作業療法理論の展開の仕方を事例を取り入れながら学ぶ。
備考	事例を通した学びの場では、卒業後の自分の将来像を想定して、取り組むことを期待する。

授業科目名		担当教員		
整形外科系障害治療論		竹中孝博		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	SOT406
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）		

授 業 概 要

整形外科系障害の基礎から最新知見、作業療法応用などについて学ぶ。
この授業では講義と演習形式でグループワークやディスカッションを含む形式で進める。

学 修 の 到 達 目 標

①各疾患に対する特徴や病態が説明でき、介入方法についてのディスカッションが出来る。
②心理社会的側面を踏まえた作業療法の介入について理解し説明ができる。
③卒業研究で必要となるデータ収集方法や介入（実験）をすることで研究力の向上が出来る。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	スポーツ外傷とADL	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
2	筋萎縮の定義と概念	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
3	筋萎縮に対する治療トピックス	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
4	肩関節周囲炎の作業療法	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
5	痛みの基礎	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
6	痛みに対する介入	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
7	脊髄の興奮性変化	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
8	上肢骨折の手術	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
9	肩・肘骨折に対する作業療法研究	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	橈骨遠位端骨折の作業療法研究	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
11	運動イメージの応用	①	竹中	講義	事前に提示された課題（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
12	作業療法研究にむけての調査	② ③	竹中	演習	事前に提示された課題（30分）	提示された課題をまとめる（30分）
13	作業療法介入を考える	② ③	竹中	演習	事前に提示された課題（30分）	提示された課題をまとめる（30分）
14	グループディスカッション	① ② ③	竹中	演習	事前に提示された課題（30分）	提示された課題をまとめる（30分）
15	グループディスカッション	① ② ③	竹中	演習	事前に提示された課題（30分）	提示された課題をまとめる（30分）
	口頭試問		竹中		なし	なし

評価基準・評価方法

口頭試問（80%）、課題の取り組み状況（20%）で評価する。

使用教科書

配布資料

参考図書

「整形外科運動療法ナビゲーション　上肢・体幹」改訂第2版　整形外科リハビリテーション学会　MEDICAL VIEW、2014、ISBN978-4-7583-1478-7

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	適時直接指導していく
実務経験をいかした教育内容	急性期病院における職務経験（22年）から運動器リハビリに関する知識の伝達、スポーツ整形における職務経験（10年）から具体的な事例を通して必要な知識、技術を身につけられるようにする
備考	整形外科疾患に対する作業療法の知識と評価・治療の流れについて学ぶ。臨床において大切な教科であるが、短時間で非常に広い学習をするため、分からないときはいつでも質問を受け付ける。 課題については適時フィードバックを行いながら進行状況を確認する。

授業科目名		担当教員		
日常生活・環境アセスメント論		浅野莉沙		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
選択必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T407
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）		

授 業 概 要

様々な状態にある対象者の日常生活活動や作業について、環境の側面より捉えられるよう観察や介入の視点を学び、理解を深める。また、栄養状態や姿勢、心理面など、作業に影響を与える要因についても触れ、広い視点で対象者を捉えることができるよう学習を進めていく。授業内では少人数グループでのディスカッションを行い、課題に対する解決策を探求する。

学 修 の 到 達 目 標

①環境が日常生活活動や作業に与える影響について説明できる。
②褥瘡予防の観点から姿勢サポートを体験できる。
③モデルケースに対して作業療法的視点から観察・分析できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、環境を捉える視点	①	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
2	作業と環境の関連性①	①③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
3	作業と環境の関連性②	①③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
4	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング①	①②	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
5	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング②	①②	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
6	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング③	①②③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
7	褥瘡予防とシーティング・ポジショニング④	①②③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
8	栄養状態とリハビリテーションとの関連性①	①③	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
9	栄養状態とリハビリテーションとの関連性②	①③	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	栄養状態とリハビリテーションとの関連性③	① ③	浅野	講義	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
11	作業療法介入の考え方	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
12	環境に対する評価	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
13	作業療法の目標設定と介入の方向性	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
14	環境サポートの実践①	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
15	環境サポートの実践②	① ③	浅野	演習	次回行う内容について書籍や文献などを通して学習する。(30分)	行った内容について再度復習し、考察を深める。(30分)
	課題					

評価基準・評価方法

評価方法：グループ発表、提出課題の内容にて評価する
評価基準：課題内容の理解度と、課題に対する自身の考えを表現することを重要視する

使用教科書

適宜資料を配布する

参考図書

適宜紹介する

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポートや発表内容について直接フィードバックをする。
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域や老年期障害領域における褥瘡予防、リハビリテーション栄養の観点からの介入経験を共有しながら授業を展開する。また、自助具や補装具をはじめとした福祉用具についても、可能な限り実物を用いて体験・体感できる機会を設ける。
備考	質問は適宜受付ける。 必要な資料や参考資料がある場合、講義の際に紹介・資料配布する。

授業科目名		担当教員		
老年期障害学		加藤清人・井上忠俊　(代表教員　加藤清人)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	S0T408
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）、井上忠俊（作業療法士）		

授 業 概 要

老年期対象者の特徴（身体的、精神的、社会的側面）を理解したうえで、作業療法の実践に用いられる基礎的知識を修得する。具体的には、老年期の生理的、心理的な変化などを学ぶ。また、高齢者を取り巻く環境を含め、高齢者の生活変化についても学習を深めていく。そして、虚弱高齢者や障害高齢者に対する作業療法の評価、アプローチについて学習し知識を深める。さらに、これらの内容を踏まえたうえで、障害高齢者に対して、評価や介入実践を行うことで、知識・技術の修得を図る。講義では、ペア・シェア学習を行い、学びを深める。

学 修 の 到 達 目 標

①高齢社会、高齢者の特徴や生活を説明することができる。
②高齢期における作業療法の役割を理解し、作業療法介入について説明することができる。
③認知症高齢者の特徴を理解し、作業療法実践を説明することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	高齢社会（高齢者の定義、社会施策の変化）	①	加藤	講義	教科書p8～p16を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
2	高齢者の課題	①	加藤	講義	教科書p17～p28を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
3	社会制度	①	加藤	講義	教科書p29～p32を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
4	高齢者の障害	①	加藤	講義	教科書p33～p38を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
5	高齢者の特徴（一般的特徴）	①	加藤	講義	教科書p39～p50を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
6	認知症の理解（定義・症状）	③	井上	講義	教科書p64～p68を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
7	認知症の理解（認知症疾患）	③	井上	講義	教科書p69～p73を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
8	高齢期作業療法の役割・目的	②	加藤	講義	教科書p81～p83を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
9	高齢者に対する作業療法（生活のみかた）	②	加藤	講義	教科書p84～p94を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	高齢者に対する作業療法（評価・援助）	②	加藤	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
11	認知症高齢者に対する作業療法（作業療法の位置づけ・評価）	② ③	井上	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
12	認知症高齢者に対する作業療法（作業療法の視点、家族支援）	② ③	井上	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
13	アルツハイマー型認知症，脳血管性認知症，前頭側頭型認知症の特徴	② ③	井上	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
14	レビー小体型認知症，進行型核上性麻痺，大脳皮質基底核変性症の特徴	② ③	井上	講義	使用テキスト、配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
15	介護予防における作業療法	② ③	加藤	講義	配布資料を読み込んでおく（30分）	講義内容の要点をまとめる（30分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

小テスト（50%）、期末試験（50%）を総合的に評価する。

使用教科書

標準作業療法学　専門分野　高齢期作業療法学 / 矢谷令子監修.--第４版--医学書院，2024年1月，978-4-260-05327-3

参考図書

必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各回、講義終了時に全体にむけフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	病院ならびに介護老人保健施設における職務経験（10年）から高齢社会の状況、高齢者の特徴、作業療法の役割、課題を理解し、必要な基本的知識が身に着けられるよう授業を展開する。また、福祉施設における職務経験（12年）から高齢者の心身機能特徴を理解し、高齢者を対象にした作業療法に関する知識と実践力を身に着けられるように授業を展開していく。
備考	次週の要点を説明するので、復習と予習を怠らないこと。 質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
中枢神経障害学		立川慎也・酒井四季子　(代表教員　立川慎也)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	S0T509
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		立川慎也（作業療法士）・酒井四季子（作業療法士）		

授 業 概 要

中枢神経障害、特に脳血管疾患により出現する症状を理解し、それらに対する評価知識・技術を習得する。
双方向対話型教育支援システム（パトグラ）および遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。動画教材を活用し反復学習することで知識・技術の確実な定着を図る。

学 修 の 到 達 目 標

①脳血管疾患の病理や症状に精通し、脳画像読影ができる。
②脳卒中片麻痺の評価を適切に実施し、その結果から介入方法を自律的に構築できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション、中枢神経障害を引き起こす疾患	①	立川	講義	教科書(4)p.147-201の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
2	脳血管疾患の病態	①	立川	講義	教科書(4)p.147-175の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
3	脳血管疾患の画像読影	①	立川	講義	教科書(1)p.88-152の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
4	脳血管疾患に対する評価の概要	②	立川	講義	教科書(3)p.274-313の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
5	脳血管疾患でみられる運動障害とその評価	②	立川	講義	教科書(3)p.188-286の精読（60分）	BRSテストの復習（60分）
6	脳血管疾患でみられる認知障害とその評価	②	酒井	講義	教科書(3)p.188-286の精読（60分）	講義内で示した認知障害評価の練習（60分）
7	脳血管疾患でみられるその他の障害とその評価	②	酒井	講義	教科書(4)p.147-174の精読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
8	脳血管疾患に対する評価の構築	②	立川	講義	教科書(3)p.188-286の精読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
9	脳血管疾患における評価の解釈	②	立川	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	脳血管疾患への介入（１）	②	立川	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（60分）
11	脳血管疾患への介入（２）	②	立川	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（60分）
12	脳血管疾患への介入（３）	②	酒井	講義	事前に配布した資料の確認（30分）	講義内で提示した課題（60分）
13	その他の中枢神経障害疾患	②	酒井	講義	教科書(4)p.216-233の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
14	脳卒中片麻痺に対する作業療法介入（１）	②	酒井	講義	事前に配布された資料を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントについてまとめる（30分）
15	脳卒中片麻痺に対する作業療法介入（２）	②	立川	講義	事前に配布された資料を精読する（30分）	講義内で提示された重点ポイントについてまとめる（30分）
	定期試験					

評価基準・評価方法

期末試験(60%)、課題(20%)、小テスト(20%)で評価・判定する。

使用教科書

(1)脳画像 第1版 / 前田眞治.--医学書院，2017年，978-4-260-03250-6
(2)高次脳機能障害作業療法学（作業療法学ゴールドマスター・テキスト)第3版 / 鈴木孝治.--メジカルビュー，2022年，978-4-7583-2045-0
(3)標準作業療法学（専門分野）作業療法評価学　第4版 / 能登真一.--医学書院，2024年，978-4-260-05249-8
(4)標準理学療法学・作業療法学（専門基礎分野）　神経内科学　 / 第5版--医学書院，2019年，978-4-260-03817-1

参考図書

別途、適宜資料を配布する

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義中もしくは講義終了後にフィードバックの時間を設ける。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での実務経験をもとに、事例を通した学びを深める。
備考	

授業科目名		担当教員		
整形外科系障害学		竹中孝博・川本　徹　(代表教員　竹中孝博)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	S0T510
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）、川本　徹（作業療法士）		

授 業 概 要

整形外科疾患に対する基礎知識と評価、作業療法介入の流れについて学ぶ。
講義の中で解剖学や運動学にも適時触れていく。
講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①各疾患の特徴や症状を説明できること、評価、治療の基本的な考え方を説明できる。
②自ら進んで調べ活発に討論できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	手の機能解剖１	①	竹中	講義	１年次に学修した解剖学演習での筋の機能解剖を復習する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
2	手の機能解剖２	①	竹中	講義	使用教科書１のp2-30を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
3	骨折概論	①	川本	講義	使用教科書１のp32-43を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
4	骨折の作業療法１	①	川本	講義	使用教科書１のp44-62を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
5	骨折の作業療法２	①	川本	講義	使用教科書１のp63-100を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
6	骨折の作業療法３	①	川本	講義	使用教科書１のp101-114を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
7	骨折の作業療法４	①	川本	講義	使用教科書2のp312-335を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
8	拘縮の作業療法	①	川本	講義	事前に提示された範囲を学修する（30分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
9	末梢神経損傷概論	①	川本	講義	使用教科書１のp156-170を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	末梢神経損傷の作業療法	①	川本	講義	使用教科書１のp170-194を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
11	腱損傷概論	①	竹中	講義	使用教科書１のp116-125を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
12	腱損傷の作業療法	①	竹中	講義	使用教科書１のp126-154を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
13	リウマチの作業療法	①	竹中	講義	使用教科書１のp196-228を精読する（60分）	講義内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
14	グループワーク	②	竹中	演習	事前に提示された範囲を学修する（60分）	演習内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
15	グループ発表	②	竹中	演習	事前に提示された範囲を学修する（30分）	演習内で提示された重要ポイントをまとめる（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

定期試験（50%）、授業中の小テスト（50%）

使用教科書

１：リハ実践テクニック　ハンドセラピィ / 齋藤慶一郎.--株式会社メジカルビュー社，2022年，978-4-7583-2072-6
２：病気がみえるvol.11　運動器・整形外科 / 医療情報科学研究所.--メデックメディア，2024年，978-4-89632-925-4

参考図書

中田眞由美他：作業療法士のためのハンドセラピィ入門　第2版　三輪書店、2006　ISBN978-4-89590-255-7
長崎重信：ゴールドマスターテキスト　身体障害作業療法学 メジカルビュー社　ISBN978-4-7583-1673-6

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	小テストは適時返却する
実務経験をいかした教育内容	急性期病院における職務経験（22年）から運動器リハビリに関する知識の伝達、スポーツ整形における職務経験（10年）から具体的な事例を通して必要な知識、技術を身につけられるようにする
備考	整形外科疾患に対する作業療法の基礎知識と評価・治療の流れについて学ぶ。臨床において大切な教科であるが、短時間で非常に広い学習をするため、分からないときはいつでも質問を受け付ける。 毎回授業中に小テストを行い知識の確認を行う。

授業科目名		担当教員		
内部機能障害学		長谷部武久・寺本佳津明・坂田崇好　(代表教員　長谷部武久)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義	S0T511
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		長谷部武久（理学療法士）・寺本佳津明（作業療法士）・坂田崇好（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法において対象となる代謝系疾患，循環器系疾患，慢性閉塞性肺疾患などの基本的な病態や発生機序，検査・評価，介入・治療方法について学び、理解を深める。なお、PCやタブレットを使用し自主学習、グループワークを通して実施する。

学 修 の 到 達 目 標

①内部疾患についての基本的な知識を理解し修得できる。
②内部疾患に対する作業療法士の役割や専門性を認識について述べることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	代謝障害の解剖と生理、糖尿病の病態	①	長谷部	講義	病態と治療について復習すること（30分）	病態について復習すること（30分）
2	糖尿病に対する作業療法の進め方	②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること（30分）	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること（30分）
3	腎不全の病態およびリハビリテーション	①②②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること（30分）	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること（30分）
4	循環器の解剖と生理、心不全について	①	長谷部	講義	病態について復習すること（30分）	解剖と生理、心不全について復習すること（30分）
5	循環器疾患の病態と治療	①②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること（30分）	循環器疾患の病態と治療について復習すること（30分）
6	心疾患に対する作業療法の進め方（１）	②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること（30分）	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること（30分）
7	心疾患に対する作業療法の進め方（２）	②	長谷部	講義	病態と治療について復習すること（30分）	作業療法を行う上でのリスクについて理解を深めること（30分）
8	呼吸器疾患の病態	①	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
9	呼吸器疾患の病態とリハビリテーション	①②	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	呼吸器疾患に対する作業療法の進め方（１）	②	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
11	呼吸器疾患に対する作業療法の進め方（２）	②	寺本	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
12	悪性腫瘍の病態	①	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
13	悪性腫瘍の病態とリハビリテーション	① ②	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
14	悪性腫瘍に対する作業療法の進め方（１）	②	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
15	悪性腫瘍に対する作業療法の進め方（２）	②	坂田	講義	配布資料の該当箇所について読み込んでおく（30分）	講義の重点箇所についてまとめる（30分）
	定期試験　筆記					

評価基準・評価方法

評価方法：定期試験（90%）、小テスト（10%）
小テストは事前学習内容に関して，国家試験過去問題を主に講義開始より５～10分間で実施する。

使用教科書

イラストでわかる内部障害 / 上杉雅之、堀江淳.--第1版--医歯薬出版，2020年，978-4-263-26611-3

参考図書

奈良勲：標準理学療法学専門分野内部障害理学療法学，医学書院2016

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各回、講義終了時に全体にむけてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	この授業では、総合病院にて10年以上にわたり内部疾患系リハビリテーションに携わってきた職務経験に基づき、内部疾患に対する運動療法の理論的背景とその障害に対する具体的実践に関する講義を行う。
備考	作業療法対象として拡大してきた分野であり，十分な予習・復習，疾患の理解と専門性を重視した思考が必要である。

授業科目名		担当教員		
高次脳機能障害学		古桧山建吾		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義･演習	SOT512
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

高次脳機能障害に関する基礎的な知識・技術を習得する。
症例情報からの症状の予測、評価の選択、介入の立案などについて学ぶ。
双方向対話型教育支援システム（パトグラ）及び遠隔学習システムを使用して講義内で学習したことをその場で確認し、講義の冒頭では前回の復習を行う。また動画教材を活用して反復練習をすることで知識・技術の確実な定着を図る。

学 修 の 到 達 目 標

①注意障害,記憶障害,遂行機能障害,社会的行動障害,半側空間無視,失行,失認,失語に関する概要・評価方法・介入が理解できる。
②診断名、画像所見などから出現する可能性の高い症状を予測し、その有無を明確にするための評価計画を立案できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	高次脳機能障害とは何か	①	古桧山	講義	教科書(1)p.2-8を通読（30分）	講義内で提示した課題（60分）
2	注意障害の概要と評価	①	古桧山	講義	教科書(1)p.60-84の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
3	標準注意検査（CAT)	①	古桧山	演習	配布した資料の確認（30分）	CAT実施の練習（60分）
4	その他の注意機能の検査（TMT、かな拾い検査など）	①	古桧山	演習	配布した資料の確認（30分）	TMT・かな拾い検査の実施の練習（60分）
5	記憶障害の概要と評価	①	古桧山	講義	教科書(1)p.147-169の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
6	ウェクスラー記憶検査、リバーミード行動記憶検査、ベントン視覚記銘検査	①	古桧山	演習	事前に配布した資料の確認（30分）	演習で行った検査の練習（60分）
7	遂行機能障害の概要と評価、BADSなど	①	古桧山	演習	教科書(1)p.204－218の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
8	前頭葉機能障害の概要と評価、FABなど	①	古桧山	演習	事前に配布した資料の確認（60分）	FAB実施の練習（30分）
9	半側空間無視の概要と評価、BIT	①	古桧山	演習	教科書(1)p.85-102の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	失行症の概要と評価、SPTA・WAB失語症検査の行為など	①	古桧山	講義	教科書(1)p.180-202の通読（60分）	SPTA・WAB行為検査の練習（60分）
11	失認の概要と評価、VPTAなど	①	古桧山	講義	教科書(1)p.116-130の通読（30分）	講義内で提示した課題（30分）
12	社会的行動障害	①	古桧山	講義	教科書(1)p.220-240の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
13	失語症	①	古桧山	講義	教科書(1)p.139-155の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
14	症例を通した評価の構築と解釈及び介入立案（症例１）	②	古桧山	演習	教科書(2)p.126-137の通読（60分）	講義内で提示した課題（60分）
15	症例を通した評価の構築と解釈及び介入立案（症例２）	②	古桧山	演習	事前に配布した資料の確認（60分）	講義内で提示した課題（60分）
	定期試験					

評価基準・評価方法

期末試験(60%)、課題(20%)、小テスト(20%)で評価・判定する。

使用教科書

高次脳機能障害作業療法学（作業療法学ゴールドマスター・テキスト)第2版 / 鈴木　孝治.--メジカルビュー，978-4-7583-1674-3
脳画像　第1版 / 前田眞治.--医学書院，2017年，978-4-260-03250-6
標準作業療法学（専門分野）作業療法評価学　第4版　/ 能登真一.--医学書院，978-4-260-05249-8

参考図書

講義内で適宜紹介する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	講義中もしくは講義後に実施する。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での事例を提示し、実践的な学びを深められるようにする。
備考	授業内で質問の時間を設ける。また授業外でも適宜メール等で質問を受け付ける。 E-mail : k.kohiyama@heisei-iryou.ac.jp

授業科目名		担当教員		
義肢装具学		竹中孝博		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T413
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		竹中孝博（作業療法士）		

授 業 概 要

第1回から8回は義肢全般を切断者の術前評価・術後管理から各義肢の目的と機能をつかみ、義手使用が可能になるか知る事と、体幹装具・下肢装具の機能とその目的を知る。
第9回から15回は作業療法に必要な装具、スプリントについての基礎知識、装具の種類と適応、力学などについて学ぶ。
講義はグループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①義肢装具の評価方法や機能を理解し他者に説明できる。
②素材の特徴や制作方法を学び、臨床に必要な技術を習得できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	義肢総論	①	竹中	講義	教科書p1-17を読んでまとめる（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
2	義手の基本構造・分類・部品	①	竹中	講義	教科書p18-41を読んでまとめる（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
3	筋電義手、義手の適合判定	①	竹中	講義	教科書p42-65を読んでまとめる（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
4	義足の基本構造・部品	①	竹中	講義	事前に指定された課題に取り組む（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
5	装具総論（上肢）	①	竹中	講義	教科書p204-216を読んでまとめる（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
6	装具総論（下肢・体幹）	①	竹中	講義	教科書p223-246を読んでまとめる（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
7	事例検討	①	竹中	講義	事前に指定された課題に取り組む（60分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
8	スプリントについて	②	竹中	講義	事前に指定された課題に取り組む（30分）	講義内で提示された重点ポイントをまとめる（30分）
9	背側cock-up splint１	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	背側cock-up splint２	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）
11	掌側cock-up splint１	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）
12	掌側cock-up splint２	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）
13	joint jack	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）
14	thumb spica splint１	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）
15	thumb spica splint２	②	竹中	演習	事前に指定された課題に取り組む（15分）	指定された課題をレポートにまとめる（60分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

期末試験（60%）、小テストの結果（20%）、宿題・時間外レポート（20%）

使用教科書

義肢装具と作業療法　評価から実践まで / 大庭潤平，他.--医歯薬出版株式会社，2017，978-4-263-21669-9
リハ実践テクニック　ハンドセラピィ　/ 齋藤慶一郎.--株式会社メジカルビュー社，2014，978-4-7583-1473-2

参考図書

配布資料
義肢装具のチェックポイント第8版，日本整形外科学会，医学書院，2014，ISBN978-4-260-01744-2

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出されたレポートはコメントをつけて返却する。
実務経験をいかした教育内容	急性期病院における職務経験（22年）から義肢装具のチェックポイントや作成に関する知識、スポーツ整形における職務経験（10年）から具体的な事例を通して必要な知識、技術を身につけられるようにする
備考	講義によって使用する教室が異なる。適時、資料を配布する。 短時間で非常に広い学習をするため、分からないときはいつでも質問を受け付ける。

授業科目名		担当教員		
精神障害学Ⅰ（総論）		世良龍哉・堀　義治　（代表教員　世良龍哉）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	S0T414
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）、堀義治（作業療法士）		

授 業 概 要

精神障害領域の作業療法についての総論を学ぶ。精神障害者の症状、取り巻く環境を考慮しながら作業療法との関連性、必要性について学んでいく。その為、精神障害に対する処遇の歴史と法律、精神疾患に対する治療と生活支援、精神科作業療法の治療構造について学び、理解を深める。講義では、グループワークや双方向システムを活用し学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①精神障害の捉え方を理解できる。
②精神障害に関する歴史を理解できる。
③精神障害領域の作業療法の役割を理解できる。
④精神障害領域の作業療法の治療構造を理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	講義のオリエンテーション	①	世良	講義	精神障害に用いられる用語の整理（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
2	精神障害者を理解するにあたっての基礎	①	世良	講義	精神障害に用いられる概念の整理（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
3	精神障害の捉え方	①	世良	講義	精神障害領域に用いられる用語の整理（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
4	精神障害者に対する治療処遇の歴史と法律（１）	②	世良	講義	精神障害者に対する歴史を下調べする（30分）	精神障害者に対する歴史の整理、まとめ（30分）
5	精神障害者に対する治療処遇の歴史と法律（２）	②	世良	講義	精神障害者に対する歴史を下調べする（30分）	精神障害者に対する歴史の整理、まとめ（30分）
6	精神障害に対する作業療法の視点（１）	③	世良	講義	作業を用いる療法の特性について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
7	精神障害に対する作業療法の視点（２）	③	世良	講義	作業療法の目的について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
8	精神障害に対する作業療法の視点（３）	③	世良	講義	回復過程と状態について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
9	精神障害に対する治療の流れ	④	世良	講義	作業療法の実践について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	精神障害に対する治療・支援	④	世良	講義	関連療法について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
11	作業療法の構造と形態（１）	④	世良	講義	作業療法の治療・支援構造の下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
12	作業療法の構造と形態（２）	④	世良	講義	作業の要素について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
13	作業療法の構造と形態（３）	④	世良	講義	作業療法士の専門性について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
14	精神障害の理解を深める（１）	①②③	堀	講義	精神障害の特徴を復習（30分）	精神障害の特徴を復習（30分）
15	精神障害の理解を深める（２）	①②③	堀	講義	精神障害の特徴を復習（30分）	精神障害の特徴をまとめる（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

評価方法は、定期試験（80%）、課題（20%）をもって総合的に判断する。

使用教科書

精神障害と作業療法 / 山根寛.--新版--三輪書店，2017年，978-4-89590-583-1

参考図書

作業療法学全書第５巻　精神障害 第３版 協同医書出版

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題に対して、コメントをつけフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	様々な対象者に対し精神科作業療法を実践してきた経験から、精神障害の概要、精神科作業療法の治療構造について学びが深められるように授業を展開していく。
備考	授業中に随時質問を受け付ける。また、講義前後に対応する。

授業科目名		担当教員		
精神障害学Ⅱ（各論）		世良龍哉・片桐正博　(代表教員　世良龍哉)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T515
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）片桐正博（作業療法士）		

授 業 概 要

精神障害領域の作業療法について、評価と治療に関する知識を学ぶ。精神障害学Ⅰで学んだ事を踏まえ、精神科作業療法の治療理論、対象者理解の視点（ICFなど）や、作業療法評価、治療技術、臨床における評価・治療の流れ、症例を通しての評価・治療計画の立案について学び、理解を深める。講義では、グループワークや双方向システムの活用、体験学習を取りいれながら学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①精神科作業療法の治療理論について理解できる。
②精神科作業療法の治療因子について理解できる。
③評価技術について理解できる。
④治療技術について理解できる。
⑤評価・治療計画の立案について理解できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	精神障害領域の作業療法理論	①	世良	講義	作業療法の理論について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
2	作業療法の実践（１）	②	世良	講義	集団の治療因子について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
3	作業療法の実践（２）	②	世良	講義	集団療法について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
4	作業療法の実践（３）	②	世良	講義	作業療法の流れについて下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
5	作業療法の実践（４）	②	世良	講義	作業療法評価について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
6	作業療法の実践（５）	②	世良	講義	面接方法について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
7	評価技術（興味チェックリスト）	③	世良	講義 演習	興味チェックリストについて下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
8	評価技術（行動観察）（１）	③	世良	講義	行動観察について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
9	評価技術（行動観察）（２）	③	世良	演習	行動観察について下調べ（30分）	行った行動観察についてまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	治療技術（SST）	④	世良	講義 演習	SSTについて下調べ（30分）	行ったSSTについてまとめる（30分）
11	地域生活支援	⑤	世良	講義	作業療法が行う支援と場について下調べ（30分）	わからない用語を他者に説明できるようにする（30分）
12	臨床における精神科作業療法の実践（１）	③ ④ ⑤	片桐	講義	作業療法評価のまとめ（30分）	症例情報の整理（30分）
13	臨床における精神科作業療法の実践（２）	③ ④ ⑤	片桐	演習	回復段階における作業療法のまとめ（30分）	症例情報の整理（30分）
14	症例を通して評価・治療の立案（１）	③ ④ ⑤	片桐	講義	回復段階における作業療法のまとめ（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
15	症例を通して評価・治療の立案（２）	③ ④ ⑤	片桐	演習	作業療法の目的の整理（30分）	ディスカッションした内容の整理、まとめ（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

評価方法は、定期試験（８０％）、課題（２０％）をもって総合的に判断する。

使用教科書

精神障害と作業療法 / 山根寛.--新版--三輪書店，2017年，978-4-89590-583-1

参考図書

作業療法学全書第５巻　精神障害 第３版 協同医書出版

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	提出された課題に対して、コメントつけフィードバックする
実務経験をいかした教育内容	様々な対象者に対し精神科作業療法を実践してきた経験から、精神科における作業療法について、評価と治療に関する知識の学びが深められるように授業を展開していく。
備考	授業中に随時質問を受け付ける。また、講義前後に対応する。

授業科目名		担当教員		
発達機能障害学Ⅰ（総論）		永井佐代子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義	S0T416
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井佐代子（作業療法士）		

授 業 概 要

発達機能障害学Ⅰでは、子どもの発達過程（誕生から1歳までの運動発達を中心に）を学び、各発達課題（寝返りや座位など）の獲得過程について理解を深める。　また、発達障害等の疾患について、症状・評価・治療を関連付けて理解する。　さらに、発達過程や疾患の知識を統合し、様々な情報から、評価・治療を考える。
グループワーク、レポート作成、発表の機会をつくる。

学 修 の 到 達 目 標

①発達障害の意味を理解し、発達障害領域の作業療法の概略を理解する
②各発達課題を獲得するために必要な能力について理解できる。
③作業療法評価の過程や、発達検査・知能検査の概要について説明できる。
④各疾患についての、症状・評価・治療を関連付けて説明できる。
⑤お子さんの情報から作業療法評価を行い、評価をもとにアプローチを考える事ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	小児の作業療法	①	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
2	小児の作業療法と人間発達	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
3	発達の作業療法理論①（感覚統合理論）	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
4	あそびの分析～SI理論を中心に～	②	永井	演習	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
5	発達の作業療法理論②（応用行動分析など）	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
6	発達評価①（全般的発達検査）	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
7	発達評価②（運動発達検査／感覚ー知覚ー認知検査など）	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
8	発達評価③～検査キッドを用いて～	③	永井	演習	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
9	心身機能の発達（運動機能・粗大運動）	③	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	心身機能の発達（反射・反応，感覚統合機能）	③	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
11	心身機能の発達（反射・反応の確認）	④	永井	演習	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
12	上肢機能の発達	④	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
13	認知・視覚機能の発達	⑤	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
14	摂食機能の発達	⑤	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
15	てんかんと作業療法	⑤	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

小テスト（20%）、レポート課題（10%）及び定期試験（70%）で評価する。

使用教科書

イラストでわかる発達障害の作業療法 / 辛島千恵子.--医歯薬出版株式会社，2016年，978-4-263-21717-7
感覚統合Q&A　改定第2版 / 土田玲子.--協同医書出版社，2013年，978-4-7639-2135-2

参考図書

資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	発達障害領域で5年以上経験してきた講師が現場での困り事を抱えた子どもたちへの支援方法を具体例を挙げながら，知識と技術を学ぶ授業である。
備考	

授業科目名		担当教員		
発達機能障害学Ⅱ（各論）		永井佐代子		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T517
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井佐代子（作業療法士）		

授 業 概 要

発達機能障害学Ⅱでは、各疾患についての作業療法評価・アプローチについて学ぶ。
社会性、言葉、遊びの発達過程や、疾患について学び、それらを統合して子どもの発達に応じた遊びを考え、実施する力を身につける。レポート作成、グループワーク、発表の機会を作る。

学 修 の 到 達 目 標

①脳性麻痺の全体像を理解し、予測できる問題点やそのアプローチについて説明できる。
②知的障害を理解し、予測できる問題点やそのアプローチについて説明できる。
③発達期の摂食嚥下機能を理解し、そのアプローチについて説明できる。
④各疾患の、症状・評価・治療について、関連付けて説明できる。
⑤育児支援、特別支援教育について理解し説明できる。
⑥お子さんの情報から作業療法評価を行い、評価をもとにアプローチを考える事ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	自閉症スペクトラム症について	①	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
2	注意多動性障害について	①	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
3	学習障害について	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
4	運動協調性障害について	②	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
5	発達障害に対するアプローチ	③	永井	演習	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
6	場面緘黙・吃音について	③	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
7	知的障害・ダウン症について	④	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
8	脳性麻痺（痙直型・アテトーゼ型）について	④	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
9	重症心身障害について	④	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	筋ジストロフィーについて	⑤	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
11	整形外科・その他（小児てんかんなど）	④	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
12	虐待児への対応	⑤	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
13	育児支援・保護者への対応	⑥	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
14	小児リハビリテーションと制度	⑥	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
15	発達障害と教育・就労	⑥	永井	講義	教科書にて予習（30分）	教科書・資料で復習（30分）
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

小テスト（20%）、レポート課題（10%）及び定期試験（70%）で評価する。

使用教科書

イラストでわかる発達障害の作業療法 / 辛島千恵子.--医歯薬出版株式会社，2016年，978-4-263-21717-7
感覚統合Q&A　改定第2版 / 土田玲子.--協同医書出版社，2013年，978-4-7639-2135-2

参考図書

資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	発達障害領域で5年以上経験してきた講師が現場での困り事を抱えた子どもたちへの支援方法を具体例を挙げながら，知識と技術を学ぶ授業である。
備考	

授業科目名		担当教員		
日常生活活動学		浅野莉沙		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	SOT418
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		浅野莉沙（作業療法士）		

授 業 概 要

日常生活活動学では、人の日常生活動作（ADL）についての概念について理解を深める。
また、日常生活動作の基盤となる基本動作について、グループワークによる動作分析を行い、その仕組を理解する。さらに、障害とADLの関係や障害者の自立に向けてどのように問題解決を図るか、グループディスカッションを通して視野を広げる。

学 修 の 到 達 目 標

①日常生活動作（ADL）の意味とICIDH・ICFの内容を理解し、説明できる。
②姿勢や動作を構成する要素を理解できる。
③動作の観察のポイントや分析の視点を理解し、図や言葉で表現できる。
④ADL動作を理解し、その姿勢や動作に合わせた支援の方法が理解できる。
⑤褥瘡と褥瘡予防の基本的な考え方について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	ADLとは、ICFとICIDH	①	浅野	講義	ADL、ICF、ICIDHとそれに含まれる語句を予習する（30分）	ADLを構成する要素、ICIDH・ICFに含まれる語句と違いを復習する（30分）
2	事例検討（ICFを用いた全体像の把握）	①	浅野	演習	ICFの中に含まれる要素とそのつながりを予習する（30分）	事例を通して理解したICFの内容を説明できるように復習する（30分）
3	日常生活活動の分析①	②③④	浅野	講義	作業分析や、運動学における姿勢を観る要素（支持基底面、重心など）を予習する（30分）	姿勢を構成する要素と観察する項目を復習する（30分）
4	日常生活活動の分析②	②③④	浅野	演習	日常生活活動の工程分析を予習する（30分）	観察した動作について図と言葉を用いて説明できるように復習する（30分）
5	日常生活活動の分析③	②③④	浅野	演習	日常生活活動の工程分析を予習する（30分）	観察した動作について図と言葉を用いて説明できるように復習する（30分）
6	基本動作の分析①	②③④	浅野	講義	基本動作について、支持基底面と重心の動き方などを予習する（30分）	動作分析の基本的な方法を復習する（30分）
7	基本動作の動作分析②	②③④	浅野	演習	基本動作について重心の移動、支持基底面の変化等の観点から予習する（30分）	観察した動作について図と言葉を用いて説明できるように復習する（30分）
8	基本動作の動作分析③	②③④	浅野	演習	基本動作について重心の移動、支持基底面の変化等の観点から予習する（30分）	観察した動作について図と言葉を用いて説明できるように復習する（30分）
9	摂食・嚥下（基礎、評価）	④	浅野	講義	嚥下の５相モデルについて予習する（30分）	授業で学習した評価を実践できるよう復習する（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	摂食・嚥下（介入、姿勢調整）	④	浅野	演習	前回の授業内容を復習する（30分）	摂食嚥下障害に対する作業療法介入について復習する（30分）
11	症例検討（動作の分析と介助方法の検討）	② ③ ④	浅野	演習	動作の観察・分析の視点について確認する（30分）	観察した動作について図と言葉を用いて説明できるように復習する（30分）
12	症例検討（疾患別のADL介入について①）	② ③ ④	浅野	講義	動作の観察・分析の視点について確認する（30分）	各疾患の特徴と作業療法介入について復習する（30分）
13	症例検討（疾患別のADL介入について②）	② ③ ④	浅野	演習	動作の観察・分析の視点について確認する（30分）	各疾患の特徴と作業療法介入について復習する（30分）
14	褥瘡予防のポジショニング①	⑤	浅野	演習	褥瘡の基礎知識について予習する（30分）	褥瘡の基礎知識と予防の基本的な考え方について復習する（30分）
15	褥瘡予防のポジショニング②	⑤	浅野	演習	前回の授業内容を確認する（30分）	ポジショニングの基本的な考え方について復習する（30分）
	定期試験（筆記試験）					

評価基準・評価方法

評価方法：期末試験（60%）、レポート（40%）
評価基準：期末試験は筆記試験を行い、講義内容全体についての理解度を問う

使用教科書

作業療法学 ゴールドマスター・テキスト　日常生活活動学(ADL) Web動画付　改訂第2版 / 長﨑重信、木之瀬隆.--メジカルビュー社, 2022年, 978-4-7583-2050-4

参考図書

適宜紹介する

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポートは添削、採点して返却する
実務経験をいかした教育内容	臨床におけるさまざまな疾患の患者様の担当経験から、作業療法士に必要な基本動作やADL、作業場面の動作分析について扱います。また、摂食・嚥下や褥瘡予防の授業では、実際に臨床で用いられている福祉用具や自助具を用いて体験・体感していただいたり、その適合や評価方法についてもお伝えします。
備考	グループワークによる課題が多く含まれるため、主体的に取り組み、臨床に必要な分析能力を修得しましょう。 質問や相談は随時受け付けます。

授業科目名		担当教員		
生活技術学演習		永井貴士・古桧山建吾・加藤清人・世良龍哉・竹中孝博・井上忠俊・浅野莉沙　(代表教員　永井貴士)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	S0T419
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）・加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法の臨床場面では、日常生活活動（ADL）の改善・向上が主要な治療目標とされることも多い。
この授業では、まずADLの概念や評価について理解し、その後実習等で必要になる介助技術や対象者への指導方法を学生ペアで行い、修得する。またグループワークを用いて、技術の習得を目標とする。
また、車いすや福祉用具、自助具についての知識なども含め、総合的にADL支援ができるよう学習する。

学 修 の 到 達 目 標

①日常生活活動（ADL）評価スケールが使用できる。
②目的に応じた自助具を考案し、作成することができる。
③起居動作、移乗（トランスファー）において適切な介助ができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	総論・ADLスケールについて、ADL評価スケールの演習①	①	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	ADL評価スケールの演習②	①	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	福祉用具・自助具について	②	永井	講義演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	身体障害者に対する起居動作のポイントと介助技術	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	起き上がり動作のポイントと介助技術	②	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	長座位・いざり動作のポイントと介助技術	③	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	座位・起立動作のポイントと介助技術	③	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	車いすの基礎知識と操作方法	③	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	移乗動作（トランスファー）のポイントと介助技術①	③	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	移乗動作（トランスファー）のポイントと介助技術②	②③	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	移乗動作（トランスファー）のポイントと介助技術③	②③	永井・古桧山	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	臨床場面における作業療法実践の実施（1）	③	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	臨床場面における作業療法実践の実施（2）	③	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	臨床場面における作業療法実践の実施（3）	③	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	臨床場面における作業療法実践の実施（４）	②③	OT教員	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	定期試験（実技）					

評価基準・評価方法

評価方法：期末試験（60%）、レポート（30%）、グループ活動への参加状況（10%）※レポートは採点後に返却・フィードバックする。
評価基準：期末試験は筆記試験と実技試験を行う（詳細については講義内で連絡する）。
グループやペアで学習する場面を多く設けるので、積極的な発言や実技練習を期待する。

使用教科書

日常生活活動学（ADL） / 長崎重信，他.--木之瀬隆--MEDICAL VIEW，978-4-7583-2050-4
あっ！あぶない危険防止と安全な介護[脳卒中編] / 森田竜治、永井貴士.--文溪堂，9784894236424
脳卒中の機能評価-SIASとFIM［基礎編］ / 千野直一ほか.--金原出版，2012年，978-4-307-75033-2

参考図書

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	課題提出後、１週間以内に個別フィードバックを行う。 試験は実技試験を行う。実技試験80%、課題20%で履修判定を行う。
実務経験をいかした教育内容	臨床現場での患者に対する介助方法を具体的に実技を通して学び，安全管理と適切な技術を習得するよう長期間臨床経験（介護領域・身体障害領域・地域高齢者領域で10年以上）のある教員が教育する。
備考	適切な介助技術を身につけることは、自分の身を守ること（怪我をしない）ことにもつながるため重要である。 後半は実習形式が多いため、実技に向いた服装の準備をしてくること（事前に連絡する）。 授業内容に関する質問や相談はオフィスアワー等で受け付ける。

授業科目名		担当教員		
応用生活技術学演習		佐藤篤史		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	S0T520
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		佐藤篤史（作業療法士）		

授 業 概 要

応用生活技術学演習では、作業療法で主要に関わる日常生活活動の中でも重要なセルフケアを中心に、それに関する基本的身体機能、評価、動作分析、目標設定、治療方法、介入方法について学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①対象者の生活に沿ったリハビリテーションのあり方を理解できる。
②入院生活から退院後の生活に向け、環境調整、充実した地域生活の支援まで総合的に考えることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	食事とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
2	食事の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
3	摂食・嚥下障がいの基礎知識	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
4	失語症の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
5	ポジショニング	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
6	起居動作	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
7	移乗動作	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
8	排泄とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
9	排泄行為の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	整容とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
11	整容行為の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
12	更衣とは	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
13	更衣動作の作業療法	①	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
14	調理の作業療法	②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
15	FIMの実践	① ②	佐藤	演習	作業療法でのADLの意味を再度授業前に見なおし、自己学習を進めておく。(60分)	復習と演習で実施したものの再学習を通して、知識・技術の安定化を図ること。(60分)
	定期試験（筆記）					

評価基準・評価方法

定期試験（100%）及び授業参加度等を総合的に判断して評価する。

使用教科書

中枢神経系疾患に対する作業療法 / 山本伸一.--三輪書店, 2009年, 978-4-89590-331-8
あっ！あぶない危険防止と安全な介護[脳卒中編] / 森田竜治、永井貴士.--文溪堂, 9784894236424

参考図書

必要に合わせて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	
実務経験をいかした教育内容	病院における職務経験（17年）から患者さんのADLの特徴、作業療法士としての評価及び応用的な対応と技術そして訓練方法の提案どを具体的な事例を交えて、思考力・実践力が身につけられるように授業を展開していく。
備考	実技形式が多いため、実技に向いた服装を準備しておくこと。

授業科目名		担当教員		
作業療法特論Ⅰ（含喀痰等吸引）		永井貴士・浅野莉沙・古田弥生・萩野勝也　(代表教員　永井貴士)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	1単位(15時間)	講義･演習	S0T721
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・古田弥生（看護師）・萩野勝也（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士の職域が拡大してきているため、これまでの講義で学んだ知識を基盤とし，医療領域における作業療法の実践について実践者から学ぶことで、これから必要とされる作業療法について考える。また、喀痰などの吸引において、一連の手順を身につけられるよう実技を通して学ぶ。
講義では、グループワークを中心として行い、演習形式で学習を勧めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法の臨床場面で求められる技術や知識を理解することができる。
②求められる知識と技術を実際に遂行することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法の臨床の実際について	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書(2)を読んでおくこと（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
2	作業療法の臨床場面での理論の活用	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書(2)を読んでおくこと（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
3	作業療法の臨床場面での理論の活用②	①	永井	講義 演習	予定している内容を指定教科書(2)を読んでおくこと（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
4	自動車運転の作業療法	①	萩野	講義	事前に提示した課題（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
5	作業療法の臨床場面（環境）	① ②	浅野	講義 演習	事前に提示した課題（120分）	講義内で提示した課題（120分）
6	喀痰・吸引のための知識	①	古田	講義	事前に提示した課題（120分）	講義内で提示した課題（120分）
7	喀痰・吸引の実践	②	古田	演習	事前に提示した課題（120分）	講義内で提示した課題（120分）
8	喀痰・吸引の実践②	②	古田	演習	事前に提示した課題（120分）	講義内で提示した課題（120分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
課題およびグループ活動への取組状況、課題への取組状況を加味して評定する。 レポート課題提出（授業で作成した全てのシートをグループ毎に１セットで提出）により80%、受講態度（グループワークへの参加姿勢）20%の合計で算定する。	
使用教科書	
５Ｗ１Ｈでわかりやすく学べる作業療法理論の教科書 / 小川真寛・他--メジカルビュー社，978-4758320290	
参考図書	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポート課題提出後、１週間以内に個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	身体障害病院や施設で実際に行われている介入方法について，理論的手法の具体例や，自動車運転を教習所との連携について，喀痰吸引の方法について実践に基づいて授業を行う。
備考	卒業後に、実践的な技術を獲得できるよう準備を各自で行ってください。

授業科目名		担当教員		
作業療法特論Ⅱ		加藤清人・永井貴士・井上忠俊・古桧山建吾・樅山貴子　(代表教員　加藤清人)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 後学期	1単位(15時間)	講義･演習	S0T822
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）・樅山貴子（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士の職域が拡大してきているため、これまでの講義で学んだ知識を基盤とし，保健や福祉領域における作業療法の実践について実践者から学ぶことで、これから必要とされる作業療法について考える。
講義では、グループワークを中心として行い、演習形式で学習を勧めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法の臨床場面で求められる技術や知識を理解することができる。
②②　新しく求められる作業療法の分野に対し、法律や実務などの知識を学び臨床に役立てることができる

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法分野における管理（１）	①	古桧山	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
2	作業療法分野における管理（２）	①	古桧山	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
3	作業療法分野における管理（３）	①	古桧山	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	授業で行った内容を復習しておくこと（120分）
4	就労支援	①	永井	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
5	社会保障・生活行為向上マネジメント	①②①	加藤	演習	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
6	地域分野における作業療法（地域包括ケア・訪問作業療法）	①②①	井上	講義	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
7	福祉用具・住宅改修・支援機器・ロボット関連	①②①	井上	講義演習	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
8	学校・教育関連活動　合理的配慮	①②①	樅山	演習	事前に配布する資料の確認（120分）	講義内で提示する課題（120分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法	
課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。 レポート課題提出（授業で作成した全てのシートをグループ毎に１セットで提出）により80%、受講態度（グループワークへの参加姿勢）20%の合計で算定する。	
使用教科書	
参考図書	
随時、参考資料を配布する。	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポート課題提出後、１週間以内に個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	病院や施設における職務経験が10年以上ある教員が、それぞれの分野で求められる作業療法士の視点について紹介し、作業療法の知識が身に着けられるよう授業を展開していく。
備考	

授業科目名		担当教員		
作業療法学総合演習Ⅰ（基礎）		加藤清人・世良龍哉・早矢仕充寿　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	S0T723
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・早矢仕充寿（理学療法士）		

授 業 概 要

作業療法の実践に関わる分野について、基礎となる医学的な知識を確認しつつ、それらを実践に活用するために、評価技術や治療技術の修得をする。病院（施設）から在宅まで作業療法の範囲が拡がるなか、臨床現場で取り組まれている各疾患のリハビリテーションや精神障害のデイケアにおける支援など作業療法の実践を学び知識・技術を深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①専門職に必要な基礎医学や臨床医学について説明できる。
②専門職に必要な作業療法における評価や治療について知識・技術を習得できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	作業療法分野に必要とされる社会制度（１）	①	加藤	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	作業療法分野に必要とされる社会制度（２）	①	加藤	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	精神科デイケアにおける作業療法の実際（１）	①	世良	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	精神科デイケアにおける作業療法の実際（２）	①	世良	演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	OSCE（１）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	OSCE（2）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	OSCE（3）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	OSCE（4）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	OSCE（5）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	OSCE（6）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	神経筋疾患に対するリハビリテーション（１）	②	早矢仕	演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
12	神経筋疾患に対するリハビリテーション（２）	②	早矢仕	演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
13	OSCE（7）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
14	OSCE（8）	②	全OT教員	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
15	老年期障害領域における作業療法の実際	②	加藤・他	講義	事前に提示した課題を行っておく（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
	課題					

評価基準・評価方法

課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。

使用教科書

からだがみえる　人体の構造と機能　第１版 / メディックメディア，2023年，978-4-89632-896-7

参考図書

必要に応じて資料を配付する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各担当教員の講義終了時に全体に向けてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	病院や施設における職務経験が10年以上ある教員が、それぞれの分野で求められる作業療法士の視点について紹介し、作業療法の知識が身に着けられるよう授業を展開していく。
備考	主体的に取り組むこと。グループワークでは、学生間の活発な討論を期待する。

授業科目名		担当教員		
作業療法学総合演習Ⅱ（専門）		世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・井上忠俊・川本　徹・石井文康　（代表教員　世良龍哉）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	演習	S0T824
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・川本徹（作業療法士）・石井文康（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法の実践に関わる専門的知識を網羅し、それらを実践応用するまでの流れを習得する。学生個々が情報の収集、選択、統合を能動的に行うことで、基本的知識・技術を深めていく。演習では、グループワークを活用し、シェア学習にて理解を深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①専門職に必要な基礎医学や臨床医学について説明できる。
②専門職に必要な作業療法分野における知識について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	精神科作業療法①	①	世良	講義演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
2	精神科作業療法②	①	世良	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
3	精神科作業療法③	①	世良	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
4	作業療法の理論①	②	永井	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
5	作業療法の理論②	②	永井	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
6	下肢の運動器疾患に対する作業療法①	①	川本	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
7	下肢の運動器疾患に対する作業療法②	①	川本	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
8	リハ栄養・サルコペニア・フレイル	①	浅野	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
9	義肢装具	②	竹中	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	義肢装具	②	竹中	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
11	義肢装具	②	竹中	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
12	発達障害児の作業療法①	①	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
13	発達障害児の作業療法②	②	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
14	統合失調症患者の作業療法	①	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
15	うつ病患者の作業療法	②	石井	演習	事前に提示した課題を行っておく（60分）	授業で行った内容を復習しておくこと（60分）
	課題					

評価基準・評価方法

受講態度（20%）、課題（80%）を総合的に評価する。

使用教科書

PT/OT国家試験必須ポイント専門基礎分野基礎OT学2024 / 医歯薬出版株式会社, 2023年,
PT/OT国家試験必須ポイント専門基礎分野基礎医学2024 / 医歯薬出版株式会社, 2023年,
PT/OT国家試験必須ポイント専門基礎分野障害別OT治療学2024 / 医歯薬出版株式会社, 2023年,
PT/OT国家試験必須ポイント専門基礎分野臨床医学2024 / 医歯薬出版株式会社, 2023年,

参考図書

適時必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	グループごとに個々の学生へフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	身体障害領域や精神障害領域、発達障害領域などで様々な対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識や実践的な知識の習得ができるよう授業を展開をしていく。
備考	主体的に取り組むこと。グループワークでは、学生間の活発な討論を期待する。

授業科目名		担当教員		
地域作業療法学Ⅰ（制度・支援・連携）		永井貴士・加藤清人　(代表教員　永井貴士)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	講義･演習	SC0401
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		永井貴士（作業療法士）、加藤清人（作業療法士）		

授 業 概 要

作業療法士の対象者である患者が社会で生活するために、どのような支援を行うのかを、日本作業療法士協会が推進する「生活行為向上マネジメント（MTDLP）」を用いて学習する。講義では、グループワークを中心として行い、演習形式で学習を勧めていく。
わが国では地域包括ケアシステムの構築が本格化してきている。講義では、社会保障の概要や地域生活者としての視点、各事業所の特徴や作業療法士のかかわりについて学習する。

学 修 の 到 達 目 標

①「生活行為向上マネジメント（MTDLP）」を用いて、対象者を評価できる。
②目標設定を通して関わり方を考えることができる。
③地域作業療法を支える社会資源とその活用方法について説明できる。
④地域作業療法にかかわる関連法規・制度について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	日本作業療法士協会のねらいと、現在の日本の状況について	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
2	生活行為向上マネジメントとは	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
3	生活行為聞き取りシートの作成	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
4	興味・関心チェックシートの作成	①	永井	講義	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
5	生活行為向上アセスメント演習シートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
6	生活行為向上プラン演習シートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
7	生活行為向上マネジメントシートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
8	生活行為向上マネジメント　生活行為課題分析シートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
9	生活行為向上マネジメント　医療への生活行為申し送り表の作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	生活行為向上マネジメントシートの作成	②	永井	演習	予定している内容を指定教科書を読んでおくこと（30分）	授業で行った内容を復習しておくこと（30分）
11	地域で求められる作業療法	③	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと（30分）	提示した課題についてまとめる（30分）
12	地域作業療法で必要な知識	③	加藤	演習	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと（30分）	提示した課題についてまとめる（30分）
13	作業療法士がかかわる関連法規・制度①	③ ④	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと（30分）	提示した課題についてまとめる（30分）
14	作業療法士がかかわる関連法規・制度②	③ ④	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと（30分）	提示した課題についてまとめる（30分）
15	地域における各事業所の特徴と作業療法の役割	③ ④	加藤	講義	事前に提示した指定教科書の範囲を読んでおくこと（30分）	提示した課題についてまとめる（30分）
	レポート課題					

評価基準・評価方法

課題およびグループ活動への参加状況、課題への取組状況を加味して評定する。
レポート課題提出（授業で作成した全てのシートをグループ毎に１セットで提出）により50%、、第11～15講は小テスト30%、受講態度（グループワークへの参加姿勢、課題の取組状況）20%の合計で算定する。

使用教科書

事例で学ぶ生活行為向上マネジメント第２版 / 日本作業療法士協会--医歯薬出版株式会社，2021年，978-4-263-26634-2
作業療法学　ゴールド・マスター・テキスト　地域作業療法学 / 徳永千尋/田村孝司--メジカルビュー社，2023年，978-4-7583-2049-8

参考図書

必要に応じて、資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	レポート課題提出後、１週間以内に個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	地域福祉領域で10年以上の経験がある教員が，人を包括的に捉えることの視点と関わり方について福祉現場で取り入れられている評価手法で学ぶ。
備考	卒業後、実践場面において必要であると日本作業療法士協会が提唱している技能である生活行為向上マネジメントが用いられるような能力を身につけられるよう取り組むこと。

授業科目名		担当教員		
地域作業療法学Ⅱ（実践・就労支援）		井上忠俊・永井貴士　(代表教員　井上忠俊)		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	講義	SC0702
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		井上忠俊（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）		

授 業 概 要

地域作業療法学Ⅱでは、通所施設や福祉施設、行政など地域で取り組まれている作業療法に対する理解を深める。
また、就労支援をしていくために、職業や職業リハビリテーションの概略を学び、そのなかで作業療法の役割を考える。障害者の就労について理解を深める。この講義では、各グループごとにテーマを抽出し、グループワークを通して概要を整理し、学生間で共有することで理解を深める。

学 修 の 到 達 目 標

①通所施設における作業療法の役割を説明できる。
②福祉施設などの地域における作業療法の役割を説明できる。
③職業リハビリテーションについて説明できる。
④就労支援に対する評価・支援について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	地域作業療法を考える	① ②	井上	講義	使用テキスト、配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点についてまとめる（30分）
2	通所施設における作業療法の概要	①	井上	講義	通所施設の種類，対象者，目的について調べる（30分）	通所施設の概要についてまとめる（30分）
3	通所施設における作業療法の実際	①	井上	講義	通所施設における作業療法の実例について調べる（30分）	通所施設における作業療法の実例についてまとめる（30分）
4	福祉施設における作業療法の概要	②	井上	講義	特養，老健，介護医療院について調べる（30分）	特養，老健，介護医療院における作業療法の実例をまとめる（30分）
5	認知症高齢者に対する生活支援（１）	②	井上	講義	アルツハイマー型認知症の典型的，認知機能障害と認知症の行動・心理症状について調べる（30分）	アルツハイマー型認知症，及びその他の認知症疾患で使用される評価についてまとめる（30分）
6	認知症高齢者に対する生活支援（２）	②	井上	講義	アルツハイマー型認知症者に対する作業療法介入について調べる（30分）	アルツハイマー型認知症者に対する直接的介入及び間接的介入についてまとめる（30分）
7	行政・事業所における作業療法の実際	②	井上	講義	行政，事業所で行われている作業療法の具体例を調べる（30分）	行政，事業所における作業療法の取り組みについてまとめる（30分）
8	企業における作業療法の実際	②	井上	講義	企業と連携している作業療法の具体例を調べる（30分）	企業での作業療法の取り組みについてまとめる（30分）
9	地域領域での作業療法①	③	井上	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	地域領域での作業療法②	③	井上	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
11	職業リハビリテーションの実際	③	永井	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
12	就労支援とは	④	永井	講義	該当内容について教科書を読むこと（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
13	就労支援に求められる作業療法の役割を考える	④	永井	講義	配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
14	就労支援の実際（１）	④	永井	講義	配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
15	就労支援の実際（２）	④	永井	講義	配布資料に目を通しておく（30分）	講義の要点をまとめる（30分）
	課題					

評価基準・評価方法

課題（９０％）、受講態度（１０％）

使用教科書

参考図書

必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	各回の講義終了時に全体にむけてフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	福祉施設における職務経験（12年），行政との協業による職務経験（10年），一般企業との協業による職務経験（６年）から地域での介護予防活動，作業療法の啓発活動，社会課題解決に資する作業療法が実践できるように授業を展開していく
備考	質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
生活環境・福祉機器学		井上忠俊		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	2単位(30時間)	講義	SC0503
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		井上忠俊（作業療法士）		

授 業 概 要

障がい者の自立・社会参加を促すために，生活環境を物的・人的環境としてトータル的に捉え，調整する必要がある。その人らしい生活を送るためにどのような生活環境や福祉用具が必要かを学び，理解を深める。また、具体的なサポート内容についてグループワークにて考察しプレゼンテーションを行い理解を深める。

学 修 の 到 達 目 標

①住宅改修や福祉用具における介護保険制度について説明することができる。
②福祉用具の構造や使用方法、ニーズに沿った選択ができるようになる。
③モデルケースを通して、住宅改修の立案及び在宅生活への復帰や継続に繋げる考え方を習得できる。
④福祉住環境コーディネーター2級程度の知識を持ち住宅改修について説明できるようになる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	オリエンテーション，住環境整備とは	①	井上	講義	住宅環境について調べる(120分)	様々な住宅環境について説明できるようにする(120分)
2	環境整備に関わる制度と社会資源	①④	井上	講義	住宅改修に関連する制度について調べる(120分)	住宅改修に関連する制度について説明できるようにする(120分)
3	福祉用具の種類と選択①起居関連用具	①②④	井上	講義	起居動作に関連する福祉用具について調べる(120分)	起居動作に関連する福祉用具について説明できるようにする(120分)
4	福祉用具の種類と選択②移乗・移動関連用具	①②④	井上	講義	移乗・移動に関する福祉用具について調べる(120分)	移乗・移動に関する福祉用具について説明できるようになる(120分)
5	福祉用具の種類と選択③入浴・排泄関連用具	①②④	井上	講義	入浴，排泄に関する福祉用具について調べる(120分)	入浴，排泄に関する福祉用具について説明できるようになる(120分)
6	福祉用具の種類と選択④食事・更衣・整容，コミュニケーション関連用具	①②④	井上	講義	食事・更衣・整容，コミュニケーション関連の福祉用具について調べる(120分	食事・更衣・整容，コミュニケーション関連の福祉用具について説明できるようになる(120分)
7	住宅改修の知識①玄関	①②③④	井上	講義	玄関関連の住宅改修について調べる(120分)	玄関関連の住宅改修について説明できるようになる(120分)
8	住宅改修の知識①トイレ	①②③④	井上	講義	トイレ関連の住宅改修について調べる(120分)	トイレ関連の住宅改修について説明できるようになる(120分)
9	住宅改修の知識①浴室	①②③④	井上	講義	浴室関連の住宅改修について調べる(120分)	浴室関連の住宅改修について説明できるようになる(120分)

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	住宅改修の知識④居室・他	① ② ③ ④	井上	講義	居室関連の住宅改修について調べる(120分)	居室関連の住宅改修について説明できるようになる(120分)
11	住宅改修の検討①玄関・トイレ	① ② ③ ④	井上	講義	疾患別に玄関，トイレの改修について調べる(120分)	疾患別に玄関，トイレの改修について説明できるようになる(120分)
12	住宅改修の検討②浴室・居室	① ② ③ ④	井上	講義	疾患別に浴室，居室の改修について調べる(120分)	疾患別に浴室，居室の改修について説明できるようになる(120分)
13	住宅改修ケース発表①	① ② ③ ④	井上	演習	疾患別に考えた住宅改修についてまとめる(120分)	疾患別に考えた住宅改修について説明できるようになる(120分)
14	住宅改修ケース発表②	① ② ③ ④	井上	演習	疾患別に考えた住宅改修についてまとめる(120分)	疾患別に考えた住宅改修について説明できるようになる(120分)
15	住宅改修の事例	① ② ③ ④	井上	講義	配布資料を読み込む(120分)	住宅改修について説明できるようになる(120分)
	定期試験（筆記およびプレゼンテーション課題）					

評価基準・評価方法

評価基準：発表は，態度やプレゼンテーション力，十分な知識・アイディアが含まれているかを評価対象とする。
評価方法：定期試験，課題を主に福祉住環境コーディネーター2級の資格取得状況を総合的に考慮する。

使用教科書

必要に応じて資料を配布する

参考図書

福祉住環境コーディネーター検定試験．2級公式テキスト．
OT・PTのための住環境整備論 / 野村歓ほか.--第2版--三輪書店，2012

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	プレゼンテーション課題のフィードバックは発表の場で口頭にて行う。
実務経験をいかした教育内容	通所介護施設における職務経験（４年半），訪問作業療法における職務経験（３年）から在宅で生活する対象者に必要な住環境の整備と福祉機器の選定ができる作業療法士の知識と実践力を身に着けられるように授業を展開していく．
備考	オフィスアワー：講義中に質問の時間を取り，講義内または次回講義前に回答する。

授業科目名		担当教員		
臨床実習Ⅰ（基礎）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	1年 後学期	1単位(45時間)	実習	SCT201
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

臨床実習Ⅰ（基礎）の学習では、施設・病院での実習を1学生1週間実施する。「基礎演習」「作業療法概論」「作業療法治療技術理論」より学んだ作業療法士の役割、責任、医療人としてのマナーを経験する。それにより、自らの適性について考える。実習終了時には、学内報告会を実施する。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法士に必要とされる基本的態度を身につける。
②作業療法（士）に対する興味・関心、職業意識を高める。
③臨床における作業療法について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：接遇に関する講義・実技を実施する。	①			1年次後期実施のOSCEについて復習（30分）	修得した接遇を実践できるようまとめる（30分）
2～21	1週間の学外実習を実施。実習施設において実習指導者の監督下において見学・観察を主体とした実習を行う。	①②③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から１学生１施設1週間の実習を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には9：00～17：00であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
22	実習施設（領域）の概要と作業療法士の役割、並びに報告会に必要な内容を整理				記録・課題の整理（30分）	報告会の準備・資料の作成（30分）
23	実習施設（領域）の概要と作業療法士の役割の整理	②③			実習で得た情報の整理（30分）	情報の領域別整理（30分）
24～25	報告会（学内）	②③			報告会の準備・資料作成（30分）	報告会で得られた情報の整理（30分）
26～27	レポート作成	③			これまでに得られた情報の整理（30分）	レポート作成過程で生じた課題の解決（30分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	-					
	-					
	-					

評価基準・評価方法
臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。

使用教科書
１年次に使用したすべてのテキスト 臨床実習要項

参考図書
適時必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	臨床実習前・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	実習場面に学生が実際に赴いて臨床現場を経験することを通して，医療人としての心構えを学ぶカリキュラムになる。
備考	臨床実習Ⅰ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。

授業科目名		担当教員		
通所／訪問リハ実習		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(45時間)	実習	SCT402
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

通所／訪問リハ実習では、病院及び施設における通所や訪問サービス分野での実習を実施する。ここでは、通所リハビリテーションまたは訪問リハビリテーションの概要を把握し、作業療法士の役割やリハビリテーションマネジメント等について学びを深めていく。

学 修 の 到 達 目 標

①作業療法士に必要とされる基本的態度を身につける。
②作業療法（士）に対する興味・関心、職業意識を高める。
③通所サービス分野または訪問サービス分野における作業療法について説明できる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：接遇に関する講義・実技を実施	①			臨床実習Ｉで作成したレポートの確認（30分）	本実習に必要な接遇の整理（30分）
2〜21	通所／訪問リハビリテーション施設における実習	①②③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	通所・訪問リハビリテーションの分野について１学生１施設１週間の実習を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8:30〜17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
	-					
	-					
	-					
	-					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	-					

評価基準・評価方法
臨床実習の評価表を用いる。担当指導者判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法実習の遂行度（80%）とする。

使用教科書
これまでに使用したテキスト 臨床実習要項

参考図書
適時必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	臨床実習前・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。
備考	臨床実習の実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。

授業科目名		担当教員		
通所／訪問リハ実習セミナー		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 前学期	1単位(30時間)	演習	SCT403
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

通所／訪問実習で得た体験、知識、技術を整理する。また学生相互に情報を共有、討議することで地域のなかでどのような実践が行われているのか理解を深めることを目的とする。

学 修 の 到 達 目 標

①通所または訪問サービス分野における施設の概要について説明することができる。
②様々な職種のなかで、作業療法士の役割が説明できる。
③臨床で必要とされる基礎医学について整理し、現場と関連づけて説明することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	１週間で得られた施設ならびに作業療法士の活動をまとめた整理する。	①②③	全員	演習	検討資料作成（120分）	検討資料作成（120分）
2	セミナー発表と討論（１）	①②	全員	演習	検討資料作成（120分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
3	セミナー発表と討論（２）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
4	セミナー発表と討論（３）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
5	セミナー発表と討論（４）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
6	実習課題の抽出と対策（１）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	抽出した課題の対策案の作成（60分）
7	実習課題の抽出と対策（２）	①②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
8	実習課題の抽出と対策（３）	①②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
9	臨床実習で必要とされた技術学習（１）	①②	全員	演習	実習で必要であった技術の整理（60分）	遂行上課題があった技術の見直し（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	臨床実習で必要とされた技術学習（２）	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し（60分）	遂行上課題があった技術の見直し（60分）
11	基礎医学における知識と技術の整理（１）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）
12	基礎医学における知識と技術の整理（２）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）
13	基礎医学における知識と技術の整理（３）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）
14	基礎医学の統合学習（１）	① ② ③	全員	演習	実習上関わった症例の見直し（60分）	フィードバックで得た課題の改善（60分）
15	基礎医学の統合学習（２）	① ② ③	全員	演習	実習上関わった症例の見直し（60分）	フィードバックで得た課題の改善（60分）
	セミナー発表・レポート課題					

評価基準・評価方法

課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。

使用教科書

「臨床実習要項」、実習で関連のあるテキスト。

参考図書

適時必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう授業を展開をしていく。
備考	学生間の活発な討論を期待する。質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
評価実習前セミナー		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	SCT504
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

評価実習前セミナーでは、臨床実習の準備段階として臨床実習に対応できる評価技術、知識の再確認を行う。学生は、模擬ケースを通して作業療法評価の流れを確認しながら知識・技術を経験する。また、プレゼンテーション資料の作成では、症例に対する情報収集、作業療法評価、作業療法計画までの過程を整理し、症例の全体像を把握する。グループワークを活用し、学生間の意見交換の場を通して、理解を深める。

学 修 の 到 達 目 標

①臨床実習にむけて基本的態度を身につけ意欲的に取り組むことができる。
②臨床実習で対応できる評価技術を修得することができる。
③症例（模擬症例）を担当し、作業療法評価を一通りまとめることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	Advanced OSCEオリエンテーション（授業計画、実習で求められる基本的態度）	①②③	全員	演習	事前に提示する資料の確認（30分）	オリエンテーション内で提示する課題（60分）
2	Advanced OSCE 評価計画	①②③	全員	演習	オリエンテーション内で提示する課題（60分）	評価計画の完成（60分）
3	Advanced OSCE 実施（１）	①②③	全員	演習	評価計画の完成（60分）	実施により見いだされた改善点への対応（60分）
4	Advanced OSCE 実施（２）	①②③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応（60分）	実施により見いだされた改善点への対応（60分）
5	Advanced OSCE 実施（３）	①②③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応（60分）	実施により見いだされた改善点への対応（60分）
6	Advanced OSCE 実施（４）	①②③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応（60分）	実施により見いだされた改善点への対応（60分）
7	Advanced OSCE 実施（５）	①②③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応（60分）	実施により見いだされた改善点への対応（60分）
8	Advanced OSCE 実施（６）	①②③	全員	演習	実施により見いだされた改善点への対応（60分）	実施により見いだされた改善点への対応（60分）
9	Advanced OSCE ビデオフィードバック	①②③	全員	演習	実施動画の確認と生理（60分）	FB内容の整理と改善策の立案（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成（１）	①②③	全員	演習	資料作成の材料の整理（60分）	資料作成（60分）
11	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成（２）	①②③	全員	演習	資料作成（60分）	資料作成（60分）
12	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成（３）	①②③	全員	演習	資料作成（60分）	資料作成（60分）
13	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成（４）	①②③	全員	演習	資料作成（60分）	資料作成（60分）
14	評価結果整理・プレゼンテーション資料の作成（５）	①②③	全員	演習	資料作成（60分）	資料作成（60分）
15	プレゼンテーション発表	①②③	全員	演習	資料作成（60分）	課題の整理（60分）
	実習に向けた課題の整理					

評価基準・評価方法

受講態度（10%）、OSCE（60%）、ケースノート・発表（30%）を総合的に評価する。

使用教科書

これまでに使用したすべてのテキスト
臨床実習要項
OSCEに関する配布資料

参考図書

適時必要な資料は配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	グループごとに個々に対してフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術の習得や作業療法プロセスを学べるよう授業を展開をしていく。
備考	臨床実習を想定して実施するため、学内ではあるが臨床実習で求められる基本的態度・マナーを心がけること。OSCE実施においては、実習に望ましい容姿・態度・服装（ケーシー服）にて臨むこと。実習は個々の臨床能力が要求されるため、主体的に取り組むこと、他学生と協力することを心がけること。担当教員の指示に従い、課題を進めること。

授業科目名		担当教員		
臨床実習Ⅱ（評価）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	4単位(180時間)	実習	SCT505
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

臨床実習Ⅱ（評価）の学習では、臨床実習指導者の指導のもと、基本的な評価方法を修得する。具体的には各検査の実施、検査結果を解釈し、問題点の抽出、ゴール立案までの流れを実践する。また、適切な記録、指導者への報告・連絡・相談といった作業療法士として必要な資質（態度）を身につけることを目指す。

学 修 の 到 達 目 標

1．作業療法士としての基本的態度を身につける。
2．対象者と良好な関係を築くことができる。
3．作業療法評価の一連の流れを実践することができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：接遇に関する講義・実技並びに実習で取り組む課題の確認	①			これまでの実習記録の確認（30分）	実習課題の整理（30分）
2～81	４週間（１月～３月の期間）の学外実習を実施する。	①②③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	４週間（１月～３月の期間）の学外実習を実施する。					
	２年次までに必要な科目を修得した学生が、身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から１学生１施設４週間の実習を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8：30～17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
	-					
	-					

評価基準・評価方法

臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。	
使用教科書	
これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項	
参考図書	
適時必要に応じて資料を配布する。	
課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	臨床実習前・中・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。
備考	臨床実習Ⅱ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。

授業科目名		担当教員		
作業療法総合セミナーⅠ（評価）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	2年 後学期	1単位(30時間)	演習	SCT506
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

「臨床実習Ⅱ」の体験から得た知識や技術を整理し、確認を行う。また、実習で担当した症例発表を行うなかで学生相互間による討議を重ねることで情報を共有すること、より質の高い介入ができるよう考えること、について学習を深めていく。他学生の情報は、自身が体験していない内容を補うことにも繋がり臨床領域の奥深さなどについても学習する。また、臨床で必要とされる基礎医学に対する知識や技術の習得をめざし、それの確認を行う。

学 修 の 到 達 目 標

①臨床の場で実施した作業療法技術を再確認し、作業療法プロセスを適切にまとめ報告・質疑に応えることができる。
②作業療法的見地をもって質問および説明をすることができる。
③臨床で必要とされた基礎医学について整理し、理解を深めることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	４週間の作業療法プロセスをまとめたパワーポイントよりセミナーでの検討資料を作成する。	①	全員	演習	検討資料作成（120分）	検討資料作成（120分）
2	OSCE（1）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
3	OSCE（2）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
4	OSCE（3）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
5	OSCE（４）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
6	セミナー発表と討論（1）	①②①	全員	演習	検討資料作成（120分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
7	セミナー発表と討論（2）	①②①	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
8	セミナー発表と討論（3）	①②①	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
9	セミナー発表と討論（４）	①②①	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実習課題の抽出と対策（1）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
11	実習課題の抽出と対策（２）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
12	臨床実習で必要とされた技術学習	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し（60分）	遂行上課題があった技術の見直し（60分）
13	基礎医学における知識と技術の整理（1）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）
14	基礎医学における知識と技術の整理（２）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）	実習で得た知識・技術の学問的背景の整理（60分）
15	基礎医学の統合学習	③	全員	演習	実習症例の見直し（60分）	フィードバックで得た課題の改善（60分）
	セミナー発表・レポート課題					

評価基準・評価方法

課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。

使用教科書

「臨床実習要項」、実習で関連のあるテキスト。

参考図書

適時必要に応じて配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術や実践的な知識・技術の習得ができるよう授業を展開をしていく。
備考	学生間の活発な討議を期待する。質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
臨床実習Ⅲ（総合前期）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	8単位(360時間)	実習	SCT707
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

臨床実習Ⅲ（総合前期）の学習では、これまでに学んだ基本的な評価方法を用い、作業療法計画立案、さまざまな医療現場の活動参加を実践する。また、必要に応じ作業療法計画の変更、他部門からの情報収集、記録・報告、医療従事者としての適切な人間関係の構築などより実践的な内容を臨床実習指導者のもとで学ぶ。

学 修 の 到 達 目 標

①対象者ならびに施設スタッフとの良好な人間関係を築くことができる。
②作業療法評価・アプローチを一通り実践することができる。
③施設の管理・運営について考えることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：実習の目的、手順、心得、マナー、感染予防、個人情報保護などの確認、実習に必要な実技練習				過去の実習記録の確認（30分）	課題の整理（30分）
2～161	８週間（5月～7月の期間）の学外実習				予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	臨床実習Ⅱを修得した学生が、身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から1学生1施設8週間の実習を行う。					
	具体的には、1学生1～2名の症例を担当し、担当症例に関する情報収集、作業療法評価の実施、課題の抽出、実習指導者の指導を仰ぎながら作業療法治療計画の立案、実施を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8：30～17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席は、実習すべき全日数の出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
162～165	実習報告会：学生間の報告と意見交換を実施。レジュメを作成し発表を行う。	③			実習報告階の準備・資料作成（30分）	得られた知見・情報の整理（30分）
	-					
	-					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	-					
	-					
	-					
	-					

評価基準・評価方法
臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。

使用教科書
これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項

参考図書
適時必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	臨床実習前・中・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。
備考	臨床実習Ⅲ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。

授業科目名		担当教員		
作業療法総合セミナーⅡ（評価と介入①）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 前学期	1単位(30時間)	演習	SCT708
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

「臨床実習Ⅲ」の体験から得た知識や技術を整理し確認を行う。また、実習で担当した症例発表を行うなかで学生相互間による討議を重ねることで情報を共有すること、より質の高い介入ができるよう考えること、について学習を深めていく。他学生の情報は、自身が体験していない内容を補うことにも繋がり臨床領域の奥深さなどについても学習する。また、臨床で必要とされる専門分野に対する知識を深め、かつ技術の習得をめざし、それを確認をしていく。

学 修 の 到 達 目 標

①臨床の場で実施した作業療法技術を再確認し、作業療法プロセスを適切にまとめ報告・質疑に応えることができる。
②作業療法的見地をもって質問および説明をすることができる。
③臨床で必要とされた専門分野について整理し、理解を深めることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	８週間の作業療法プロセスをまとめたレポートよりセミナーでの検討資料を作成する。	①	全員	演習	検討資料作成（120分）	検討資料作成（120分）
2	OSCE（1）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
3	OSCE（2）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
4	OSCE（3）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
5	OSCE（4）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
6	セミナー発表と討論（1）	①②①	全員	演習	検討資料作成（120分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
7	セミナー発表と討論（2）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
8	セミナー発表と討論（3）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
9	セミナー発表と討論（４）	①②	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実習課題の抽出と対策（1）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
11	実習課題の抽出と対策（２）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
12	臨床実習で必要とされた技術学習	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し（60分）	遂行上課題があった技術の見直し（60分）
13	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理（1）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
14	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理（2）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
15	専門基礎分野・専門分野の統合学習	③	全員	演習	実習症例の見直し（60分）	フィードバックで得た課題の改善（60分）
	セミナー発表・レポート課題					

評価基準・評価方法

課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。

使用教科書

「臨床実習要項」、実習で関連のあるテキスト。

参考図書

適時必要に応じて配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術や実践的な知識・技術の習得ができるよう授業を展開をしていく。
備考	学生間の活発な討議を期待する。質問は随時受け付ける。

授業科目名		担当教員		
臨床実習Ⅳ（総合後期）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 後学期	8単位(360時間)	実習	SCT810
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

臨床実習Ⅳ（総合後期）の学習では、病院・施設においてゴール設定までの作業療法評価に加え、臨床実習指導者による指導のもと作業療法計画の作成とさまざまな医療現場の活動に参加する。また、これまでに学んだ臨床的な思考過程を更に発展させる。

学 修 の 到 達 目 標

①対象者ならびに施設スタッフとの良好な人間関係を築くことができる。
②作業療法評価・アプローチを実践することができる。
③施設の管理・運営について考えることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	実習前オリエンテーション（学内）：実習の目的、手順、心得、マナー、感染予防、個人情報保護などの確認、実習で必要な実技練習	①			過去の実習記録の確認（30分）	得られた課題の整理（30分）
2～16	８週間（10月～12月の期間）の学外実習	①②③			予定の確認・準備（30分）	記録・課題提出の準備、振り返り、課題と具体的解決策の立案（30分）
	臨床実習Ⅱを修得した学生が、身体障害・精神障害・発達障害・老年期障害の分野から1学生1施設8週間の実習を行う。					
	具体的な内容として、１学生１～２名の症例を担当する。担当症例に関する情報収集、作業療法評価の実施、課題の抽出、実習指導者の指導を仰ぎながら作業療法治療計画の立案、実施を行う。					
	臨床実習時間は、基本的には8：30～17：30であるが実習施設の就業時間に従う。					
	出席については、実習すべき全日数出席が原則で、何らかの事情で欠席を重ね、実習をすべき日数に満たない場合は評価不能とする。					
	-					
	-					
	-					

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
	-					
	-					
	-					

評価基準・評価方法
臨床実習の評価表を用いる。担当実習指導者の判定結果を基に総合的に判定する。 評価表の項目として、社会的態度（20%）、作業療法評価の遂行度（80%）とする。

使用教科書
これまでに使用したすべてのテキスト 臨床実習要項

参考図書
適時必要に応じて資料を配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	臨床実習前・中・後に個々の課題に応じて個別フィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	臨床実習では、臨床経験5年以上ならびに臨床実習指導者講習会修了した者が臨床実習者として指導にあたる。指導者の指導・監督の下、作業療法現場に求められる態度、作業療法知識・技術が身に着けられるよう実習を遂行していく。
備考	臨床実習Ⅳ実施にあたり、事前オリエンテーションを行うので必ず出席すること。 社会（施設）での実習となる。身嗜み、言葉使い、規則などが学内とは異なるため、心がけること。実習では実習着（ケーシー服）を着用する。

授業科目名		担当教員		
作業療法総合セミナーⅢ（評価と介入②）		加藤清人・世良龍哉・永井貴士・竹中孝博・浅野莉沙・井上忠俊・古桧山建吾　（代表教員　加藤清人）		
必修・選択	配当年次	単位数(時間数)	開講形態	科目ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ
必修	3年 後学期	1単位(30時間)	演習	SCT810
学位授与の方針と授業科目の関連		実務家教員		
全学ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)作業ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ･ﾎﾟﾘｼｰ(2)(3)(4)の達成に寄与している。		加藤清人（作業療法士）・世良龍哉（作業療法士）・永井貴士（作業療法士）・竹中孝博（作業療法士）・浅野莉沙（作業療法士）・井上忠俊（作業療法士）・古桧山建吾（作業療法士）		

授 業 概 要

「臨床実習Ⅲ」の体験から得た知識や技術を整理し確認を行う。また、実習で担当した症例発表を行うなかで学生相互間による討議を重ねることで情報を共有すること、より質の高い介入ができるよう考えること、について学習を深めていく。他学生の情報は、自身が体験していない内容を補うことにも繋がり臨床領域の奥深さなどについても学習する。また、臨床で必要とされる専門分野に対する知識を深め、かつ技術の習得をめざし、それを確認をしていく。

学 修 の 到 達 目 標

①臨床の場で実施した作業療法技術を再確認し、作業療法プロセスを適切にまとめ報告・質疑に応えることができる。
②作業療法的見地をもって質問および説明をすることができる。
③臨床で必要とされた専門分野について整理し、理解を深めることができる。

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
1	８週間の作業療法プロセスをまとめたレポートよりセミナーでの検討資料を作成する。	①	全員	演習	検討資料作成（120分）	検討資料作成（120分）
2	OSCE（１）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
3	OSCE（２）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
4	OSCE（３）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
5	OSCE（４）	①	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
6	セミナー発表と討論（1）	①②①	全員	演習	検討資料作成（120分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
7	セミナー発表と討論（2）	①②①	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
8	セミナー発表と討論（3）	①②①	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）
9	セミナー発表と討論（４）	①②①	全員	演習	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）	自身の発表の振り返り及び他学生の発表内容の整理（60分）

回	授業計画	到達目標	担当	形態	事前学習	事後学習
10	実習課題の抽出と対策（1）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
11	実習課題の抽出と対策（２）	① ②	全員	演習	抽出した課題の対策案の作成（60分）	対策案の実施と見直し（60分）
12	臨床実習で必要とされた技術学習	① ②	全員	演習	遂行上課題があった技術の見直し（60分）	遂行上課題があった技術の見直し（60分）
13	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理（1）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
14	専門基礎分野・専門分野における知識と技術の整理（2）	③	全員	演習	実習で得た知識・技術の整理（60分）	実習で得た知識・技術の整理（60分）
15	専門基礎分野・専門分野の統合学習	③	全員	演習	実習症例の見直し（60分）	フィードバックで得た課題の改善（60分）
	セミナー発表・レポート課題					

評価基準・評価方法

課題（90%）、受講態度（10%）を総合的に評価する。

使用教科書

「臨床実習要項」、実習で関連のあるテキスト。

参考図書

適時必要に応じて配布する。

課題(試験やﾚﾎﾟｰﾄ)に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	個別の課題に対して個々にフィードバックを行う。
実務経験をいかした教育内容	様々な領域で多くの対象者に対し、幅広く業療法を実践してきた経験から、専門的な知識・技術や実践的な知識・技術の習得ができるよう授業を展開をしていく。
備考	学生間の活発な討議を期待する。質問は随時受け付ける。